

平成 30 年

近畿管内一級河川の水質現況の公表

(資 料 編)

令和元年 7 月

近 畿 地 方 整 備 局

目 次

1. 平成 30 年水質調査結果	1
1. 1 近畿地方一級河川の水質調査地点	1
1. 2 生活環境の保全に関する環境基準の満足状況	3
1. 3 BOD75%値のランク別割合	6
1. 4 各地点の水質状況	8
1. 5 主要河川の地点別水質経年変化	18
1. 6 水系別の水質概況	29
1. 7 人と川のふれあいからみた水質状況	43
2. 今後の河川水質管理の指標について	50
2. 1 今後の河川水質管理の指標の概要	50
2. 2 近畿地方整備局管内の調査地点について	50
2. 3 平成 30 年調査結果	51
3. 平成 30 年度ダイオキシン類及び内分泌かく乱物質実態調査結果	58
3. 1 ダイオキシン類の調査地点	58
3. 2 ダイオキシン類の調査結果	58
3. 3 内分泌かく乱物質の調査地点	63
3. 4 内分泌かく乱物質の調査結果	63
4. 近畿地方整備局管内における水生生物調査の状況	65
4. 1 平成 30 年調査結果	65
4. 2 水質階級構成比の年次推移	68
4. 3 水生生物調査の参加者数	71
5. 水質事故の発生状況	72

1. 平成30年水質調査結果

1. 1 近畿地方一級河川の水質調査地点

近畿地方整備局管内で、近畿地方の一級水系河川の直轄管理区間延長約800kmに対し、水質調査を169地点で実施（一部地点は指定区間にて実施）した。

平成30年に水質調査を行った地点の内訳は、河川類型指定 103地点（河川98地点，ダム湖5地点）、湖沼類型指定 51地点（うち11地点は滋賀県調査）、類型未指定 15地点（河川11地点，ダム湖4地点）となっている。類型別及び水系別の水質調査地点数を表－1.1及び1.2に示す。

表－1.1 類型別水質調査地点数

	河川 類型指定	湖沼 類型指定	類型 未指定	計
河川	98	0	11	109
ダム	5	4	4	13
湖沼	0	47	0	47
計	103	51	15	169

表－1.2 水系別調査地点数

水系名	新宮川 <small>しんぐうがわ</small>	紀の川 <small>きのがわ</small>	大和川 <small>やまとがわ</small>	淀川 <small>よどがわ</small>	加古川 <small>かこがわ</small>	揖保川 <small>いほがわ</small>	九頭竜川 <small>くずりゅうがわ</small>	北川 <small>きたがわ</small>	由良川 <small>ゆらがわ</small>	円山川 <small>まるやまがわ</small>	合計
調査地点数	5	11	14	103	7	7	8	3	6	5	169

水質調査地点数についての経年変化を見ると、昭和42年には39地点であったものが、翌年に43地点、3年後の昭和45年には46地点となりその後も増加し、平成17年には168地点となった。平成23年には1箇所増加し、169地点にて水質調査を行っている。

また、水質の常時監視、水質事故対策、異常湧水等緊急時に対処することを目的として、昭和46年より水質自動監視装置による水質監視を行っており、現在、管内9水系30箇所に設置している。測定項目は、水温・pH・導電率・DO(溶存酸素)・濁度を全箇所で測定し、アンモニア・シアン・COD・クロロフィルa等、その他必要に応じて測定を行っている。

1. 2 生活環境の保全に関する環境基準の満足状況

類型指定区間内において河川指定103地点と湖沼指定12地点（琵琶湖については47地点のうち8地点で代表）の115地点に対するBOD75%値（またはCOD75%値）の満足状況は以下のとおりである。

図-1.1に河川、図-1.2に湖沼の類型指定地点における類型別環境基準の満足状況を示す。

類型別に見ると、河川については、AA類型では、平成29年は3地点の内2地点で環境基準を満足していたが、平成30年は1地点増加し、全ての地点で環境基準を満足した（67%→100%、33ポイント増加）。A類型では、平成29年は61地点の内60地点で環境基準を満足したが、平成30年は1地点増加し、全ての地点で環境基準を満足した（98%→100%、2ポイント増加）。B類型、C類型、D類型では、平成29年と同様に全地点で環境基準を満足した。E類型の地点はない。

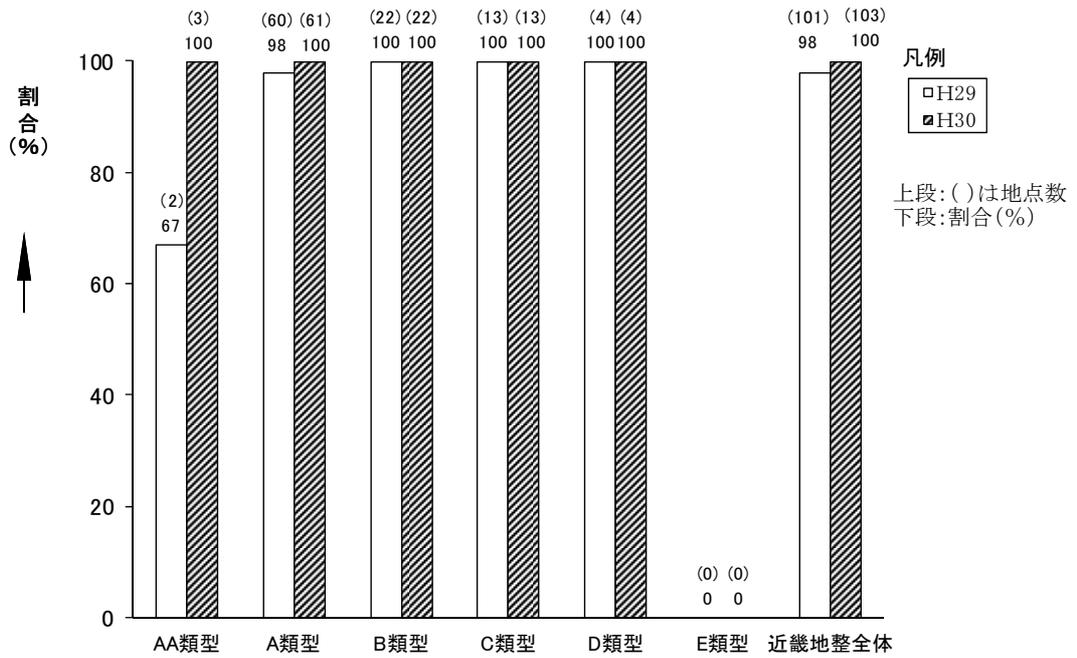
河川全体では、平成29年に環境基準を満足した調査地点数の割合は、103地点の内101地点であったが、平成30年は2地点増加し、全ての地点で環境基準を満足した（98%→100%、2ポイント増加）。

湖沼については、平成30年は平成29年と同様にAAタイプの8地点とAタイプの4地点のうち、Aタイプの1地点で環境基準を満足した。湖沼全体では、平成30年に環境基準を満足した調査地点数の割合は、平成29年と同様に1地点となった。

図-1.3に河川、図-1.4に湖沼の類型指定地点における水系型別環境基準の満足状況を示す。

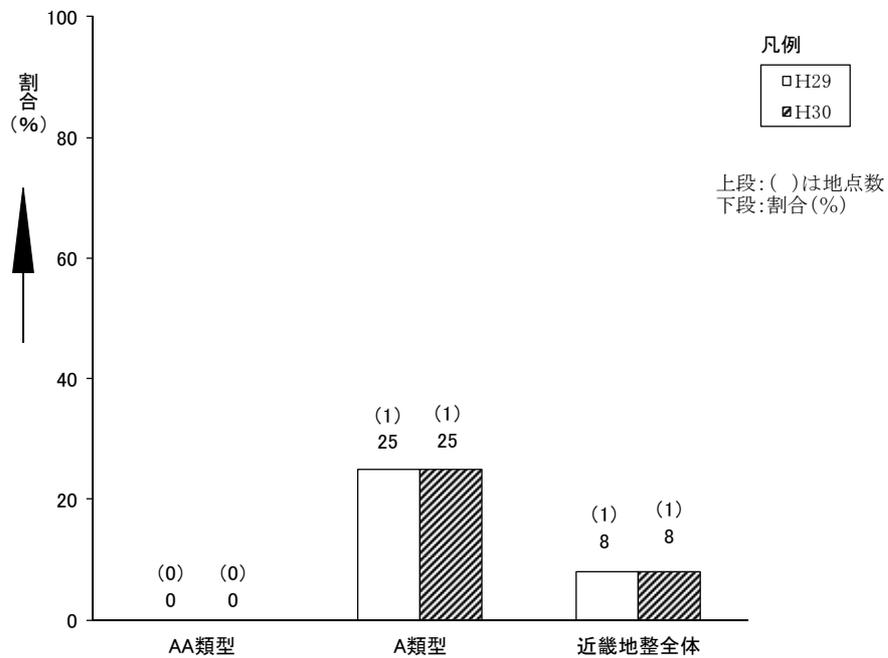
河川について水系別に見ると、新宮川、紀の川、大和川、淀川、加古川、揖保川、九頭竜、北川、由良川、円山川の10水系の全ての調査地点において環境基準を満足した。紀の川水系（11地点）では平成29年の9地点から2地点増加し、11地点全てにおいて環境基準を満足した（18ポイント増加）。

湖沼について水系別で見ると、新宮川水系（1地点）では平成29年と同様に1地点が環境基準を満足し、淀川水系（11地点）では平成29年と同様に全地点で環境基準を満足しなかった。



調査地点数	平成29年	3	61	22	13	4	0	103
	平成30年	3	61	22	13	4	0	103

図－1.1 河川類型指定地点における類型別環境基準の満足状況 (H29年, H30年) (BOD 75%値)



調査地点数	平成29年	8	4	12
	平成30年	8	4	12

図－1.2 湖沼類型指定地点における類型別環境基準の満足状況 (H29年, H30年) (COD 75%値)

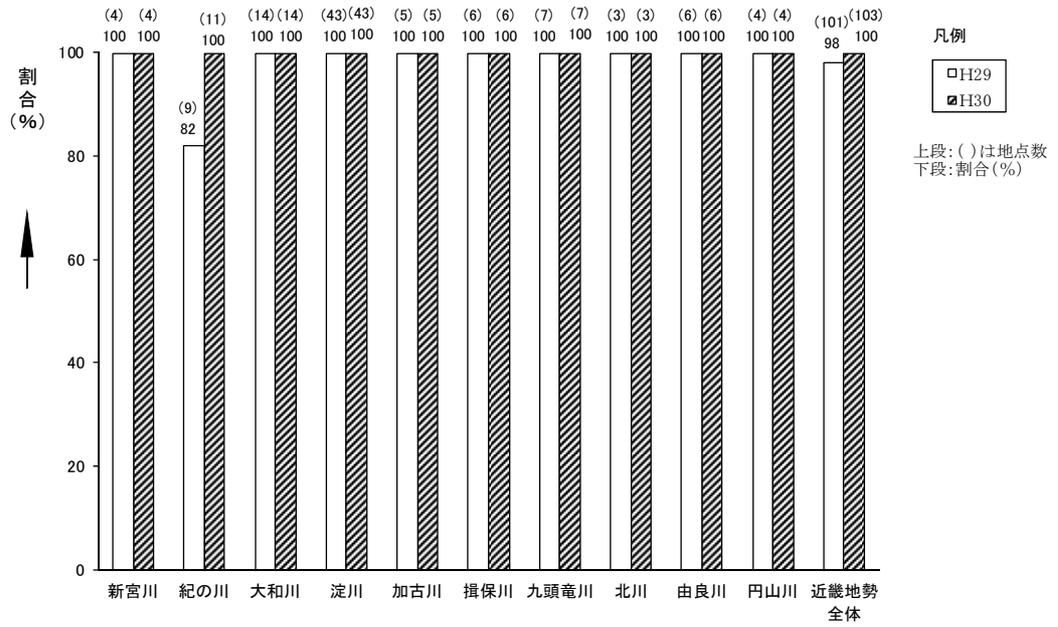


図-1.3 河川類型指定地点における水系別環境基準の満足状況 (H29年, H30年) (BOD75%値)

調査地点数	平成29年	4	11	14	43	5	6	7	3	6	4	103
	平成30年	4	11	14	43	5	6	7	3	6	4	103

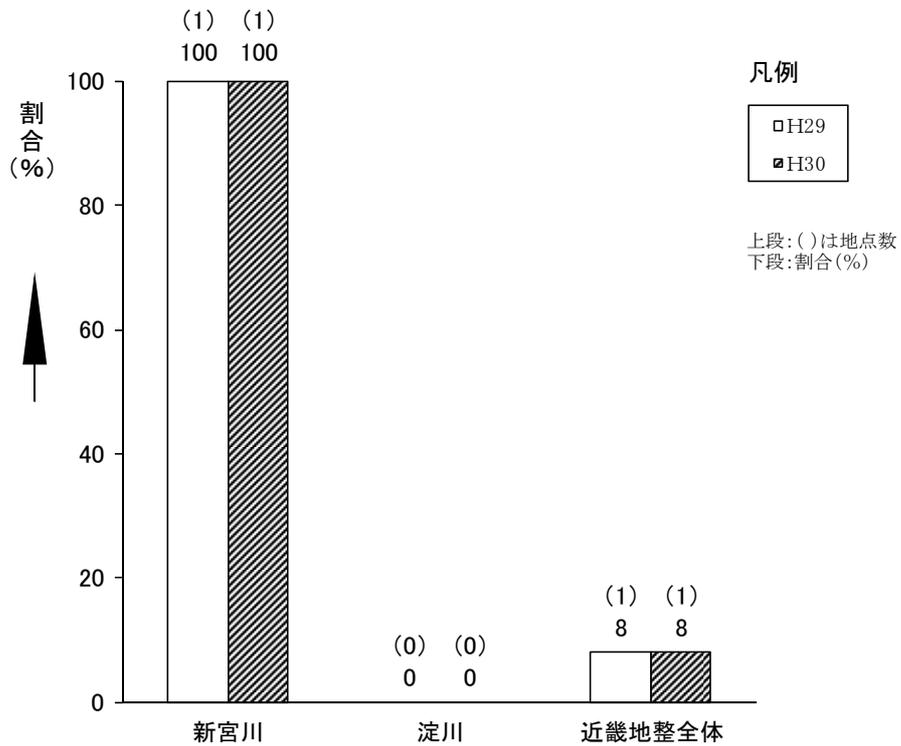


図-1.4 湖沼類型指定地点における水系別環境基準の満足状況 (H29年, H30年) (COD75%値)

調査地点数	平成29年	1	11	12
	平成30年	1 <th>11</th> <th>12</th>	11	12

1. 3 BOD75%値のランク別割合

平成30年の河川（ダム湖を除く）109調査地点におけるBOD75%値のランク別割合経年変化を図-1.5に示す。水道用水として利用でき、またサケやアユが生息できる良好な水準（BOD75%値が3.0mg/l以下）の水質を満足している地点の割合は全調査地点の97.2%であり、平成29年と比べて4.5ポイント増加した。

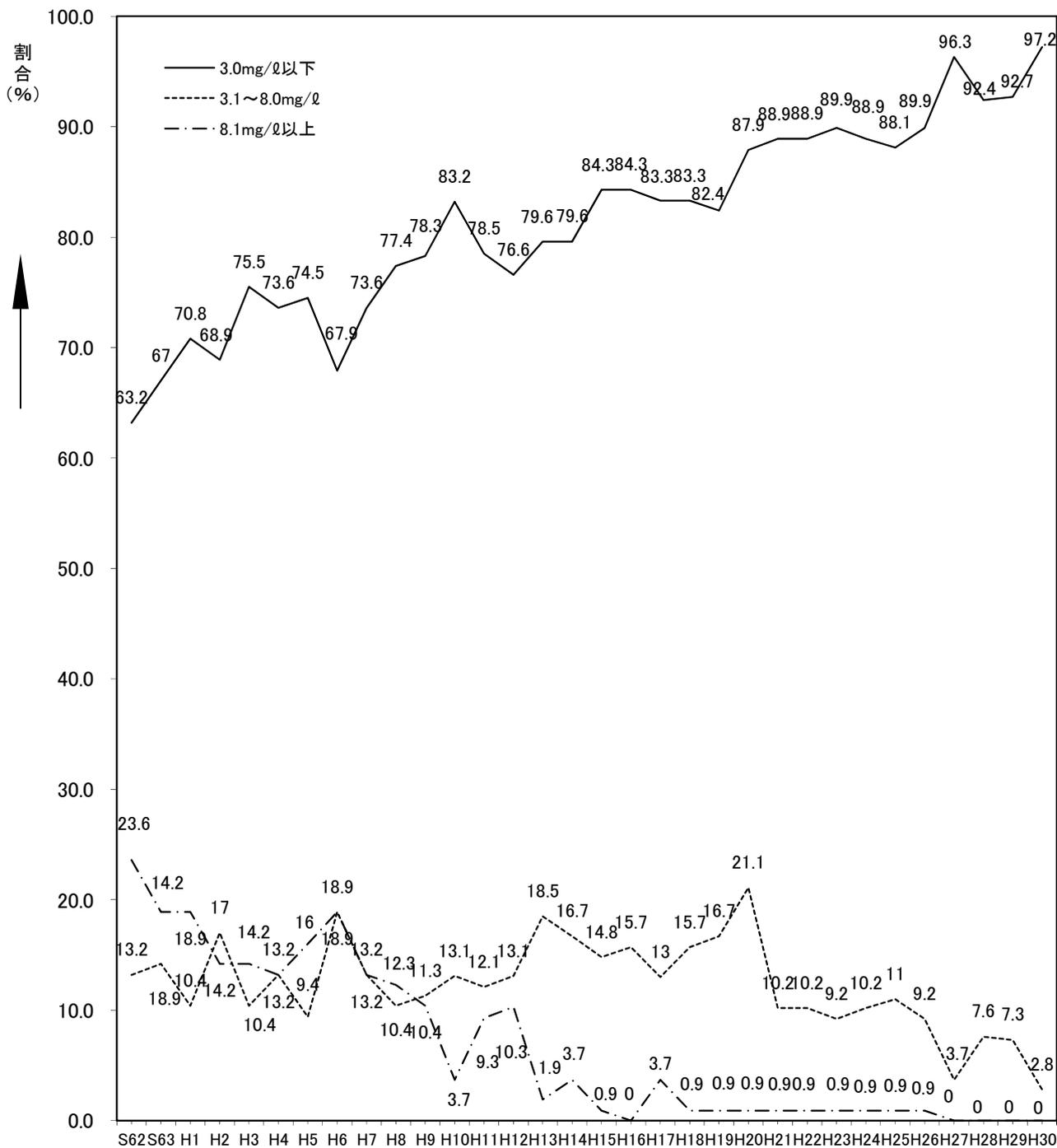


図-1.5 BOD75%値ランク別割合経年変化（109地点）

河川（ダム湖を除く）におけるBOD75%値のランク別割合の平成29年、平成30年比較を図-1.6に示す。

水利用に望ましくないとされる水質（BOD75%値が8.1mg/l以上）の地点は、平成29と同様に平成30年はなかった。

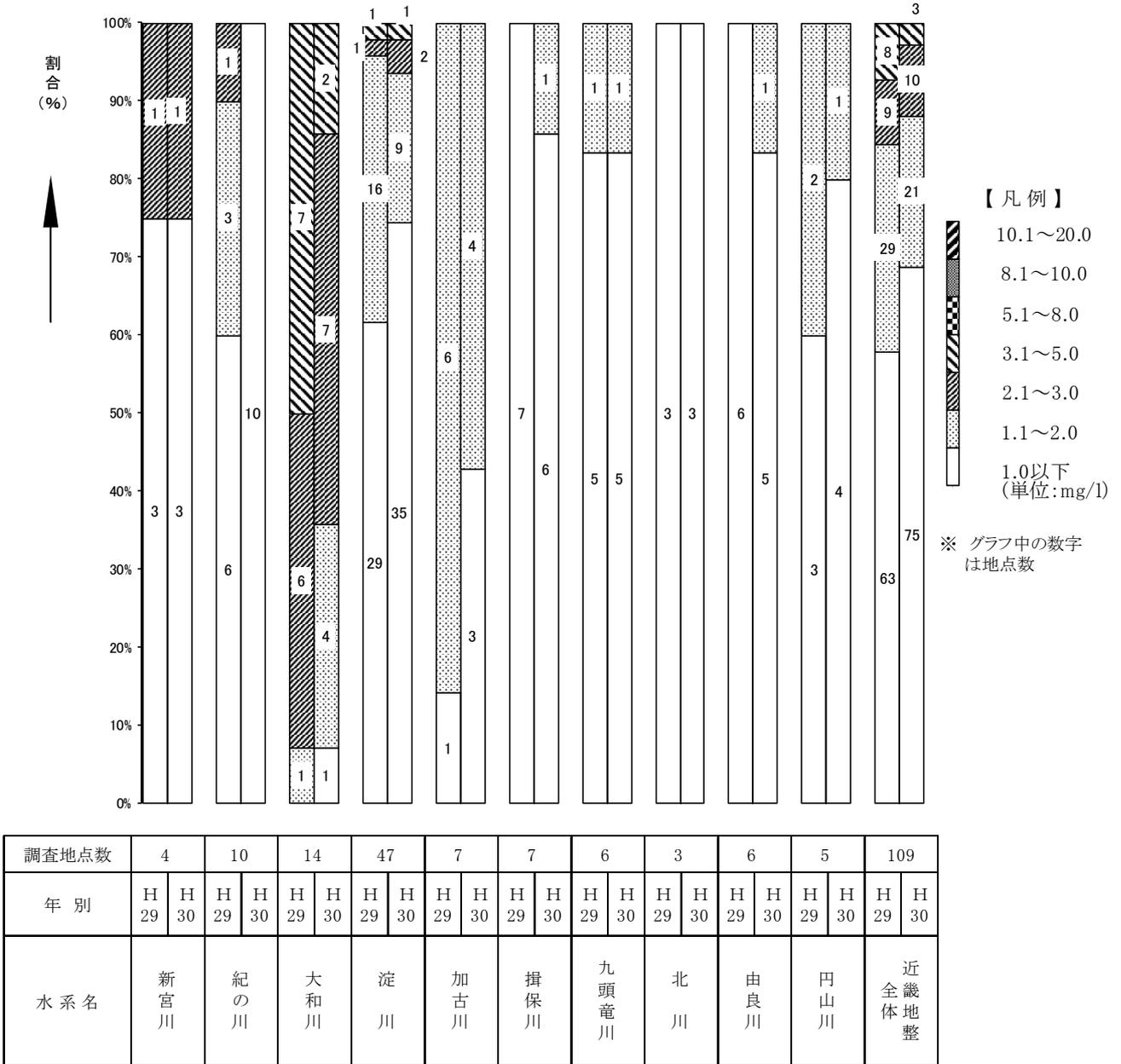
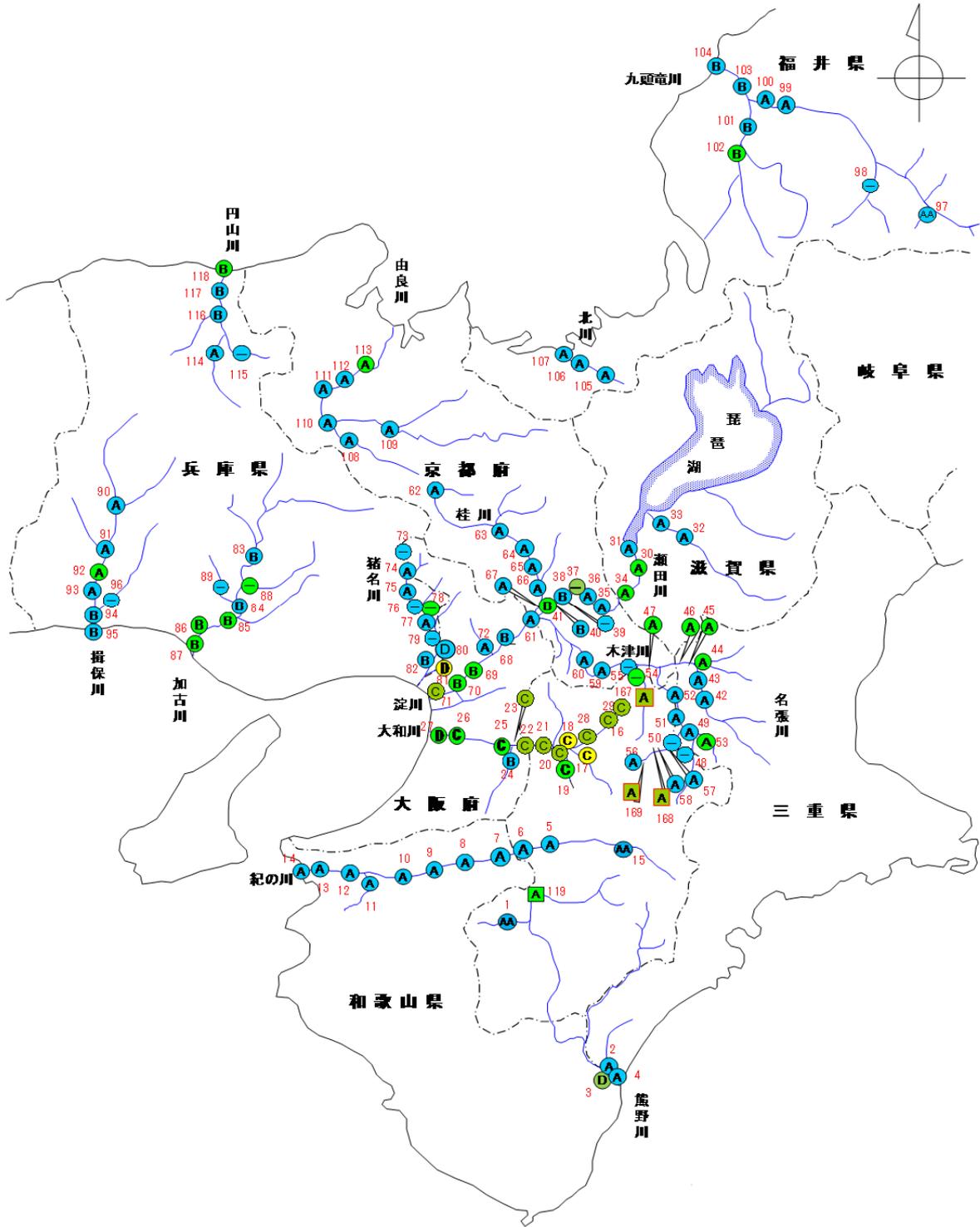


図-1.6 水系別BOD75%値のランク別割合（平成29年 109地点，平成30年 109地点）
 ※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

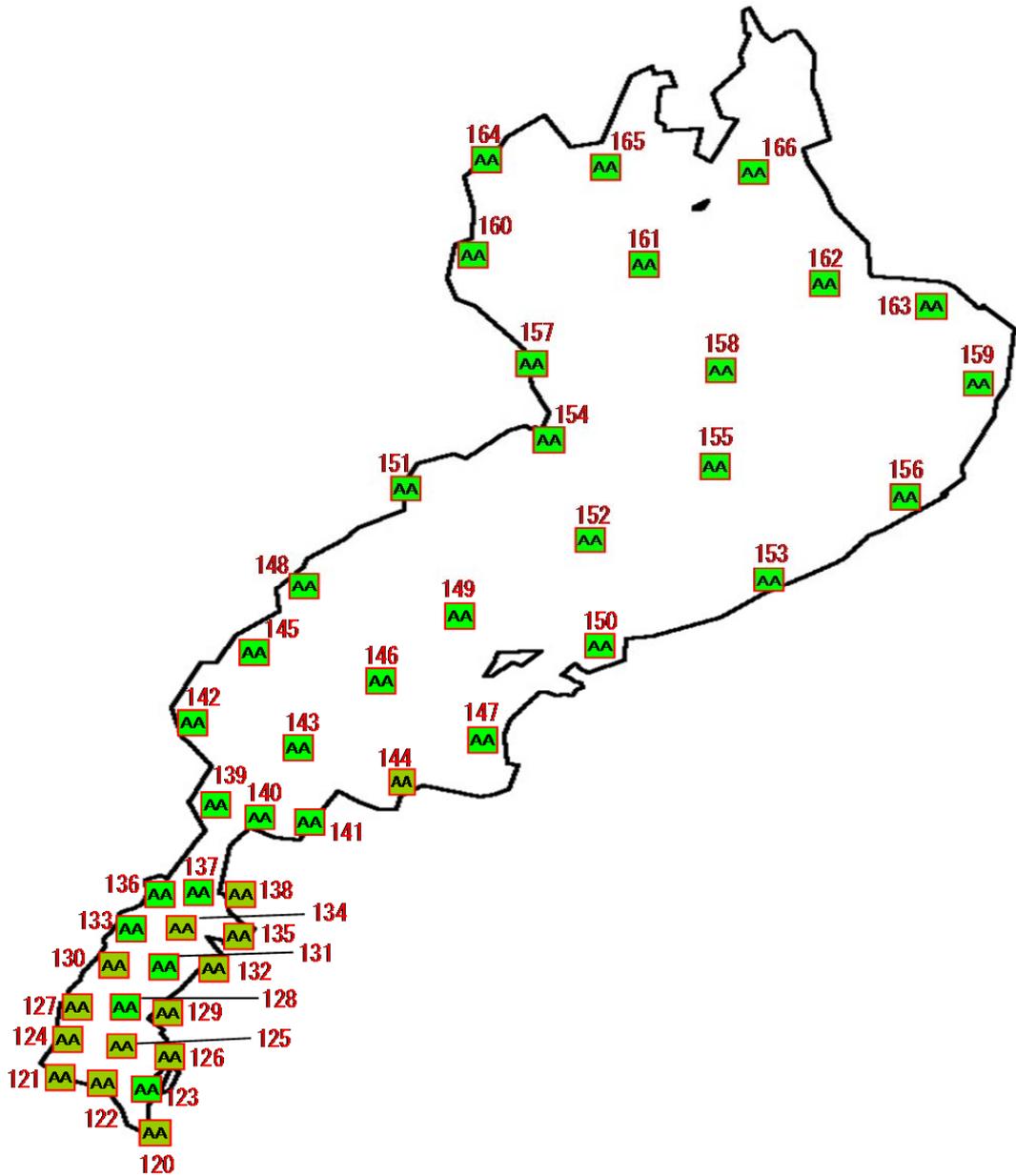
1. 4 各地点の水質状況



色	ランク(BOD)	ランク(COD)	類型	河川(BOD)	湖沼(COD)
青	1.0以下(mg/L)	1.0以下(mg/L)	AA	1mg/L以下	1mg/L以下
緑	1.1~2.0	1.1~3.0	A	2mg/L以下	3mg/L以下
黄緑	2.1~3.0	3.1~5.0	B	3mg/L以下	5mg/L以下
黄	3.1~5.0	5.1~8.0	C	5mg/L以下	8mg/L以下
赤	5.1~8.0	8.1以上	D	8mg/L以下	類型未指定
赤黒	8.1~10.0		E	10mg/L以下	
黒	10.1以上		-	類型未指定	

1.○は河川水質(BOD75%値) 3.○及び口内の記号は、環境基準の類型である。
 2.□は湖沼水質(COD75%値) 4.○及び口(赤黒い)は、環境基準値を満足していない地点である。
 5.数字:表-1.4~1.5に示す調査地点

図-1.7 河川(湖沼)の水質状況(BOD75%値及びCOD75%値)



色	ランク(COD)	類型	湖沼(COD)
青	1.0以下(mg/L)	AA	1mg/L以下
緑	1.1～3.0	A	3mg/L以下
黄緑	3.1～5.0	B	5mg/L以下
黄	5.1～8.0	C	8mg/L以下
赤	8.1以上	-	類型未指定

1. □は湖沼水質(COD75%値)
2. □内の記号は、環境基準の類型である。
3. □(赤囲い)は、環境基準値を満足していない地点である。
4. 数字: 表-1.5に示す調査地点

図-1.8 琵琶湖における水質状況(COD75%値)

各地点のBOD年平均値について表-1.3に示す。平成30年は、熊野川の熊野大橋、高塚、西津橋で0.5 mg/lと最も小さい値であった。

表-1.3 平成30年一級河川のBOD年平均値

単位:mg/l

河川名	調査地点		各地点のBOD年平均値
	地点数	府県名	
くまのがわ 熊野川	2	和歌山	熊野大橋 0.5 熊野川河口 0.6
きのかわ 紀の川	9	奈良・和歌山	大川橋 0.6 御蔵橋 0.6 恋野橋 0.6 岸上橋 0.6 三谷橋 0.7 藤崎井堰 0.6 船戸 0.7 新六ヶ井堰 0.8 紀の川大橋 0.8
やまのがわ 大和川	8	奈良・大阪	上吐田 2.6 太子橋 3.2 御幸大橋 2.6 藤井 2.4 国豊橋 2.1 河内橋 1.7 浅香新取水口 1.7 遠里小野橋 1.6
よどがわ 淀川	10	滋賀・京都・大阪	洗堰下 1.3 宇治橋 0.9 隠元橋 0.9 観月橋 0.9 宇治川大橋 0.9 宇治川御幸橋 1.0 枚方大橋 1.0 鳥飼大橋 1.0 菅原城北大橋 1.3 伝法大橋 1.8
※やすがわ 野洲川	2	滋賀	石部 0.8 服部 0.7
※かつらがわ 桂川	5	京都	渡月橋 0.7 西大橋 0.7 久世橋 0.7 羽束師橋 0.9 宮前橋 0.9
※うだのがわ 宇陀川	4	三重・奈良	安部田 0.7 高倉橋 0.7 辻堂橋 0.6 室生路橋 0.6
※なばりがわ 名張川	4	三重・京都	新夏見橋 0.7 名張 0.8 家野橋 0.7 高山ダム下流 0.8
※きづがわ 木津川	8	三重・京都	大野木橋 0.7 長田橋 1.0 岩倉橋 1.1 島ヶ原大橋 1.3 笹瀬橋 1.5 加茂恭仁大橋 0.8 玉水橋 0.8 木津川御幸橋 0.7
※いながわ 猪名川	4	大阪・兵庫	呉服橋 0.6 軍行橋 0.7 猪名川橋 0.6 利倉 3.4
かこがわ 加古川	4	兵庫	大住橋 0.8 国包 1.3 池尻 1.2 相生橋 1.2
いほがわ 揖保川	6	兵庫	曲里 0.6 山崎 0.6 嘴崎橋 1.0 龍野 0.7 上川原 0.7 本町橋 0.9
まるやまがわ 円山川	4	兵庫	府市場 0.6 立野 0.6 結和橋 1.2 港大橋 0.9
ゆらがわ 由良川	5	京都	音無瀬橋 0.8 笹巻橋 0.8 波美橋 0.6 由良川橋 1.0 以久田橋 0.7
きたがわ 北川	3	福井	上中橋 0.6 高塚 0.5 西津橋 <0.5
くずりゅうがわ 九頭竜川	4	福井	中角 0.6 布施田 0.7 高屋橋 0.7 九頭竜川河口 1.4
※ひのがわ 日野川	2	福井	深谷 0.9 日光橋 1.2

備考：※印は主要支川（直轄管理区間延長が概ね10km以上、かつ水質調査地点が2地点以上ある河川）

表-1.4 (1) 一級河川の主要地点BOD値による水質状況

注：◎ 印は環境基準地点
 地点番号は図-1.7に示す。
 地点名のアンダーラインは滋賀県調査
 環境基準状況：○印は達成
 無印は未達成
 -印は基準値の指示なし

地点番号	河川名	地点名	類型 指定	BOD (mg/L)								基準値
				平均値		75%値		最大値		環境基準達成状況 (75%値)		
				H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	
新宮川 (水系)												
1	川原樋川	◎川原樋川取水口	AA	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	○	○	1
2	熊野川	◎熊野大橋	A	0.5	0.5	<0.5	<0.5	0.5	0.5	○	○	2
3	市田川	◎市田川河口	D	1.8	2.8	2.3	2.9	4.0	6.1	○	○	8
4	熊野川	熊野川河口	A	0.5	0.6	<0.5	<0.5	0.5	0.7	○	○	2
紀の川 (水系)												
5	紀の川	◎大川橋	A	0.7	0.6	0.7	0.6	1.0	1.1	○	○	2
6	"	御蔵橋	A	0.7	0.6	0.9	0.6	0.9	0.9	○	○	2
7	"	◎恋野橋	A	0.7	0.6	0.7	0.6	1.8	1.0	○	○	2
8	"	岸上橋	A	1.1	0.6	1.4	0.7	1.8	0.8	○	○	2
9	"	三谷橋	A	0.9	0.7	1.0	0.6	1.3	0.9	○	○	2
10	"	◎藤崎井堰	A	0.7	0.6	0.7	0.6	1.2	1.0	○	○	2
11	貴志川	高島橋	A	1.1	0.8	1.3	0.9	1.5	1.0	○	○	2
12	紀の川	◎船戸	A	0.8	0.7	1.0	0.6	1.6	1.2	○	○	2
13	"	新六ヶ井堰	A	1.7	0.8	2.6	0.9	3.0	1.1		○	2
14	"	紀の川大橋	A	1.6	0.8	1.8	0.7	3.2	1.5	○	○	2
15	"	大滝ダム湖ダムサイト	AA	1.3	0.7	1.1	0.9	6.2	1.1		○	1
大和川 (水系)												
16	佐保川	井筒橋	C	3.3	2.4	4.0	2.4	4.5	3.3	○	○	5
17	初瀬川	上吐田	C	2.9	2.6	3.9	3.3	4.1	5.1	○	○	5
18	大和川	太子橋	C	3.2	3.2	3.6	3.4	4.4	5.2	○	○	5
19	曾我川	◎小柳橋	C	2.4	1.0	2.7	1.1	6.9	1.3	○	○	5
20	"	保橋	C	2.9	2.2	3.4	2.5	3.6	3.1	○	○	5

表-1.4 (2) 一級河川の主要地点BOD値による水質状況

地点番号	河川名	地点名	類型指定	BOD (mg/L)								基準値
				平均値		75%値		最大値		環境基準達成状況 (75%値)		
				H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	
21	大和川	御幸大橋	C	2.7	2.6	3.0	2.7	4.3	4.0	○	○	5
22	〃	◎藤井	C	2.9	2.4	3.1	2.4	4.8	4.6	○	○	5
23	〃	国豊橋	C	2.4	2.1	3.4	2.4	3.6	3.9	○	○	5
24	石川	◎石川橋	B	1.2	0.8	1.3	1.0	1.8	1.2	○	○	3
25	大和川	◎河内橋	C	2.1	1.7	2.9	1.8	3.1	2.8	○	○	5
26	〃	◎浅香新取水口	C	2.0	1.7	2.5	1.6	2.9	2.9	○	○	5
27	〃	◎遠里小野橋	D	2.0	1.6	2.5	1.7	2.9	2.5	○	○	8
28	佐保川	◎額田部高橋	C	3.4	2.7	3.6	3.0	7.7	4.2	○	○	5
29	〃	郡界橋	C	2.5	2.3	2.9	2.5	3.6	3.0	○	○	5
淀川 (水系)												
30	瀬田川	洗堰下	A	1.2	1.3	1.5	1.6	1.8	2.1	○	○	2
31	〃	◎唐橋流心	A	0.7	1.0	0.8	1.0	1.0	3.2	○	○	2
32	野洲川	石部	A	0.8	0.8	0.9	0.8	1.2	1.1	○	○	2
33	〃	◎服部	A	0.7	0.7	0.8	0.8	1.1	1.0	○	○	2
34	宇治川	大峰橋 (天ヶ瀬ダム)	A	1.0	1.0	1.3	1.2	1.6	2.1	○	○	2
35	〃	宇治橋	A	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	○	○	2
36	〃	◎隠元橋	A	0.9	0.9	1.1	1.0	1.4	1.6	○	○	2
37	山科川	中野橋	未指定	2.1	2.4	2.0	2.5	3.0	2.7	—	—	—
38	宇治川	観月橋	B	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	○	○	3
39	東高瀬川	三栖橋	未指定	1.2	1.0	1.4	1.0	1.4	1.6	—	—	—
40	宇治川	宇治川大橋	B	0.9	0.9	0.8	1.0	1.1	1.2	○	○	3
41	〃	◎宇治川御幸橋	B	1.2	1.0	1.5	1.1	2.4	1.6	○	○	3
42	木津川	◎大野木橋	A	1.0	0.7	1.2	0.9	2.0	1.3	○	○	2
43	〃	長田橋	A	1.0	1.0	1.0	1.0	1.6	1.5	○	○	2
44	服部川	◎伊賀上野橋	A	0.9	1.0	1.2	1.1	1.6	1.8	○	○	2
45	木津川	◎岩倉橋	A	1.0	1.1	1.2	1.4	1.8	2.4	○	○	2

表-1.4 (3) 一級河川の主要地点BOD値による水質状況

地点番号	河川名	地点名	類型指定	BOD (mg/L)								基準値
				平均値		75%値		最大値		環境基準達成状況(75%値)		
				H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	
46	木津川	◎島ヶ原大橋	A	1.1	1.3	1.5	1.5	1.8	3.2	○	○	2
47	〃	◎笹瀬橋	A	1.2	1.5	1.4	1.4	1.9	4.5	○	○	2
48	青蓮寺川	青蓮寺ダム湖	未指定	0.7	0.9	0.8	1.0	1.2	1.6	—	—	—
49	名張川	新夏見橋	A	0.8	0.7	0.9	0.8	1.1	1.0	○	○	2
50	宇陀川	安部田	未指定	0.7	0.7	0.7	0.7	1.0	0.9	—	—	—
51	名張川	名張	A	0.8	0.8	0.8	0.8	1.1	1.2	○	○	2
52	〃	◎家野橋	A	0.9	0.7	1.1	0.8	1.3	1.1	○	○	2
53	〃	比奈知ダム湖	A	1.1	1.1	1.4	1.3	1.9	1.6	○	○	2
54	〃	高山ダム湖	未指定	1.3	0.9	1.5	1.1	2.2	1.7	—	—	—
55	〃	高山ダム下流	未指定	0.8	0.8	0.7	1.0	1.4	1.1	—	—	—
56	宇陀川	◎高倉橋	A	0.8	0.7	0.9	0.9	1.2	1.0	○	○	2
57	〃	◎辻堂橋	A	0.7	0.6	0.8	0.7	1.0	0.9	○	○	2
58	〃	室生路橋	A	0.7	0.6	0.6	0.7	1.0	0.8	○	○	2
59	木津川	◎加茂恭仁大橋	A	0.9	0.8	1.0	0.8	1.7	1.9	○	○	2
60	〃	◎玉水橋	A	0.8	0.8	0.8	0.7	1.7	1.7	○	○	2
61	〃	◎木津川御幸橋	A	0.9	0.7	0.9	0.6	1.9	1.6	○	○	2
62	桂川	貯水池基準点(日吉ダム)	A	0.6	0.6	<0.5	0.8	1.0	1.1	○	○	2
63	〃	◎渡月橋	A	0.6	0.7	0.6	0.7	1.1	1.0	○	○	2
64	〃	◎西大橋	A	0.6	0.7	0.6	0.7	1.0	1.1	○	○	2
65	〃	久世橋	A	0.6	0.7	0.6	0.8	0.7	0.9	○	○	2
66	〃	羽束師橋	A	0.7	0.9	0.8	1.0	0.9	1.2	○	○	2
67	〃	◎宮前橋	A	0.9	0.9	1.0	0.9	1.9	1.2	○	○	2
68	淀川	◎枚方大橋	B	1.0	1.0	1.1	1.0	1.9	1.7	○	○	3
69	〃	◎鳥飼大橋	B	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.6	○	○	3
70	〃	◎菅原城北大橋	B	1.0	1.3	1.1	1.3	1.8	3.6	○	○	3
71	〃	◎伝法大橋	C	2.3	1.8	3.2	2.1	5.8	4.9	○	○	5
72	芥川	◎鷺打橋	A	0.8	0.7	0.8	0.8	1.9	1.1	○	○	2
73	一庫大路次川	一庫ダム	未指定	0.9	0.7	1.0	0.6	2.3	1.6	—	—	—

表-1.4 (4) 一級河川の主要地点BOD値による水質状況

地点番号	河川名	地点名	類型指定	BOD(mg/L)								基準値
				平均値		75%値		最大値		環境基準達成状況(75%値)		
				H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	
74	猪名川	◎銀橋	A	0.7	0.7	0.6	0.8	1.4	1.0	○	○	2
75	"	呉服橋	A	0.6	0.6	0.6	0.6	0.9	0.9	○	○	2
76	最明寺川	最明寺川流末	未指定	1.1	0.9	1.2	0.9	1.9	1.6	-	-	-
77	猪名川	◎軍行橋	A	0.7	0.7	0.8	0.8	1.0	1.1	○	○	2
78	内川	内川流末	未指定	1.1	1.3	1.3	1.4	1.4	1.5	-	-	-
79	駄六川	駄六川流末	未指定	0.9	1.0	0.7	0.9	1.5	1.6	-	-	-
80	猪名川	猪名川橋	D	0.7	0.6	0.7	0.7	1.6	1.3	○	○	8
81	猪名川	◎利倉	D	2.4	3.4	2.5	3.7	5.0	8.8	○	○	8
82	藻川	◎中園橋	B	0.8	0.8	0.9	0.9	1.4	1.7	○	○	3
加古川 (水系)												
83	加古川	◎板波	B	0.8	0.9	1.1	0.8	1.5	2.3	○	○	3
84	"	大住橋	B	0.9	0.8	1.2	0.7	1.4	1.2	○	○	3
85	"	国包	B	1.1	1.3	1.0	1.3	2.4	3.0	○	○	3
86	"	◎池尻	B	1.1	1.2	1.3	1.1	2.2	3.4	○	○	3
87	"	相生橋	B	0.9	1.2	1.1	1.4	1.2	2.3	○	○	3
88	東条川	古川橋	未指定	1.2	1.1	1.1	1.1	1.4	1.3	-	-	-
89	万願寺川	西脇橋	未指定	1.3	1.2	1.5	1.0	1.7	1.7	-	-	-
揖保川 (水系)												
90	揖保川	曲里	A	0.6	0.6	0.5	0.6	0.8	0.7	○	○	2
91	"	◎山崎	A	0.6	0.6	0.7	0.5	0.8	1.0	○	○	2
92	"	背崎	A	0.6	1.0	0.6	1.1	0.8	1.7	○	○	2
93	"	◎龍野	A	0.6	0.7	0.7	0.7	0.9	1.2	○	○	2
94	"	◎上川原	B	0.7	0.7	0.9	0.8	1.1	1.1	○	○	3
95	"	本町橋	B	0.6	0.9	0.5	0.8	0.9	1.7	○	○	3
96	林田川	構	未指定	0.8	0.8	0.7	1.0	1.3	1.2	-	-	-

表-1.4 (5) 一級河川の主要地点BOD値による水質状況

地点番号	河川名	地点名	類型指定	BOD (mg/L)								基準値
				平均値		75%値		最大値		環境基準達成状況(75%値)		
				H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	
九頭竜川 (水系)												
97	九頭竜川	◎九頭竜ダム湖	AA	0.8	0.9	1.0	1.0	1.7	1.8	○	○	1
98	真名川ダム湖	真名川ダム湖	未指定	0.8	0.9	0.9	1.0	1.5	1.6	—	—	—
99	九頭竜川	◎中角	A	0.6	0.6	0.7	0.7	1.2	0.8	○	○	2
100	〃	高屋橋	A	0.6	0.7	0.7	0.8	0.8	0.9	○	○	2
101	日野川	◎深谷	B	1.1	0.9	1.3	1.0	1.5	1.6	○	○	3
102	〃	日光橋	B	0.9	1.2	0.9	1.2	1.5	1.8	○	○	3
103	九頭竜川	◎布施田	B	0.8	0.7	1.0	0.9	1.5	1.2	○	○	3
104	〃	九頭竜川河口	B	0.7	1.4	0.7	0.9	1.1	3.5	○	○	3
北川 (水系)												
105	北川	上中橋	A	0.6	0.6	0.6	<0.5	0.8	0.7	○	○	2
106	〃	◎高塚	A	0.6	0.5	0.6	0.6	1.0	0.6	○	○	2
107	〃	西津橋	A	0.7	<0.5	0.8	<0.5	0.9	<0.5	○	○	2
由良川 (水系)												
108	土師川	◎土師橋	A	0.7	0.8	0.9	0.9	1.4	1.4	○	○	2
109	由良川	◎以久田橋	A	0.7	0.7	0.8	0.8	1.1	1.1	○	○	2
110	〃	◎音無瀬橋	A	0.7	0.8	1.0	0.9	1.2	1.3	○	○	2
111	〃	筈巻橋	A	0.6	0.8	<0.5	0.8	1.0	1.1	○	○	2
112	〃	◎波美橋	A	0.7	0.6	0.8	0.7	1.0	1.1	○	○	2
113	〃	◎由良川橋	A	0.7	1.0	0.8	1.1	1.4	2.1	○	○	2
円山川 (水系)												
114	円山川	◎府市場	A	0.6	0.6	0.7	0.6	0.9	0.8	○	○	2
115	出石川	弘原	未指定	0.7	0.6	0.5	<0.5	1.1	0.9	—	—	—
116	円山川	◎立野	B	0.7	0.6	0.8	0.7	1.4	1.0	○	○	3
117	〃	結和橋	B	1.6	1.2	1.9	0.7	3.2	3.1	○	○	3
118	〃	港大橋	B	1.1	0.9	1.4	1.1	1.9	1.5	○	○	3

表-1.5 (1) 一級河川(湖沼)の主要地点COD値による水質状況

注：◎ 印は環境基準地点

○ 印は環境基準地点 (N・P)

地点番号は図-1.7および図-1.8に示す。

地点名のアンダーラインは滋賀県調査

環境基準状況：○印は達成

無印は未達成

地点番号	河川名	地点名	類型指定	COD (mg/L)								基準値
				平均値		75%値		最大値		環境基準達成状況 (75%値)		
				H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	
新宮川 (水系)												
119	熊野川	◎猿谷ダム湖中央	A	1.6	1.7	1.8	2.0	3.8	2.9	○	○	3
淀川 (水系)												
120	琵琶湖 (南湖)	栗津沖中央	AA	3.0	3.4	3.3	3.2	3.7	6.1			1
121	"	三保ヶ崎沖	AA	3.0	3.4	3.1	3.1	4.0	8.3			1
122	"	◎浜大津沖	AA	3.1	3.4	3.5	3.1	4.1	6.8			1
123	"	浜大津沖中央	AA	2.9	3.1	3.0	3.0	3.9	6.0			1
124	"	柳ヶ崎沖	AA	2.9	3.4	3.0	3.3	5.0	8.4			1
125	"	柳ヶ崎沖中央	AA	2.8	3.4	2.8	3.1	4.6	8.4			1
126	"	山田港沖	AA	3.2	3.6	3.4	3.5	5.0	7.9			1
127	"	○唐崎沖	AA	3.1	3.3	3.5	3.3	4.0	6.0			1
128	"	◎唐崎沖中央	AA	2.8	3.5	3.1	3.0	3.5	7.4			1
129	"	伊佐々川沖	AA	3.7	3.8	3.6	3.6	7.1	6.7			1
130	"	大宮川沖	AA	2.8	3.1	3.0	3.2	3.3	5.4			1
131	"	大宮川沖中央	AA	2.5	3.6	2.6	2.9	3.0	8.5			1
132	"	志那沖	AA	3.0	3.5	3.3	3.2	4.7	6.8			1
133	"	雄琴沖	AA	2.7	2.9	2.9	2.8	3.1	4.9			1
134	"	雄琴沖中央	AA	3.0	3.9	3.1	3.2	4.7	11.0			1
135	"	◎新杉江港沖	AA	4.1	4.1	4.4	4.2	7.5	8.0			1
136	"	堅田沖	AA	2.8	2.7	3.0	2.7	3.2	3.7			1
137	"	◎堅田沖中央	AA	2.9	2.8	3.2	2.9	4.5	3.4			1
138	"	木ノ浜沖	AA	3.0	3.0	3.1	3.1	4.1	5.6			1
南湖平均				3.0	3.4	3.2	3.2	4.4	6.8			
139	琵琶湖 (北湖)	丹出川沖	AA	2.6	2.2	2.8	2.3	3.1	2.8			1
140	"	丹出川沖中央	AA	2.5	2.3	2.8	2.5	3.0	2.9			1
141	"	吉川港沖	AA	2.8	2.4	3.1	2.7	3.5	2.8			1
142	"	ほうらい沖	AA	2.3	2.3	2.6	2.5	2.7	3.0			1

表-1.5 (2) 一級河川(湖沼)の主要地点COD値による水質状況

地点番号	河川名	地点名	類型指定	COD (mg/L)						環境基準達成状況 (75%値)	基準値
				平均値		75%値		最大値			
				H29	H30	H29	H30	H29	H30		
143	琵琶湖 (北湖)	ほうらい沖中央	AA	2.5	2.2	2.6	2.2	3.0	2.9		1
144		日野川沖	AA	2.6	2.7	2.8	3.2	3.4	3.6		1
145		南比良沖	AA	2.5	2.1	2.8	2.2	2.9	2.6		1
146		○南比良沖中央	AA	2.7	2.4	2.8	2.7	3.4	3.2		1
147		長命寺沖	AA	2.6	2.3	2.9	2.6	3.1	2.8		1
148		◎北小松沖	AA	2.6	2.4	2.9	2.6	3.3	2.9		1
149		北小松沖中央	AA	2.4	2.2	2.6	2.3	2.8	2.6		1
150		◎愛知川沖	AA	2.6	2.4	2.8	2.6	3.4	2.8		1
151		大溝沖	AA	2.2	2.3	2.2	2.5	2.7	3.0		1
152		大溝沖中央	AA	2.4	2.2	2.7	2.4	2.8	2.7		1
153		石寺沖	AA	2.6	2.2	2.7	2.3	3.8	2.8		1
154		安曇川沖	AA	2.1	2.2	2.4	2.5	2.7	2.9		1
155		○安曇川沖中央	AA	2.2	2.2	2.4	2.3	3.4	2.7		1
156		彦根港沖	AA	2.3	2.4	2.5	2.5	2.9	2.8		1
157		外ヶ浜沖	AA	2.3	2.1	2.4	2.2	2.8	2.6		1
158		外ヶ浜沖中央	AA	2.4	2.1	2.5	2.2	2.8	2.6		1
159		天野川沖	AA	2.3	2.3	2.4	2.4	2.9	2.8		1
160		◎今津沖	AA	2.5	2.2	2.8	2.3	3.2	2.6		1
161	○今津沖中央	AA	2.6	2.3	2.9	2.5	3.5	2.8		1	
162	姉川沖	AA	2.2	2.2	2.5	2.3	2.7	2.8		1	
163	◎長浜沖	AA	2.6	2.4	2.9	2.6	3.5	2.9		1	
164	知内川沖	AA	2.1	2.2	2.3	2.3	2.5	3.0		1	
165	知内川沖中央	AA	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	2.8		1	
166	早崎港沖	AA	2.4	2.1	2.6	2.2	2.9	2.7		1	
北湖平均				2.4	2.3	2.6	2.4	3.0	2.8		
167	布目川	◎布目ダム	A	3.6	3.7	3.6	4.2	4.9	4.8		3
168	宇陀川	◎室生ダム湖	A	2.8	2.8	3.2	3.1	3.8	4.0		3
169	〃	◎県営水道取水口	A	3.2	3.1	4.1	3.4	4.2	4.2		3

1. 5 主要河川の地点別水質経年変化

表-1.3の地点ごとに、BOD年平均値の経年変化を以下に示す。

① 熊野川

熊野川の2地点のうち、熊野大橋は近年、0.5mg/ℓ前後で横ばいの傾向であり、熊野川河口は平成22年頃までは変動が大きかったが、近年は0.5～1.0mg/ℓの間で推移している。

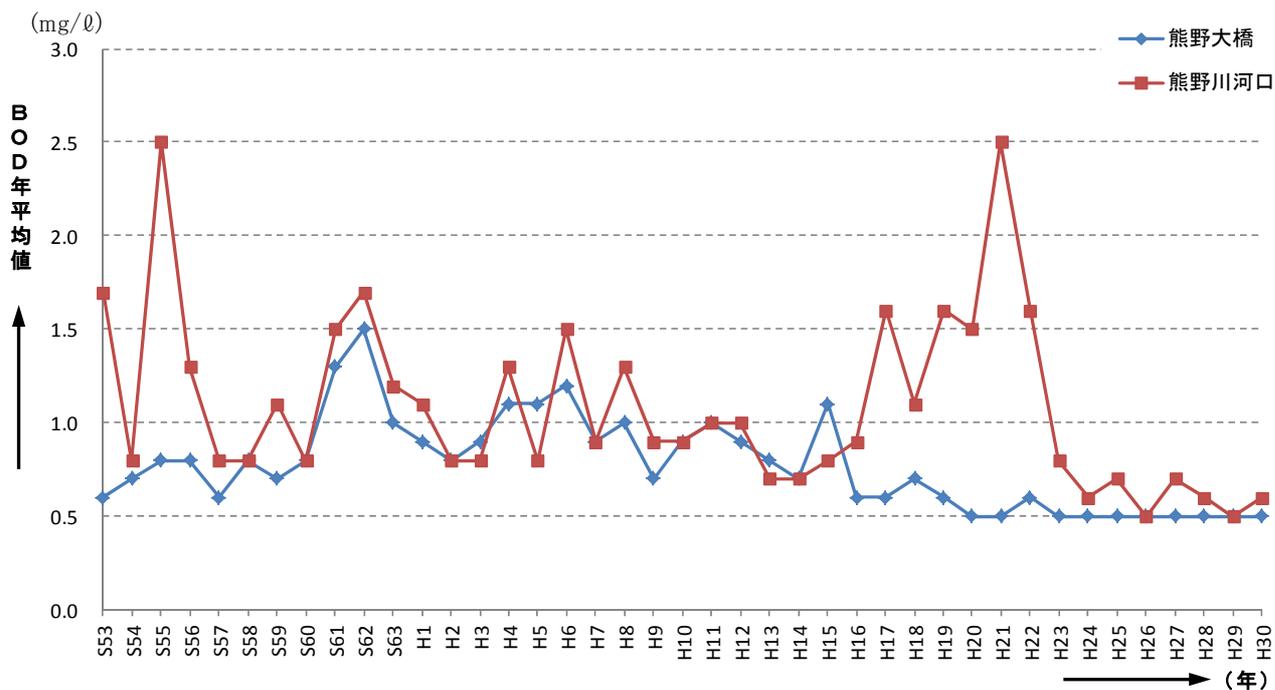


図-1.9 熊野川の水質経年変化 (BOD年平均値)

② 紀の川

紀の川(上流)の各地点は、いずれも平成6年頃から平成21年頃までは減少傾向にあるが、近年は概ね0.5~1.0mg/ℓの間で推移している。紀の川(下流)の各地点は変動が大きい、藤崎井堰や船戸では平成6年頃から平成15年頃までは減少傾向にあるが、近年は0.5~1.0mg/ℓの間で推移している。

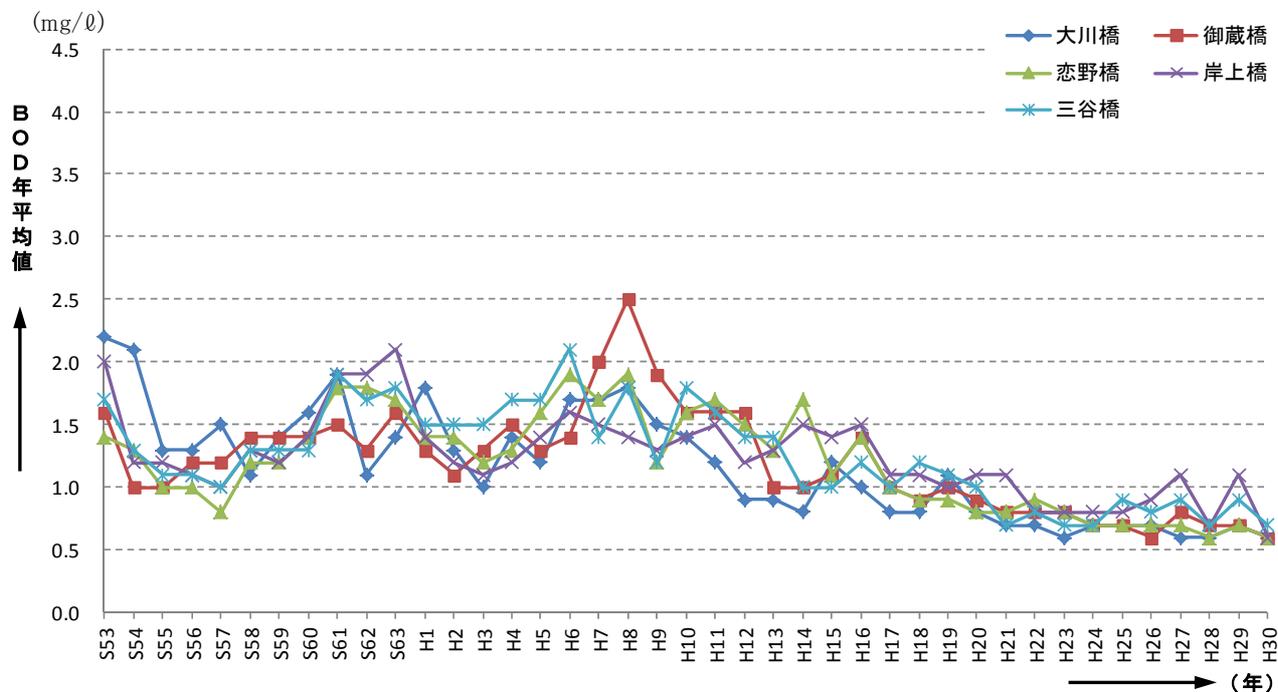


図-1.10 紀の川（上流）の水質経年変化（BOD年平均値）

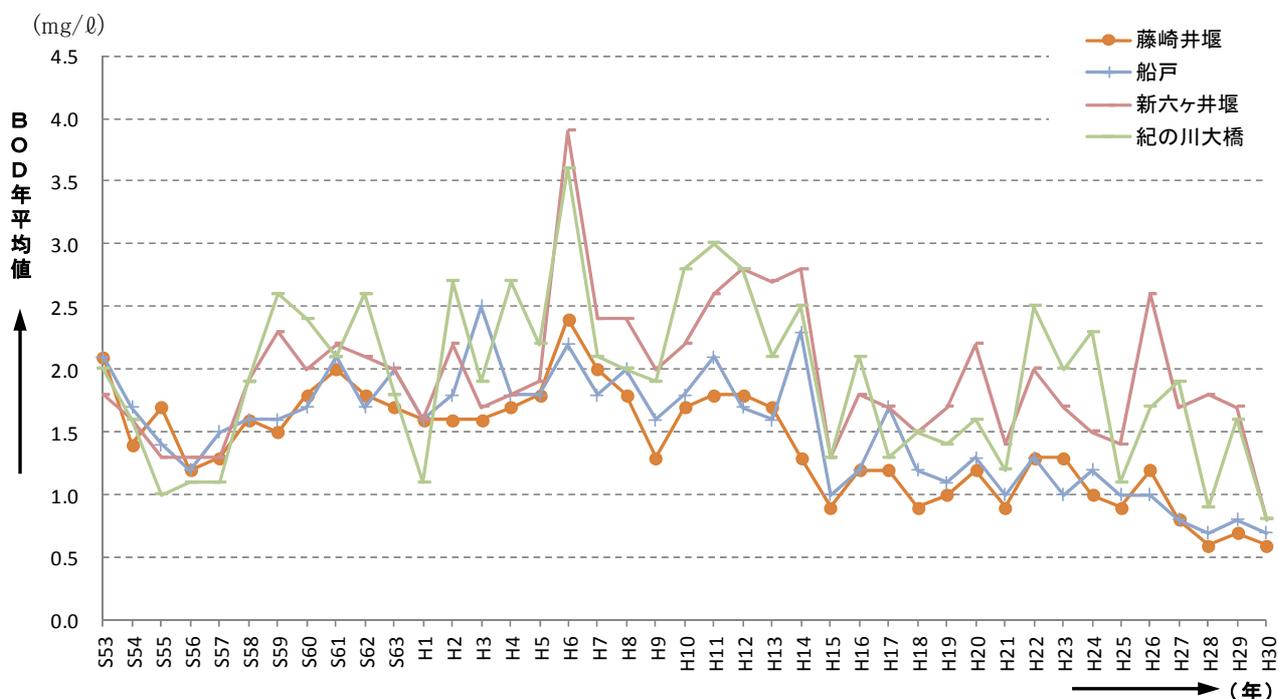


図-1.11 紀の川（下流）の水質経年変化（BOD年平均値）

③ 大和川

大和川では、二期にわたる「水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンス21、Ⅱ）」における河川浄化事業、下水道の整備や、啓発活動等の効果により近年着実に水質が改善され、年々、減少傾向にある。平成18年以降は大和川(奈良県)及び大和川(大阪府)のいずれの地点も、概ね5.0mg/ℓを下回っている。

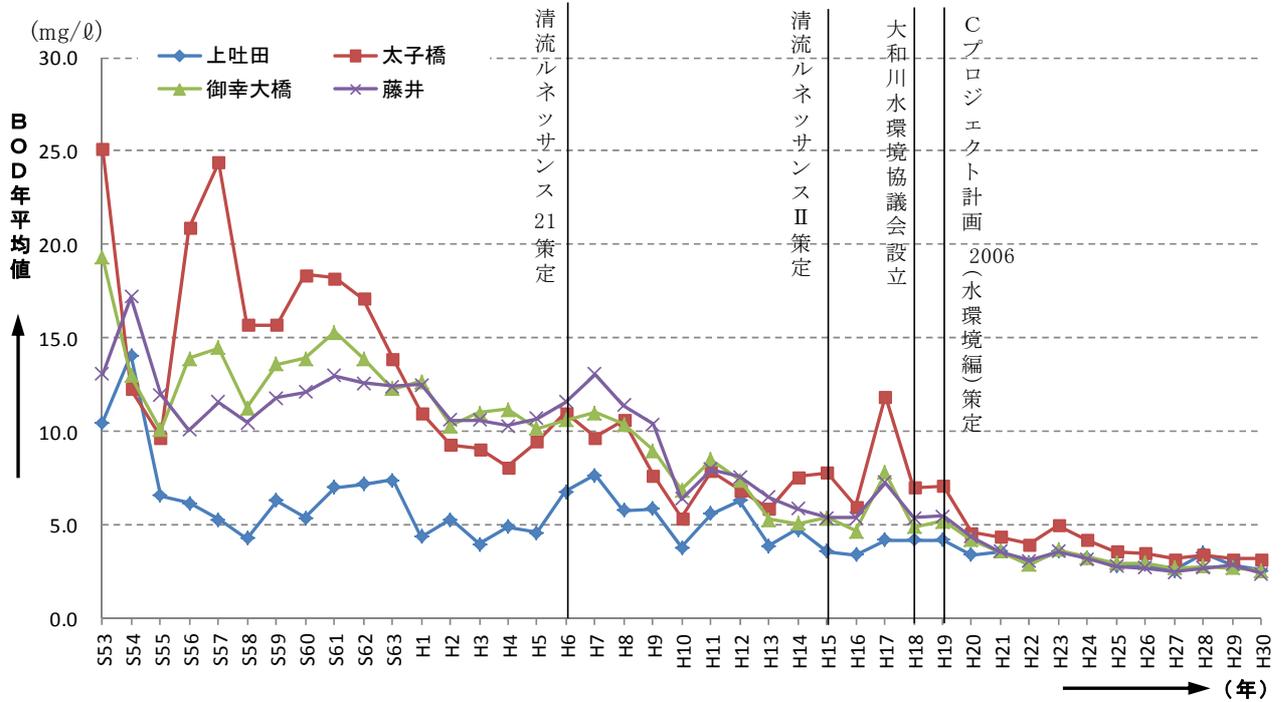


図-1.12 大和川(奈良県)の水質経年変化(BOD年平均値)

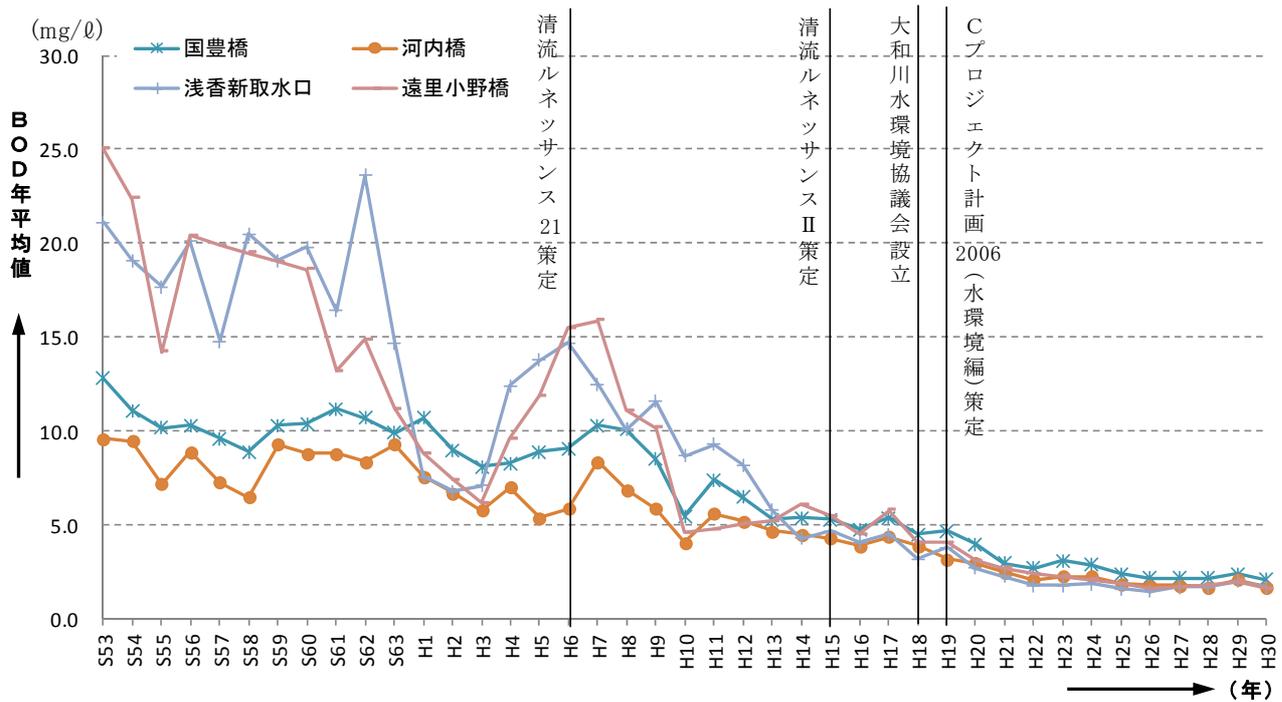
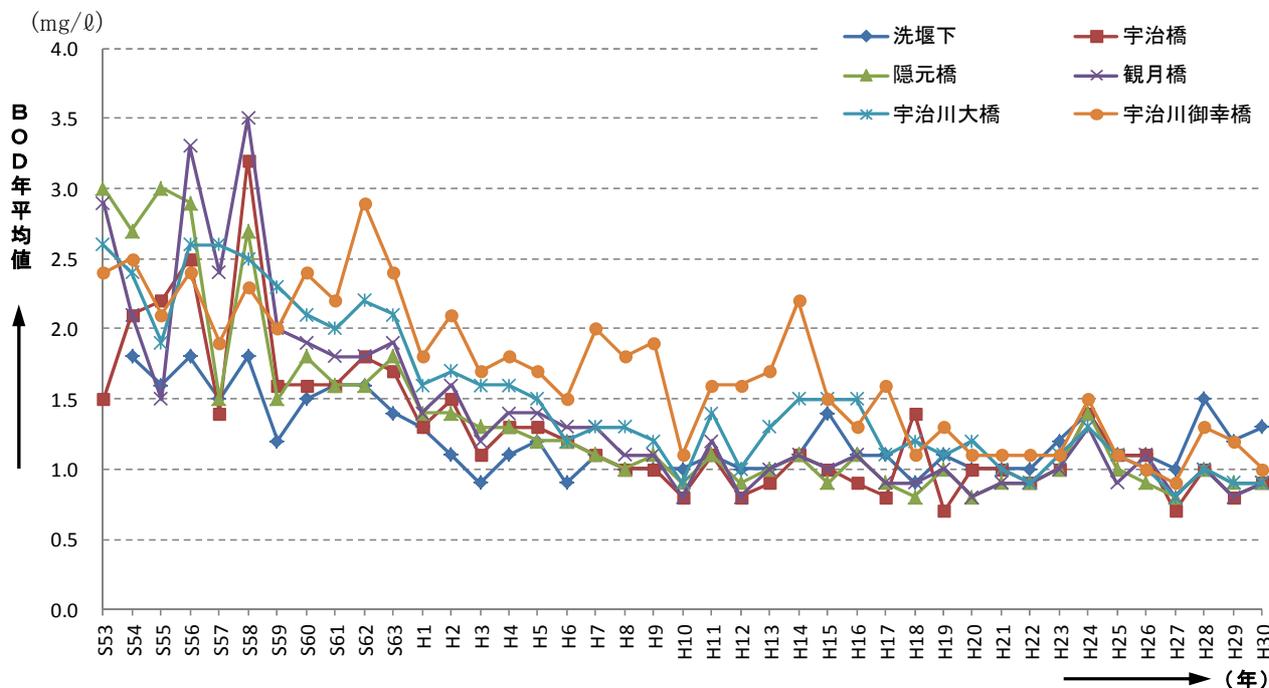


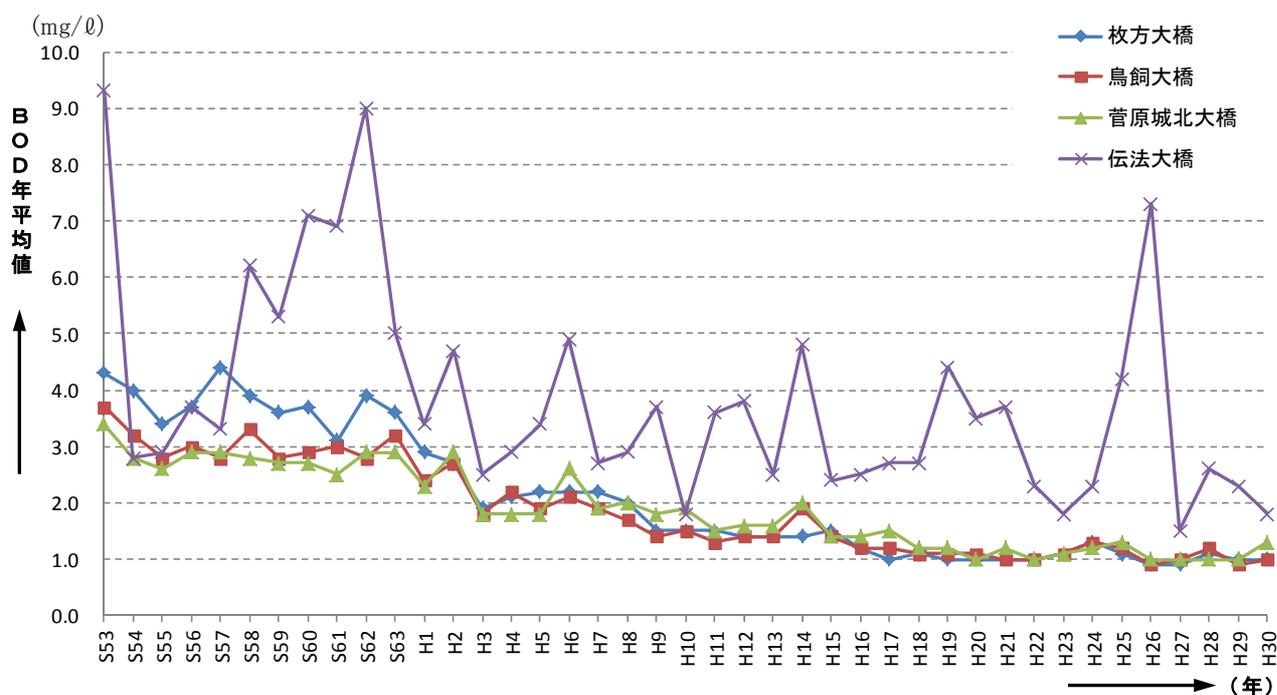
図-1.13 大和川(大阪府)の水質経年変化(BOD年平均値)

④ 淀川

淀川本川(三川合流点上流)のいずれの地点も年々、概ね減少傾向にあり、平成18年以降は概ね1.5mg/l以下で推移している。淀川本川(三川合流点下流)では、最下流の伝法大橋は海水遡上の影響で他の地点よりやや高めで推移しているが、その他の地点は年々、減少傾向にあり、平成18年以降は1.0mg/l前後で推移している。



図一.14 淀川本川（三川合流点上流）平均水質の経年変化（BOD年平均値）



図一.15 淀川本川（三川合流点下流）平均水質の経年変化（BOD年平均値）

⑤ 野洲川

野洲川の2地点では平成18年以降、水質が改善され概ね0.5mg/ℓの間で推移している。

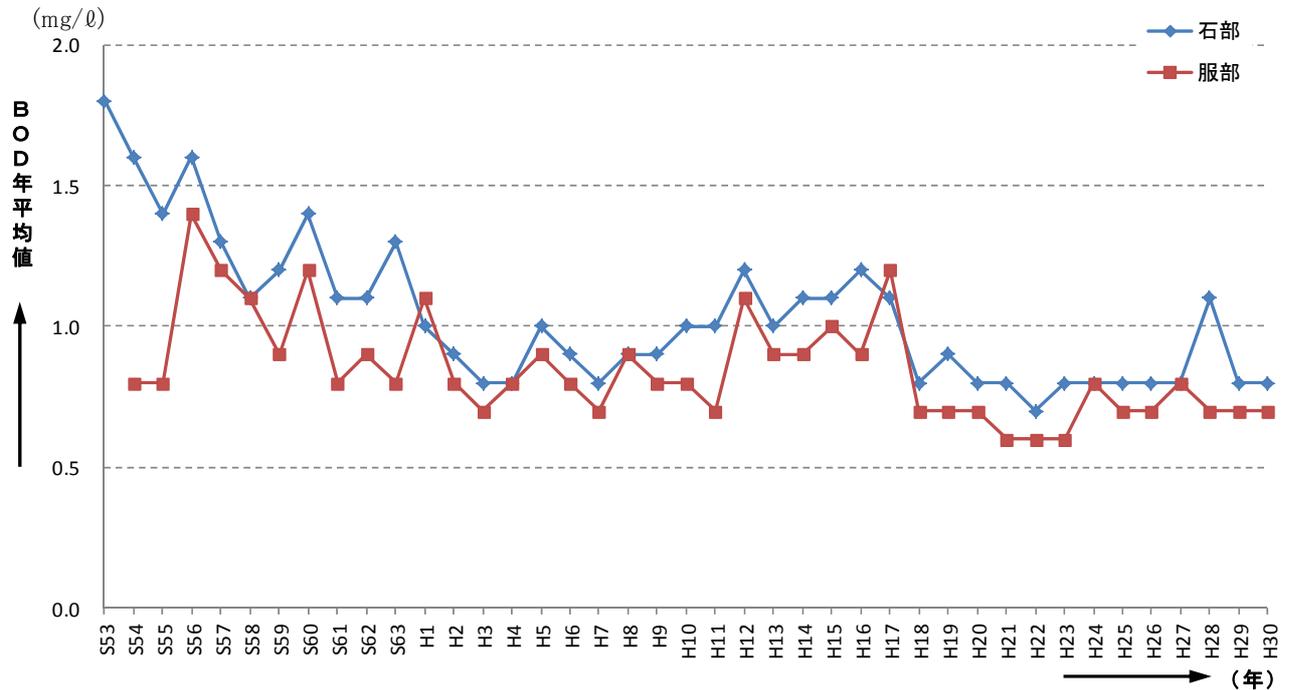


図-1.16 野洲川の水質経年変化 (BOD年平均値)

⑥ 桂川

いずれの地点も減少傾向にあり、水質は改善されている。平成10年までは地点ごとの差が大きい、平成10年以降は地点ごとの差が小さくなり、いずれの地点も概ね1.0mg/ℓ前後で推移している。

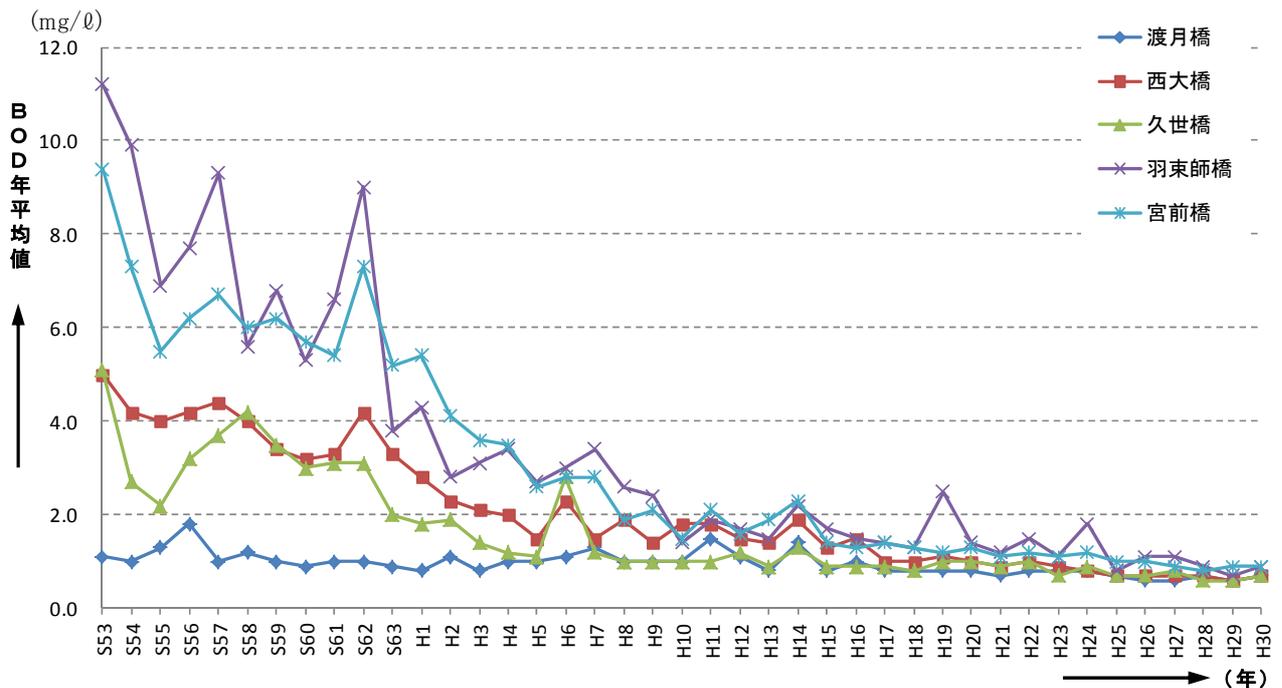


図-1.17 桂川の水質経年変化 (BOD年平均値)

⑦ 宇陀川

高倉橋は平成9年頃まで高い値を示していたが、それ以降は概ね、1.5mg/l以下で減少傾向にある。近年では、いずれの地点も1.0mg/l前後で推移している

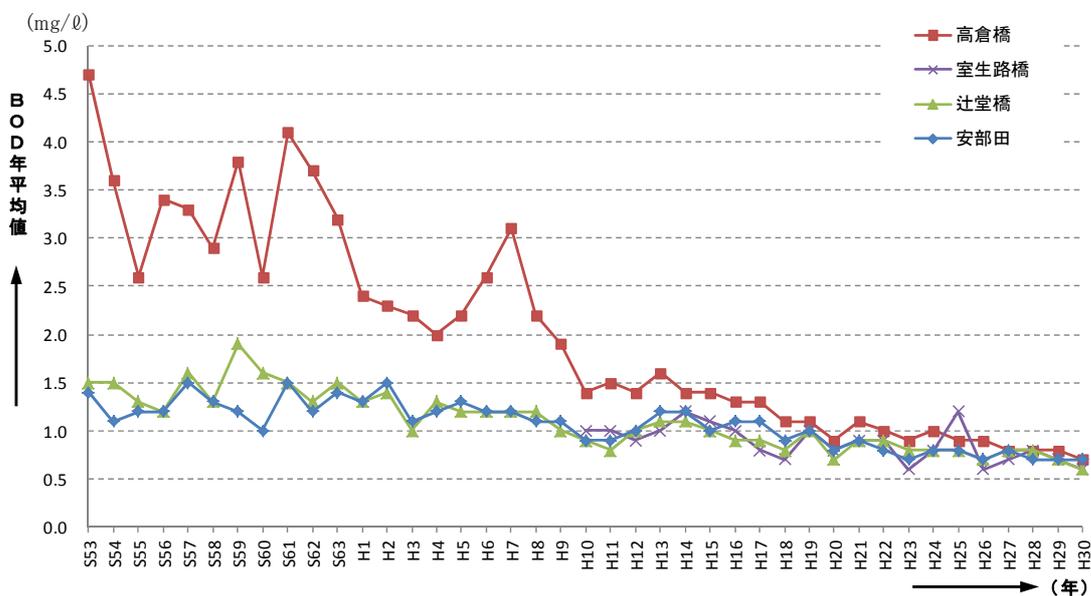


図-1.18 宇陀川の水質経年変化（BOD年平均値）

⑧ 名張川

いずれの地点も平成16年頃まで変動が大きいですが、それ以降、概ね減少傾向にあり、近年は1.0mg/l前後で推移している。

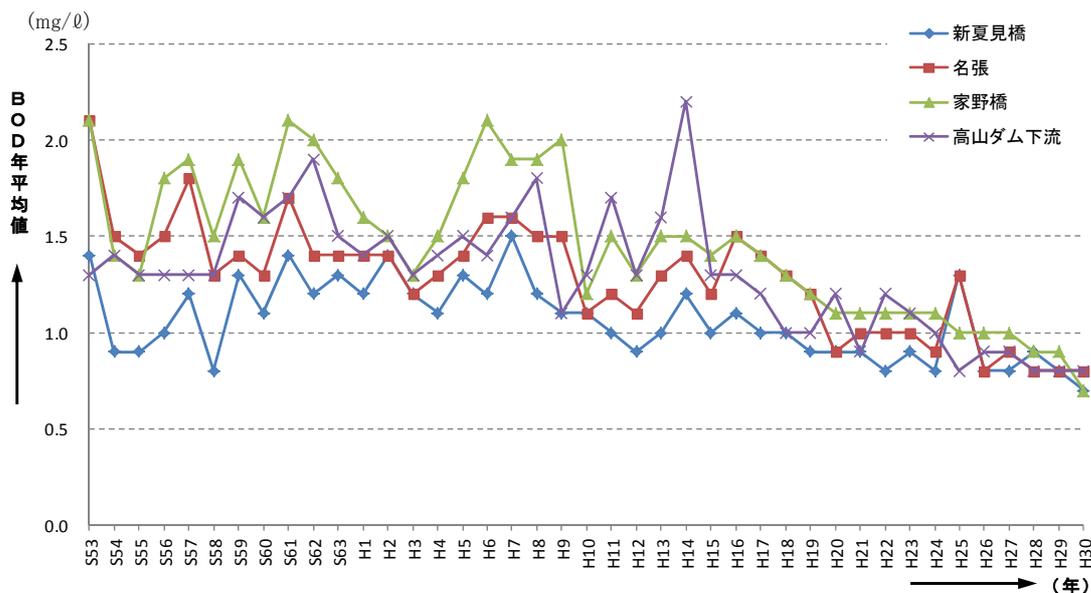
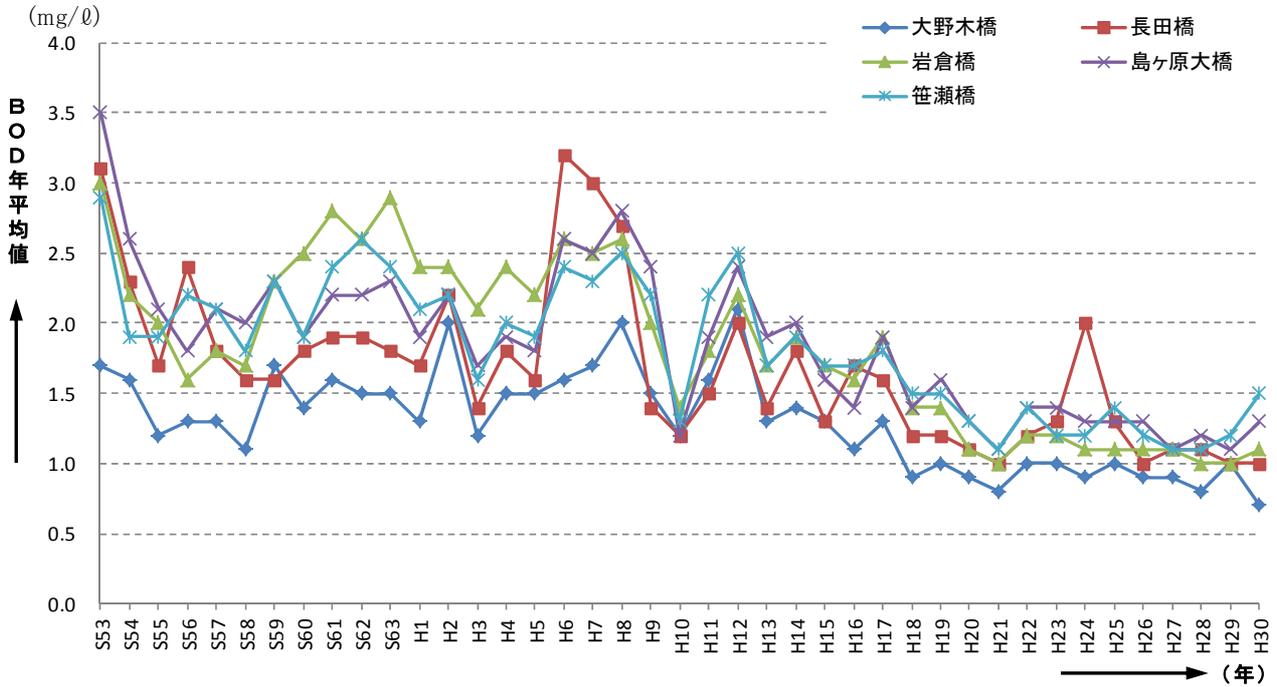


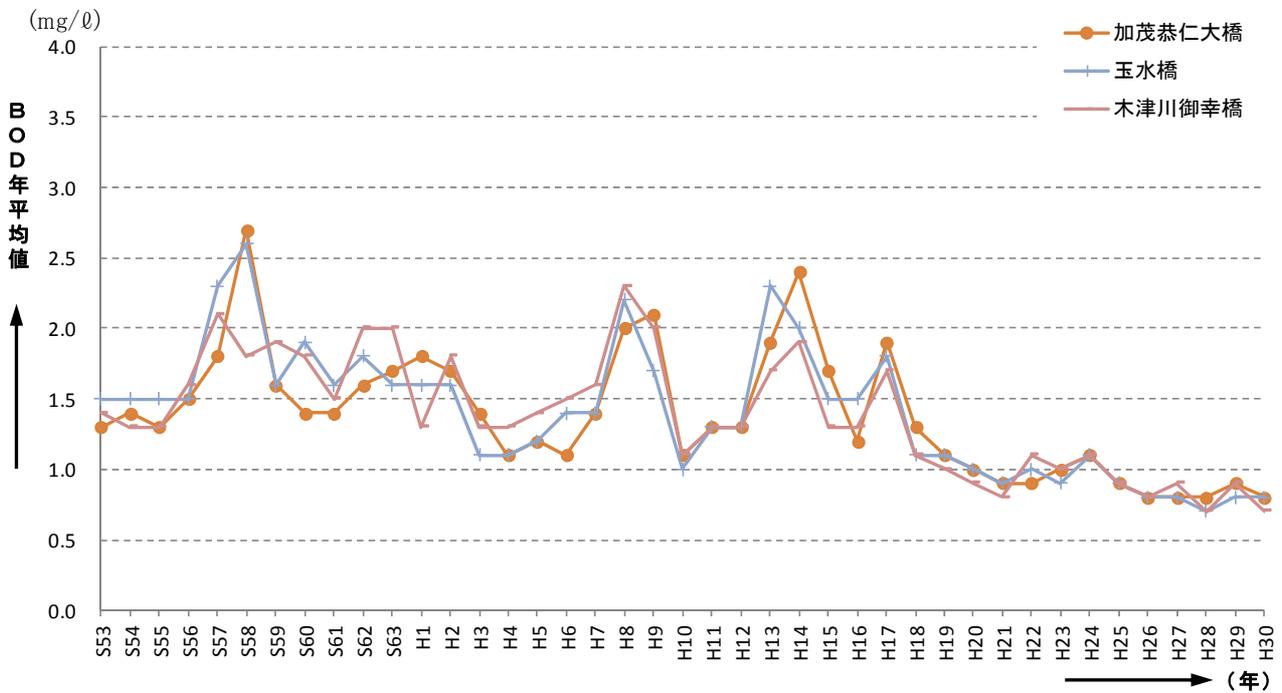
図-1.19 名張川の水質経年変化（BOD年平均値）

⑨ 木津川

木津川(上流)の各地点は、平成12年以降、概ね減少傾向にある。木津川(下流)の3地点の水質はほぼ同レベルの濃度で同様の変動を示し、近年は1.0mg/ℓを下回っている。



図一.20 木津川（上流）の水質経年変化（BOD年平均値）



図一.21 木津川（下流）の水質経年変化（BOD年平均値）

⑩ 猪名川

猪名川中・上流域の水質は良好で、平成10年頃からは1.0mg/l前後で推移しているが、下流域の利倉は毎年、他の地点に比べて高い値で推移しているが、近年は急激に低下してきている。

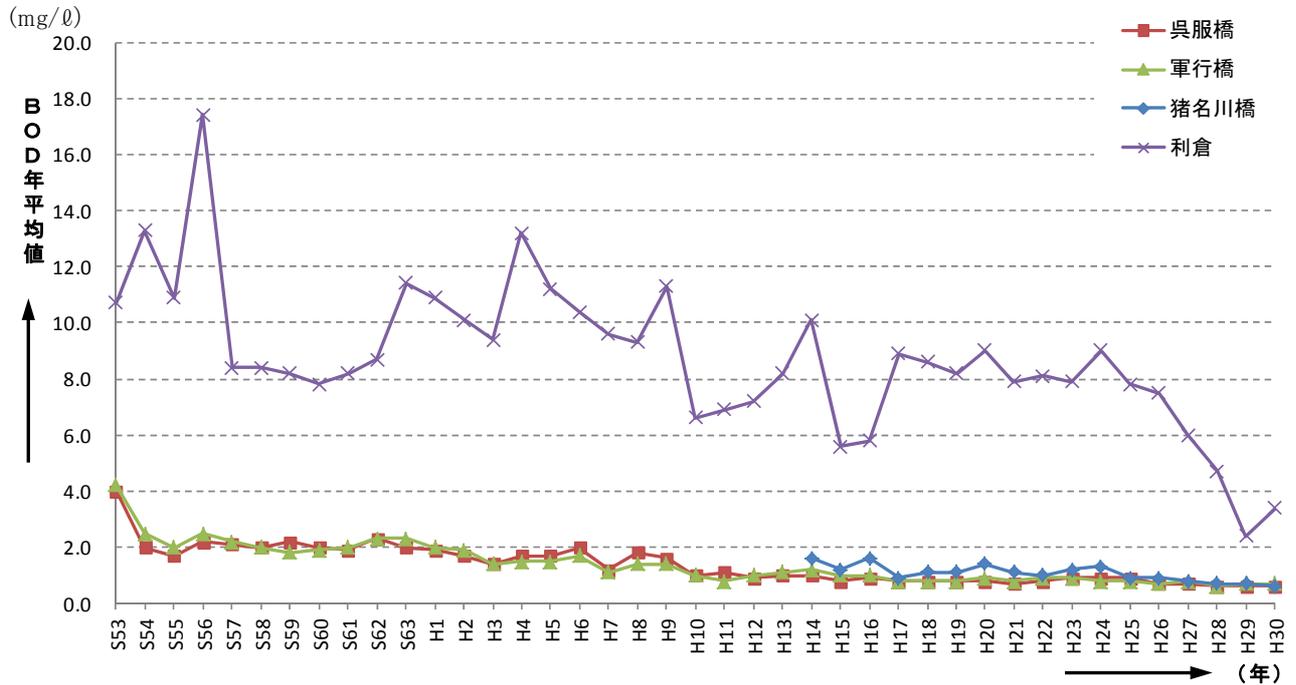


図-1.22 猪名川の水質経年変化 (BOD年平均値)

⑪ 加古川

各地点とも変動があるものの、概ね減少傾向にあり、近年は1.0mg/l前後で推移している。

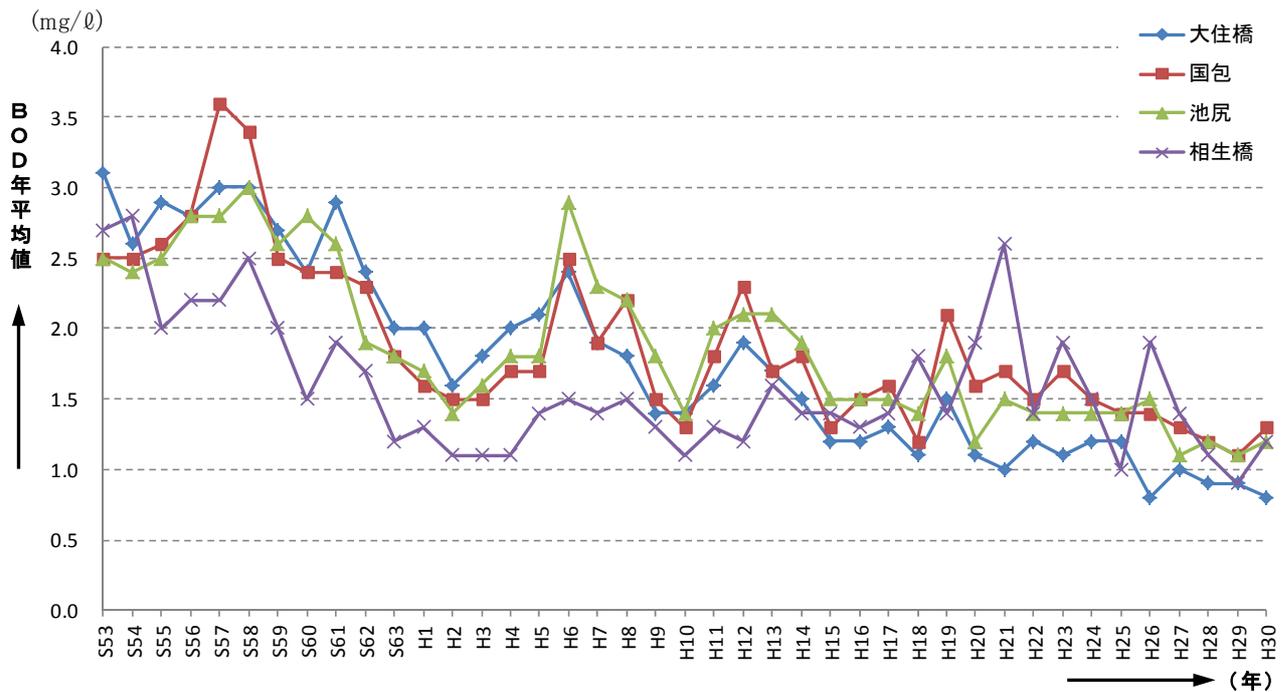
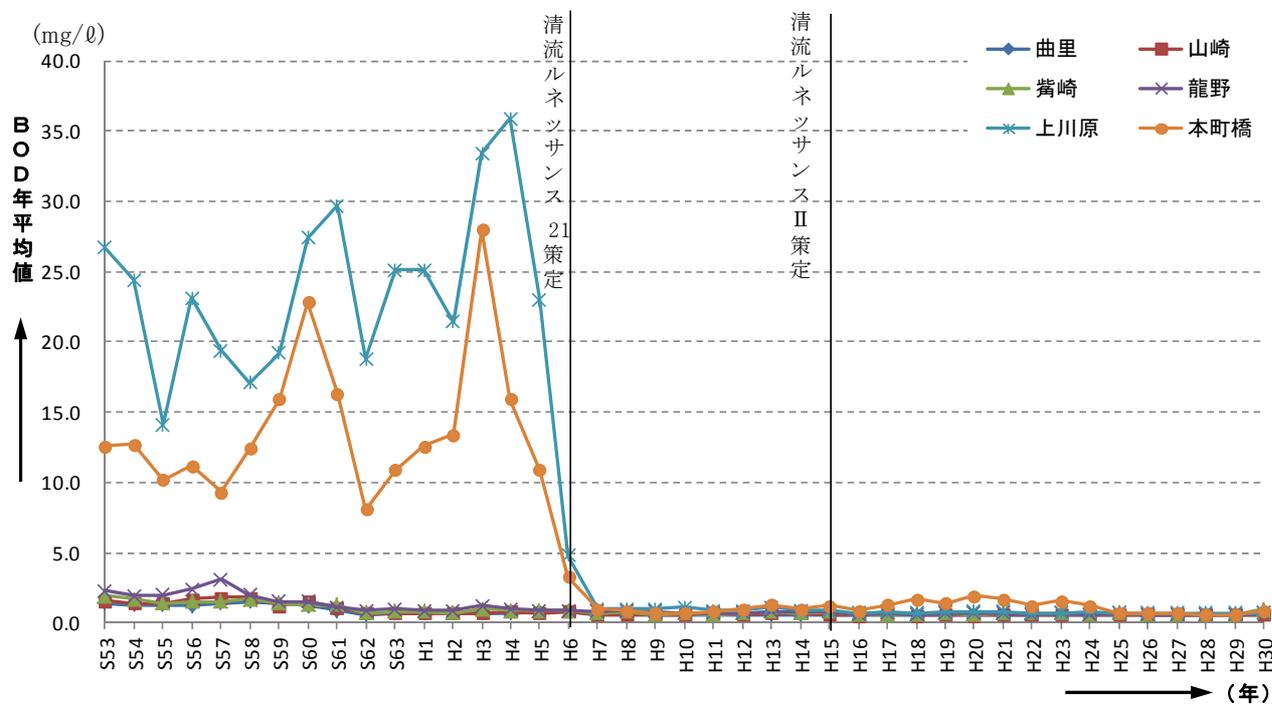


図-1.23 加古川の水質経年変化 (BOD年平均値)

⑫ 揖保川

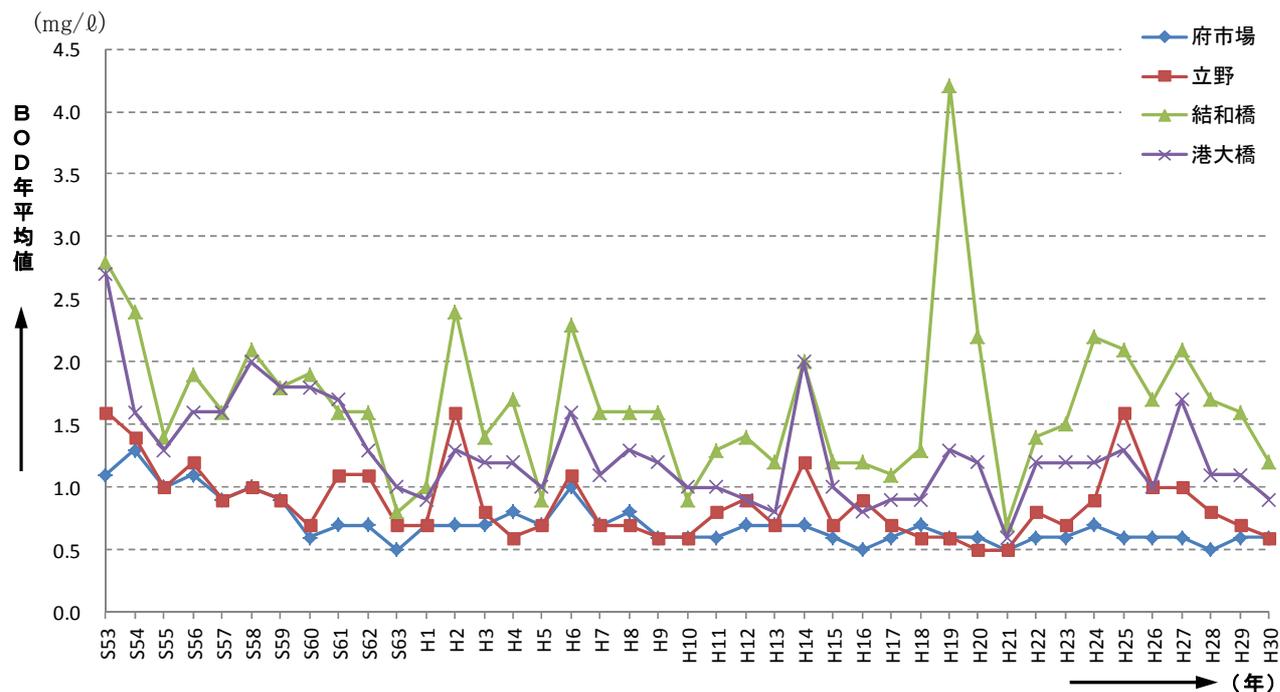
平成5年頃までは上川原及び本町橋で10mg/ℓを上回る値となっていたが、流域における下水道事業、河川浄化事業（汚泥浚渫等）などにより水質が改善され、平成7年以降は、他の地点とともに1.0mg/ℓ程度で推移している。



図一.24 揖保川の水質経年変化（BOD年平均値）

⑬ 円山川

結和橋は海水遡上のため2.0mg/ℓを上回る年があるが、その他の地点は概ね、0.5～1.5mg/ℓの間で推移している。



図一.25 円山川の水質経年変化（BOD年平均値）

⑭ 由良川

平成7年以降は、いずれの地点も概ね0.5~1.0mg/ℓの間で推移している。

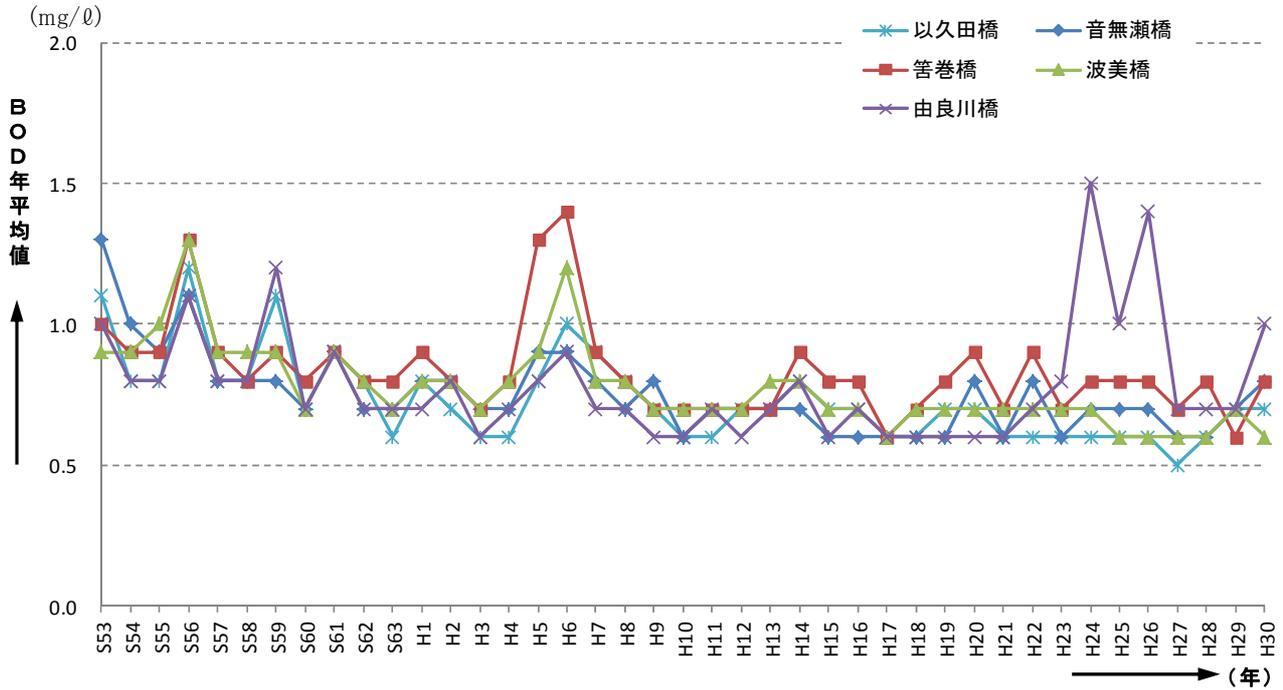


図-1.26 由良川の水質経年変化 (BOD年平均値)

⑮ 北川

各地点とも昭和62年以降0.6mg/ℓ前後で推移しており、良好な水質を維持している。

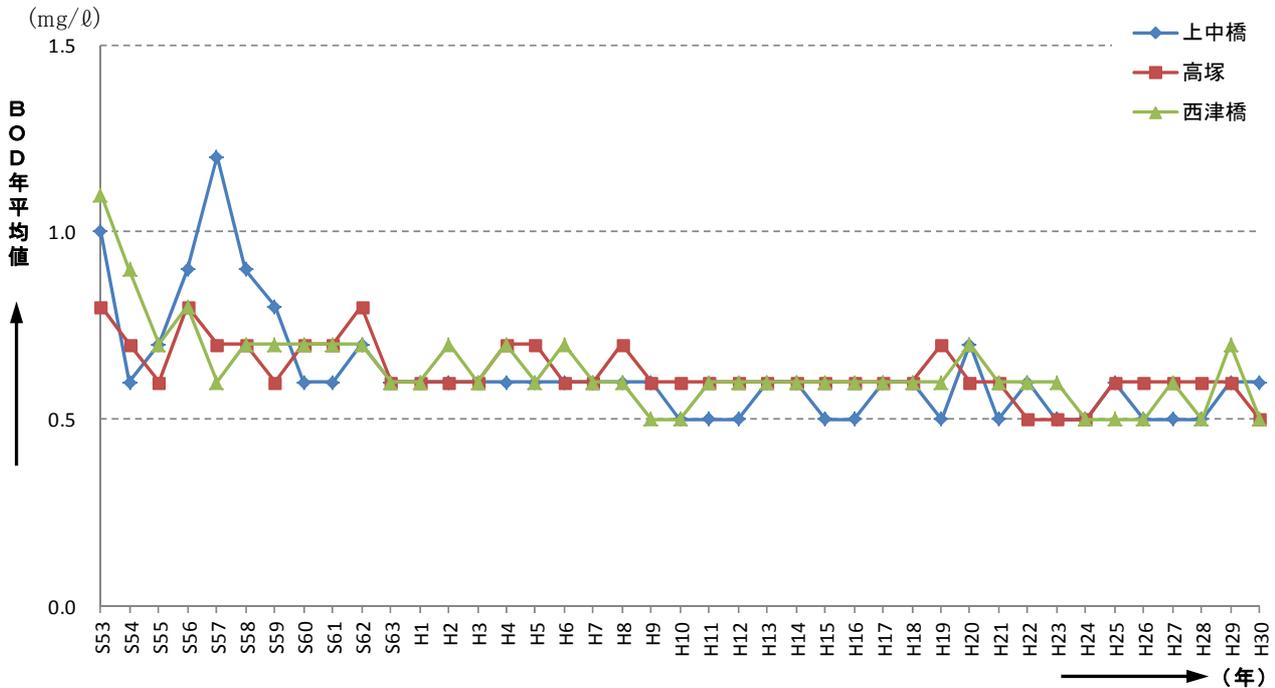
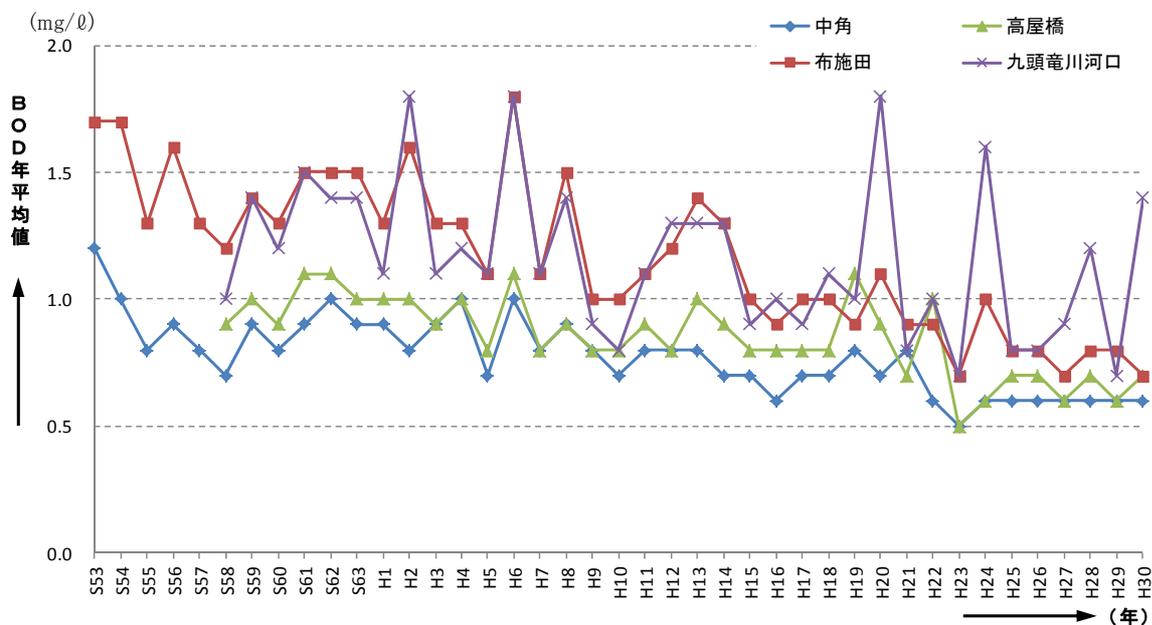


図-1.27 北川の水質経年変化 (BOD年平均値)

⑩ 九頭竜川

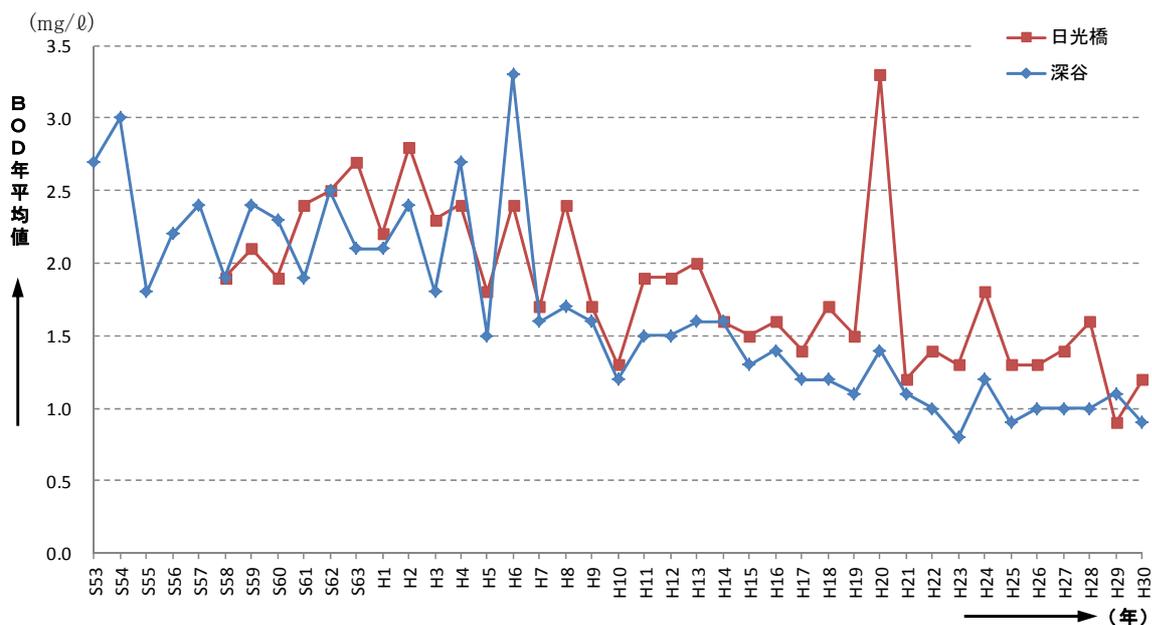
九頭竜川河口を除く各地点は、平成15年頃からは概ね0.5~1.0mg/l程度で推移し、良好な水質である。九頭竜川河口は変動が大きい。



図一.28 九頭竜川の水質経年変化 (BOD年平均値)

⑪ 日野川 (九頭竜川水系)

2地点とも平成6年頃から概ね減少傾向にある。



図一.29 日野川の水質経年変化 (BOD年平均値)

1. 6 水系別の水質概況

① 新宮川

熊野大橋地点でみると、平成30年のBOD75%値は$0.5\text{mg}/\ell$であり、環境基準（A類型:$2.0\text{mg}/\ell$以下）を満足する水質を維持している。

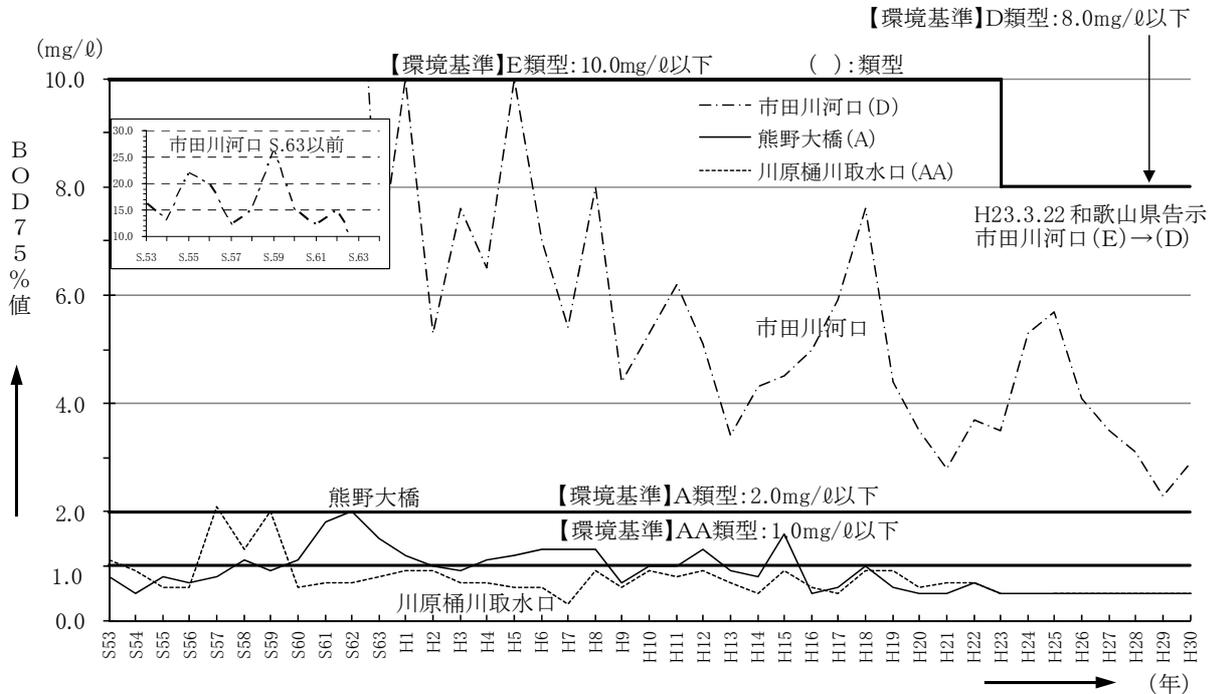


図-1.30 新宮川水系の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

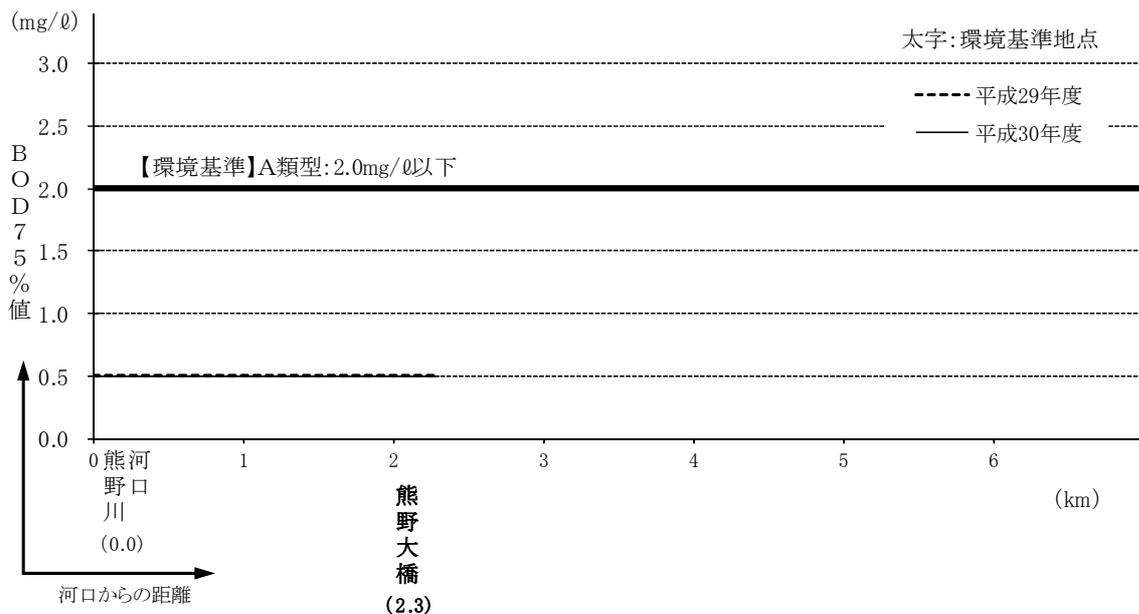


図-1.31 熊野川の水質縦断図（BOD75%値）

② 紀の川

船戸地点でみると、平成2年より、環境基準（A類型:2.0mg/ℓ以下）を上回る水質となっていたが、平成14年から環境基準を満足する水質を維持しており、平成30年のBOD75%値は0.6mg/ℓである。

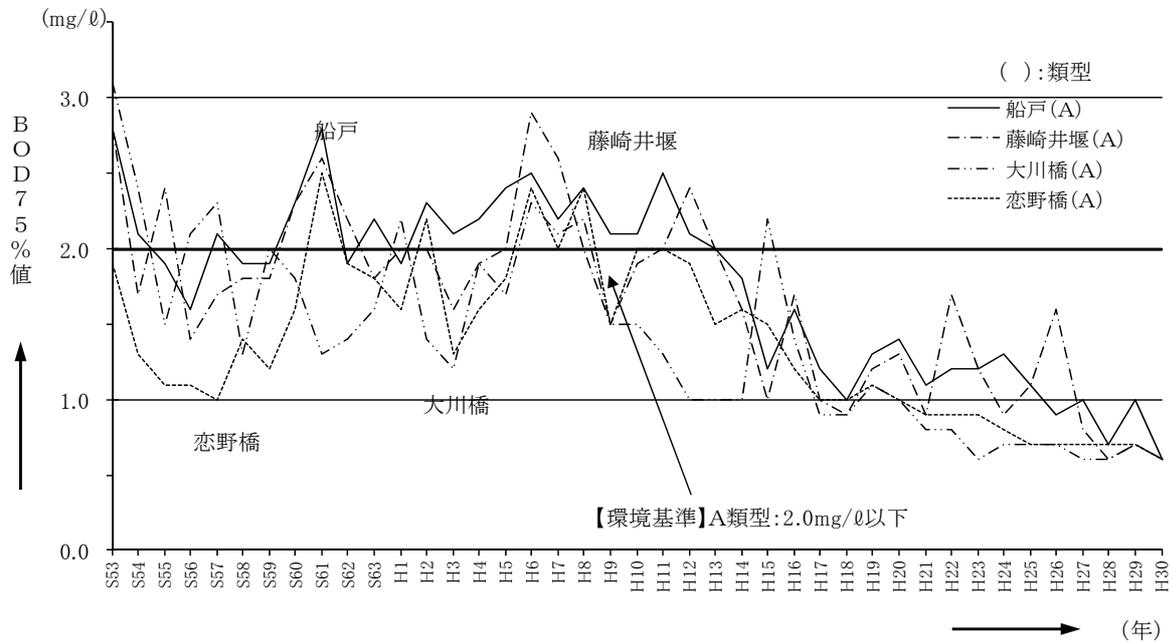


図-1.32 紀の川水系の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

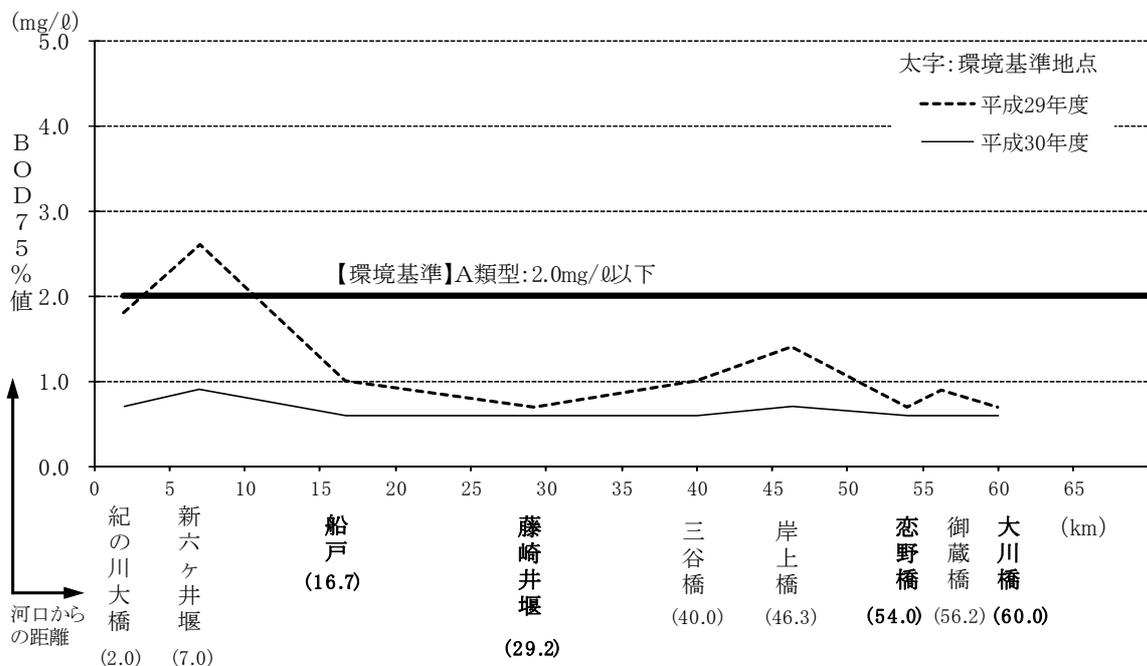


図-1.33 紀の川の水質縦断図（BOD75%値）

③ 大和川

浅香新取水口地点でみると、平成7年以降水質は改善されてきており、平成30年のBOD75%値は1.6mg/ℓとなり、環境基準（C類型:5.0mg/ℓ以下）を下回る水質となった。

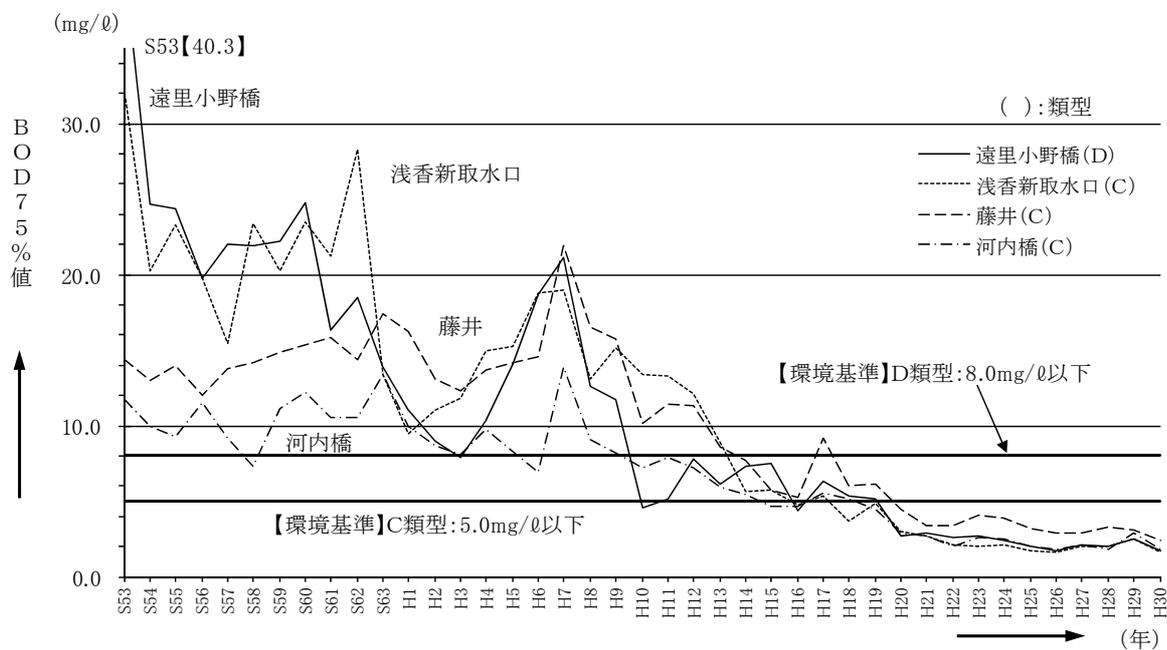


図-1.34 大和川水系（大和川）の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

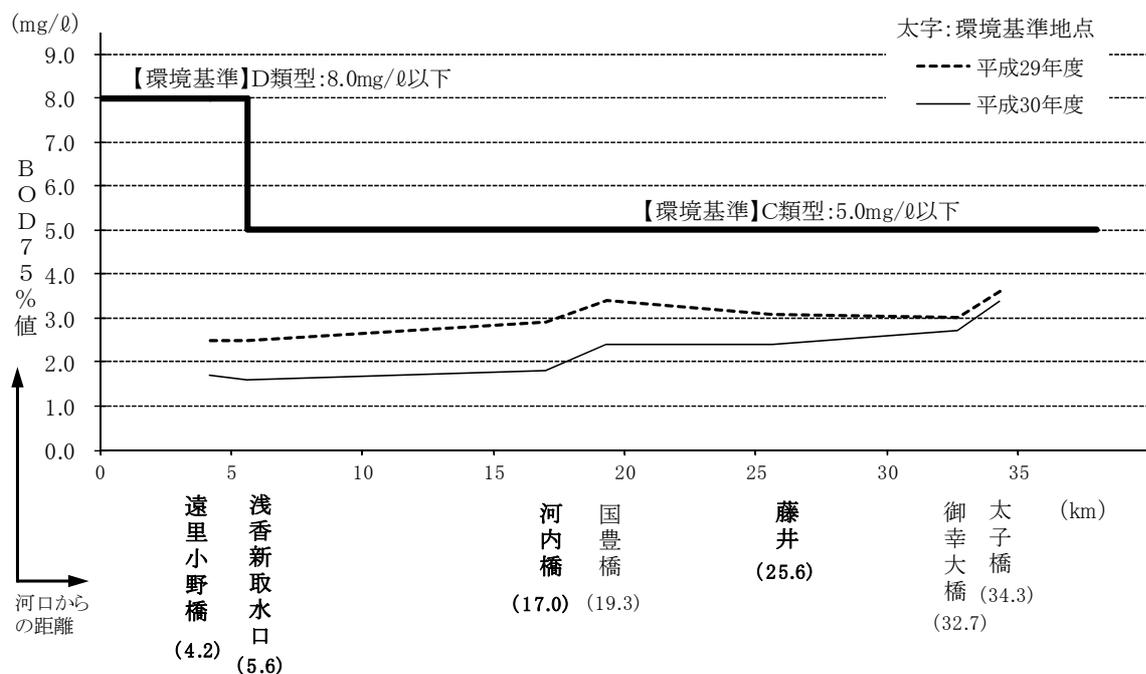


図-1.35 大和川の水質縦断図（BOD75%値）

④ 淀川

淀川本川三川合流点下流の枚方大橋地点でみると、平成3年よりBOD75%値は環境基準（B類型：3.0mg/ℓ以下）を満足しており、平成30年は1.0mg/ℓとなっている。

宇治川（三川合流前）の宇治川御幸橋地点でみると、昭和63年よりBOD75%値は環境基準（B類型：3.0mg/ℓ以下）を満足しており、平成30年は1.1mg/ℓとなっている。

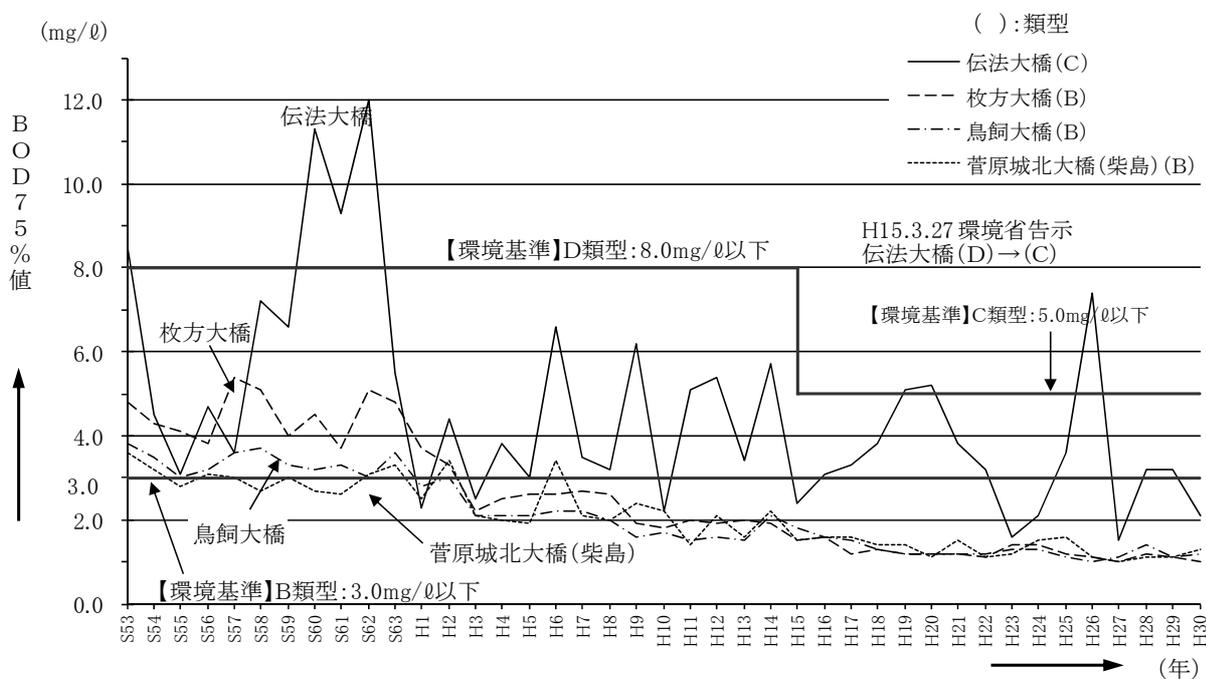


図-1.36 淀川水系（三川合流点下流）の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

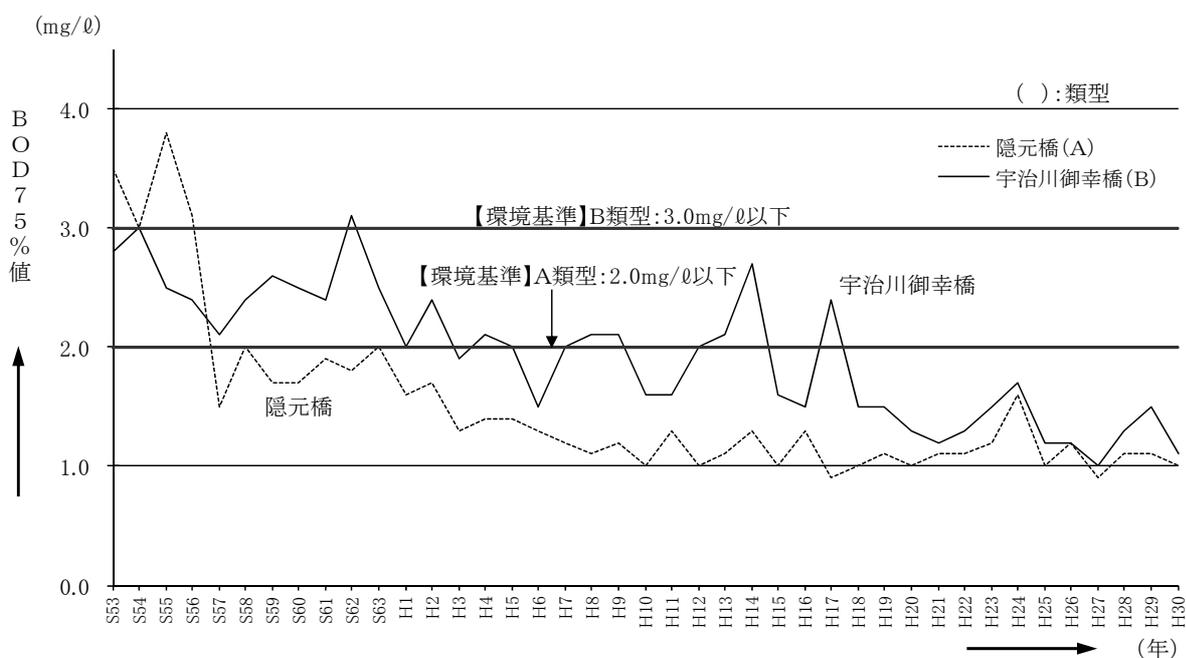


図-1.37 淀川水系（宇治川）の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

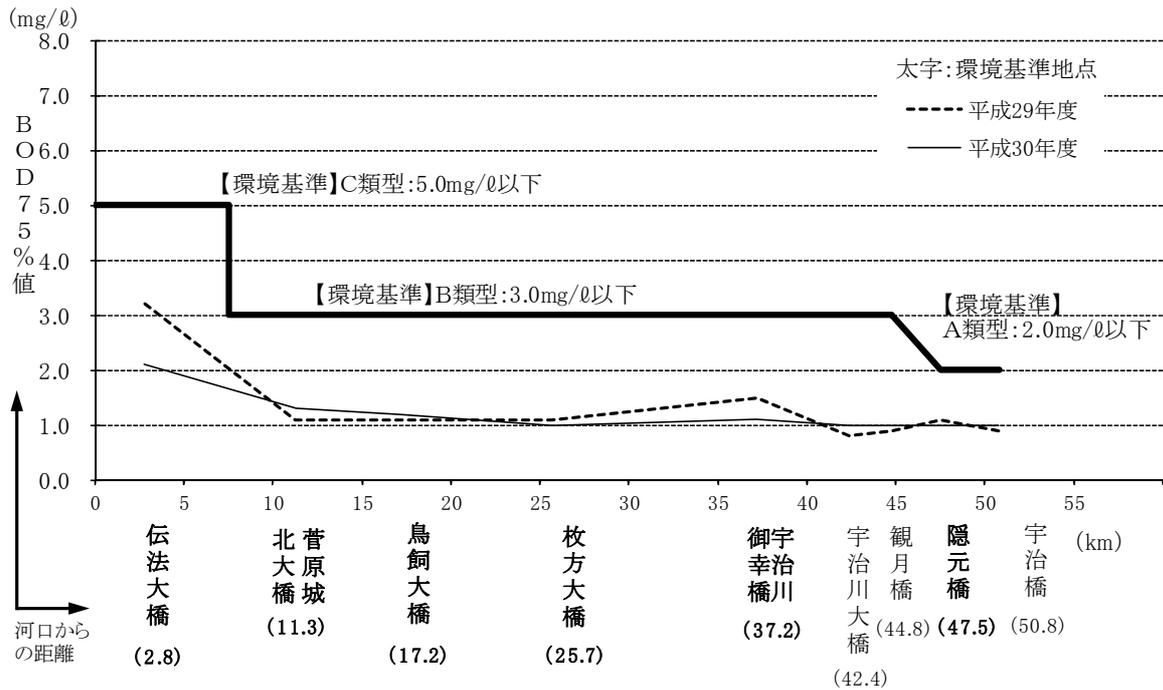


図-1.38 淀川（本川、宇治川）の水質縦断図（BOD 75%値）

桂川の宮前橋地点でみると、平成30年のBOD75%値は0.9mg/ℓであり、平成8年以降は環境基準を満足する水質を維持している。

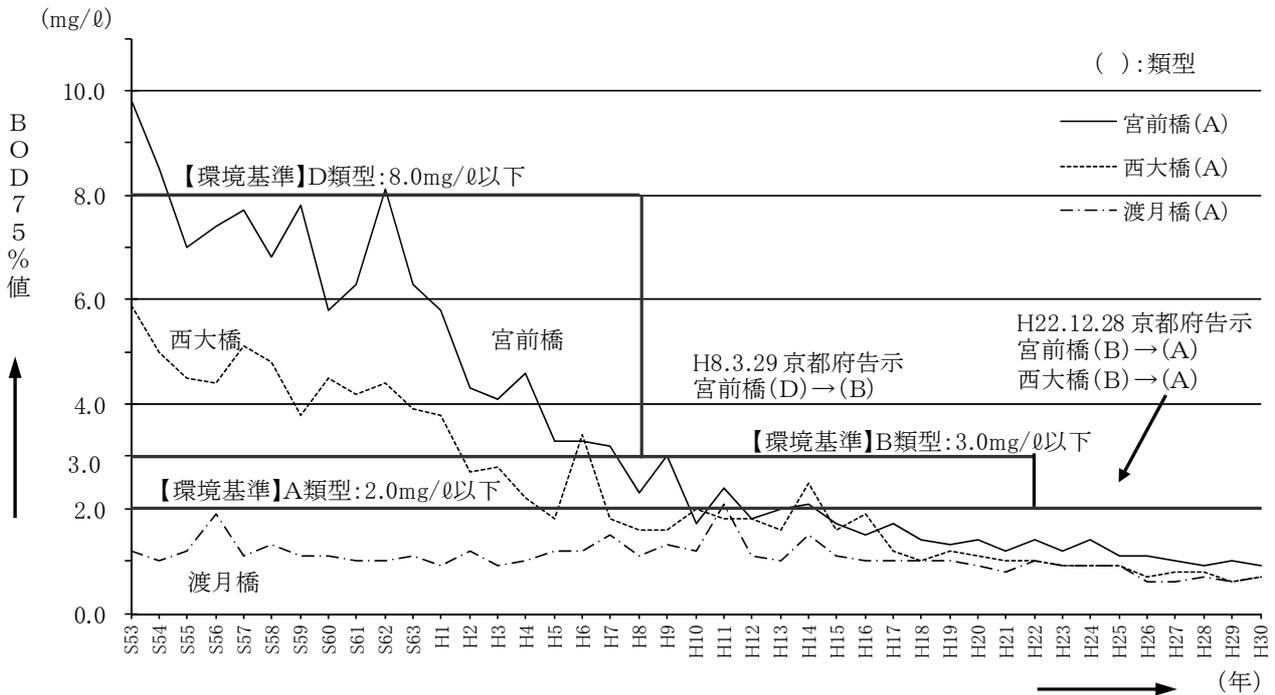


図-1.39 淀川水系（桂川）の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

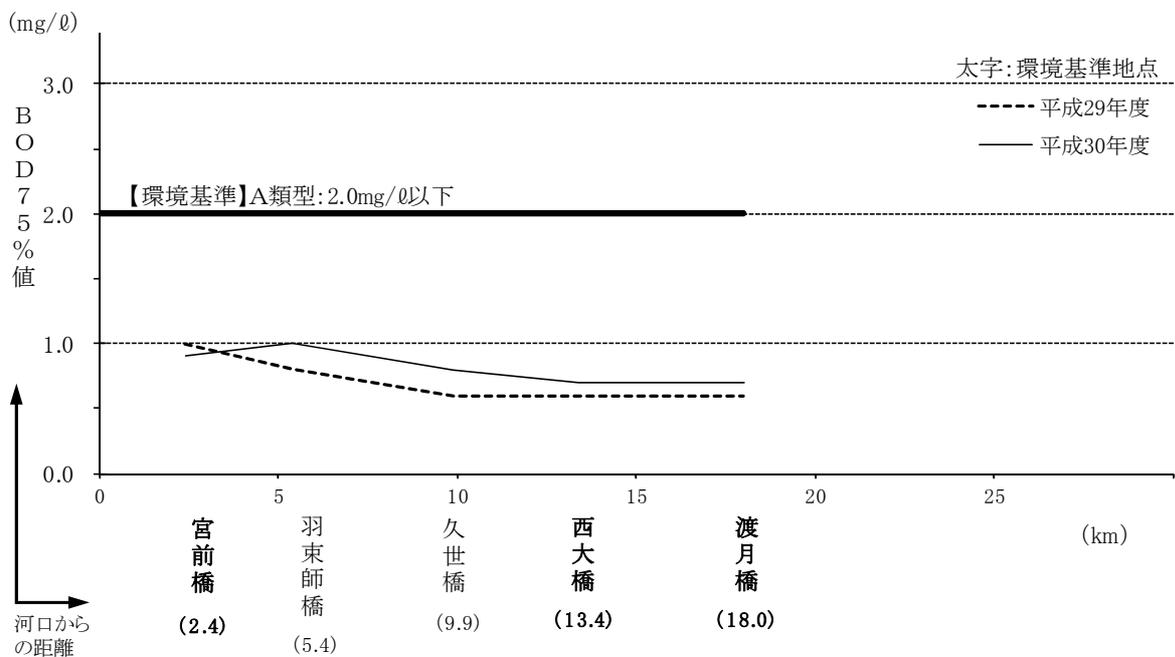


図-1.40 桂川の水質縦断図（BOD75%値）

木津川の各調査地点で見ると、近年、BOD75%値は2.0mg/ℓ以下で推移し、平成30年は平成29年と同じく全地点で環境基準（A類型:2.0mg/ℓ以下）を満足する水質となった。また、最下流の木津川御幸橋においても、平成30年のBOD75%値は0.6mg/ℓと、環境基準を満足する水質となっている。

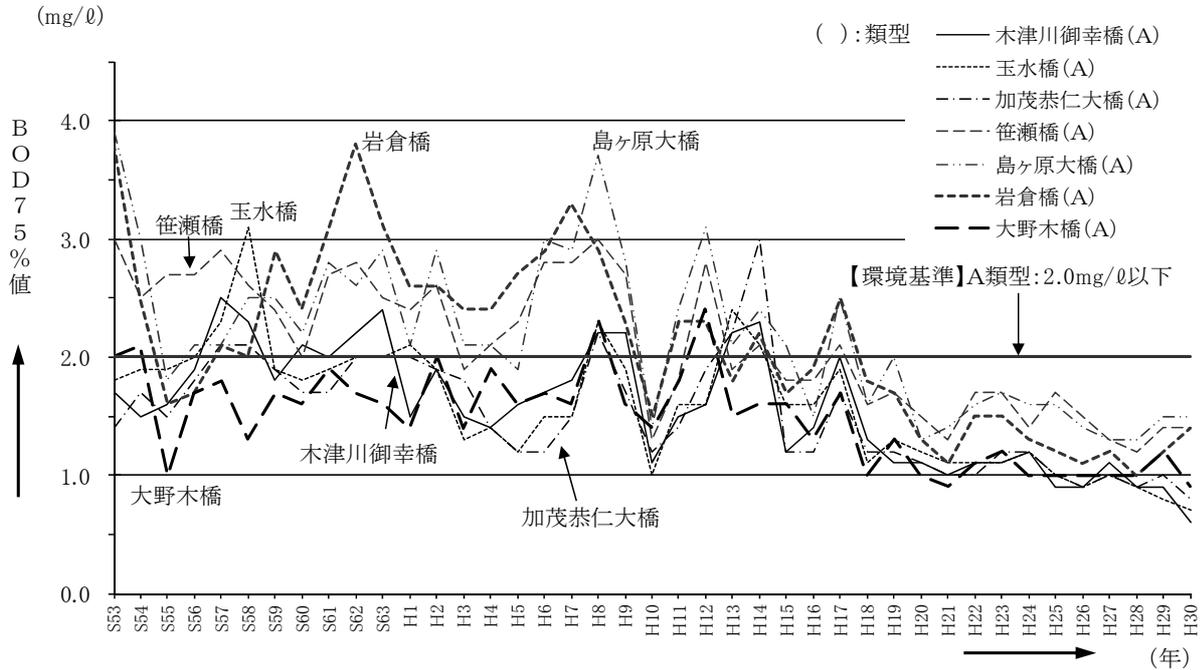


図-1.41 淀川水系（木津川）の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

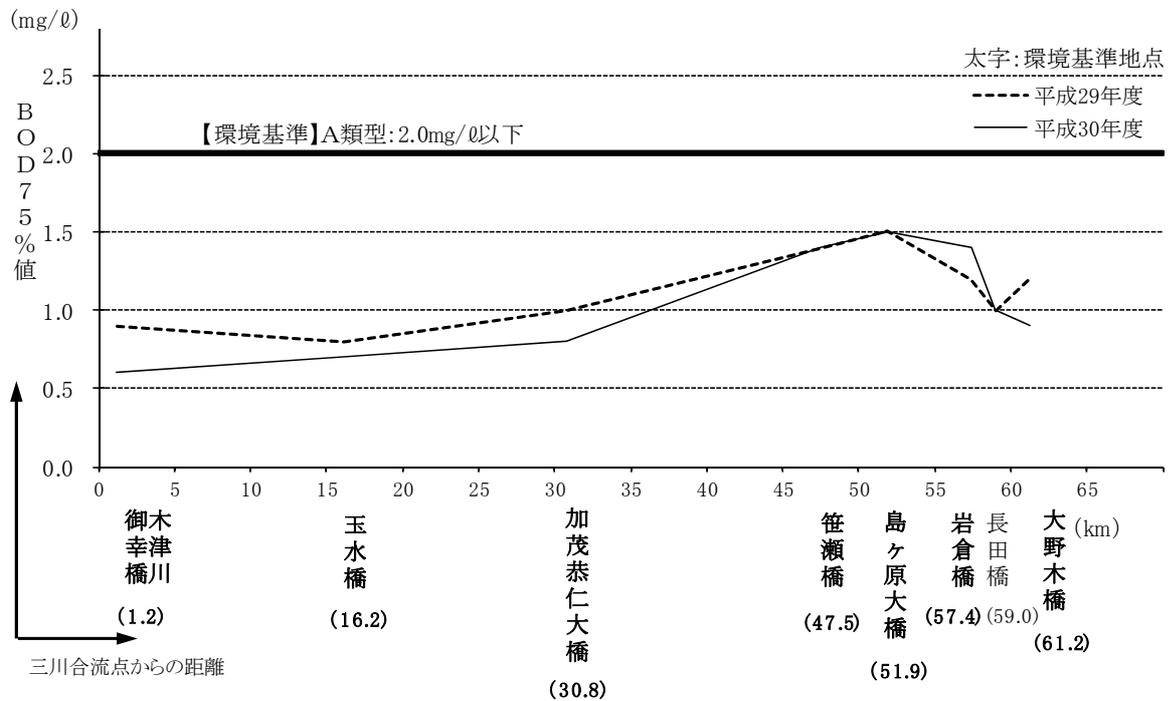


図-1.42 木津川の水質縦断図（BOD75%値）

淀川水系の右派川神崎川右支川である猪名川の水質を軍行橋地点でみると、平成30年のBOD75%値は0.8mg/ℓであり、昭和50年代よりBOD75%値は環境基準（B類型:3.0mg/ℓ以下）を満足する水質を維持し、平成10年以降は1.0mg/ℓ前後の水質となっている。

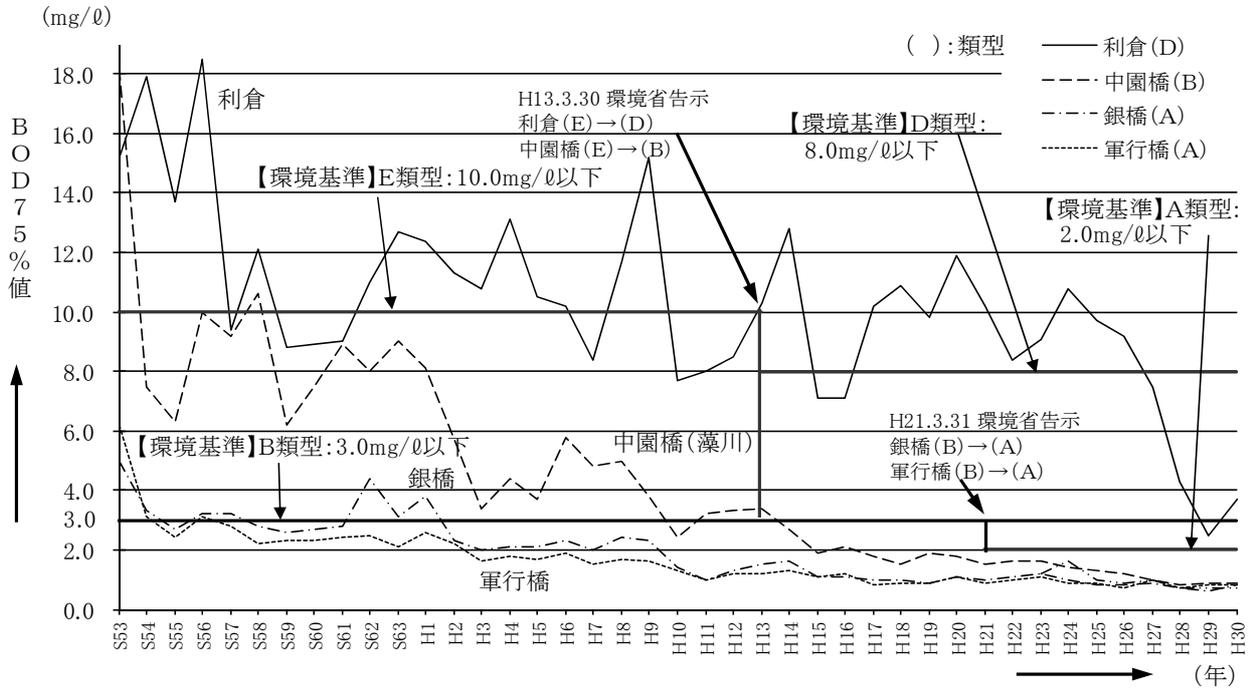


図-1.43 淀川水系（猪名川、藻川）の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

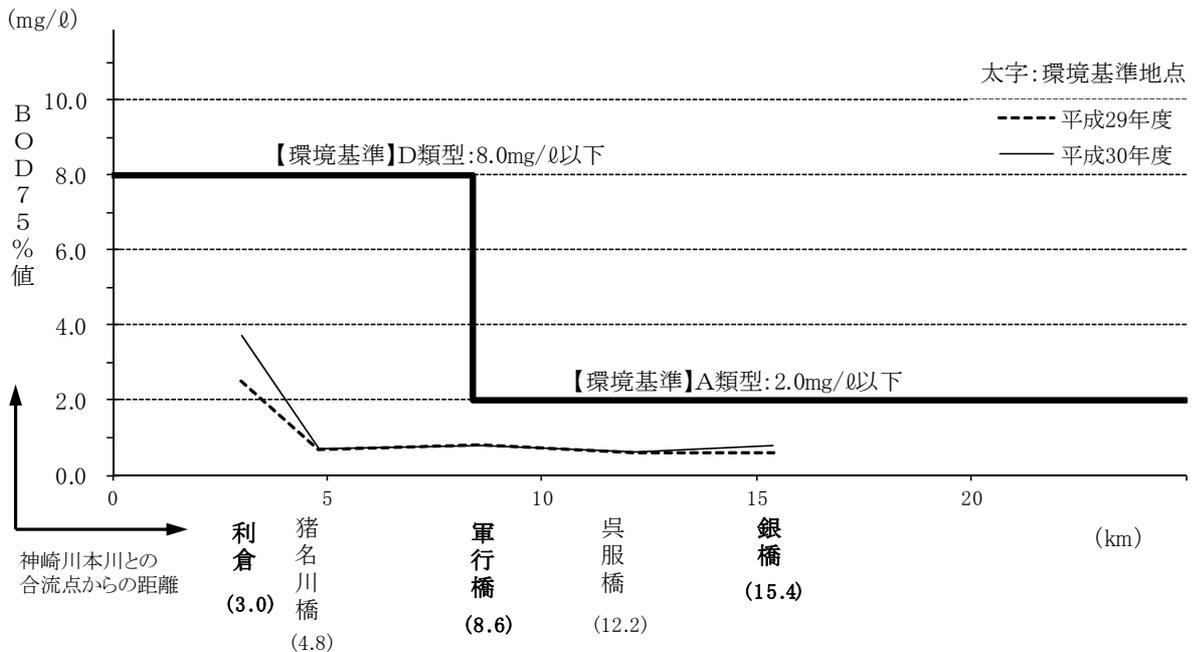


図-1.44 猪名川の水質縦断図（BOD75%値）

⑤ 加古川

板波地点でみると、平成30年のBOD75%値は0.8mg/ℓであり、平成13年以降は環境基準（B類型：3.0mg/ℓ以下）を満足する水質を維持している。

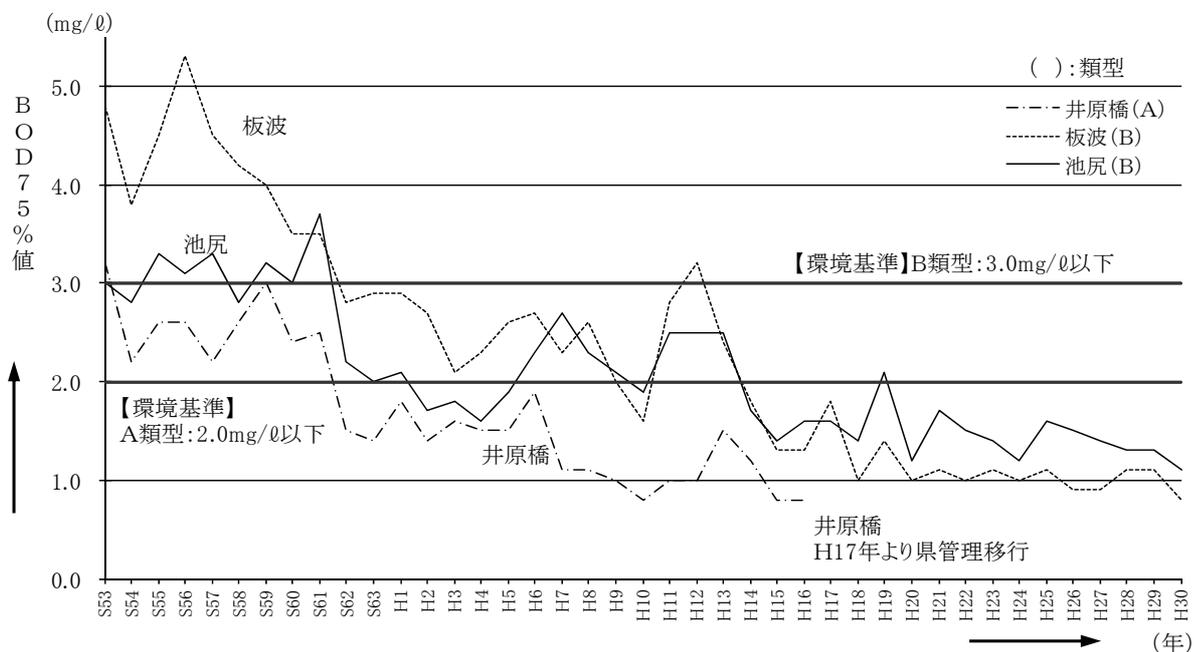


図-1.45 加古川水系の環境基準地点の水質経年変化 (BOD75%値)

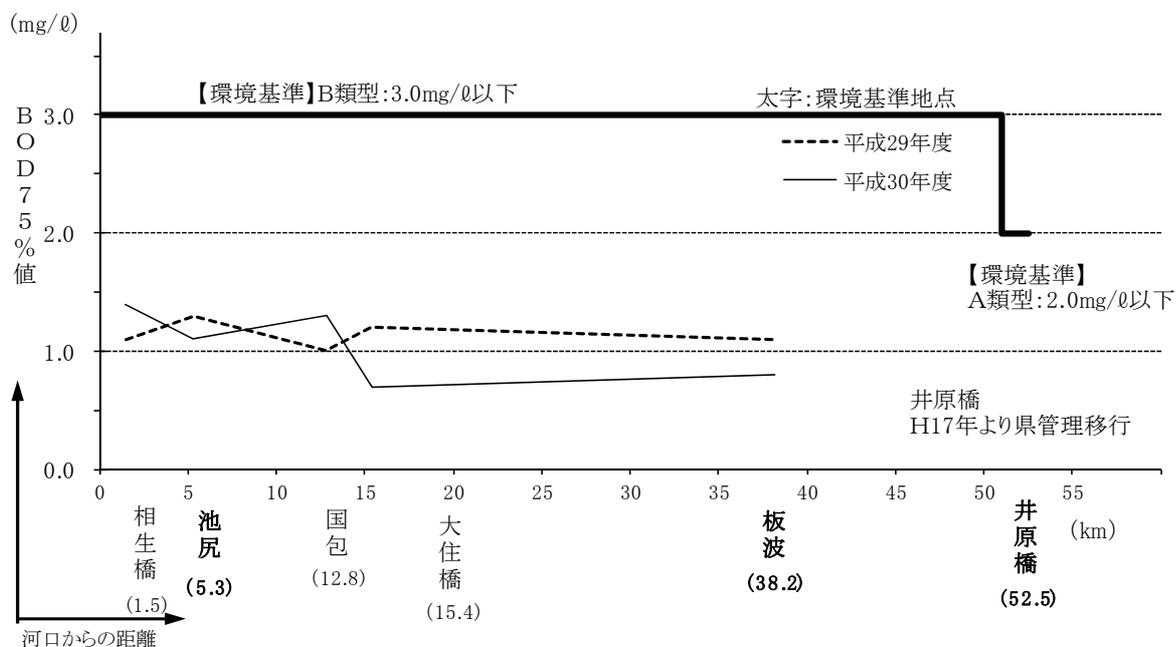


図-1.46 加古川の水質縦断図 (BOD75%値)

⑥ 揖保川

龍野^{たつの}地点でみると、平成30年のBOD75%値は0.7mg/ℓであり、環境基準（A類型:2.0mg/ℓ以下）を満足する水質である。また、林田川合流後の上川原地点でみると、平成30年のBOD75%値が0.8mg/ℓとなり、平成7年より環境基準（B類型:3.0mg/ℓ以下）を満足する水質を維持している。

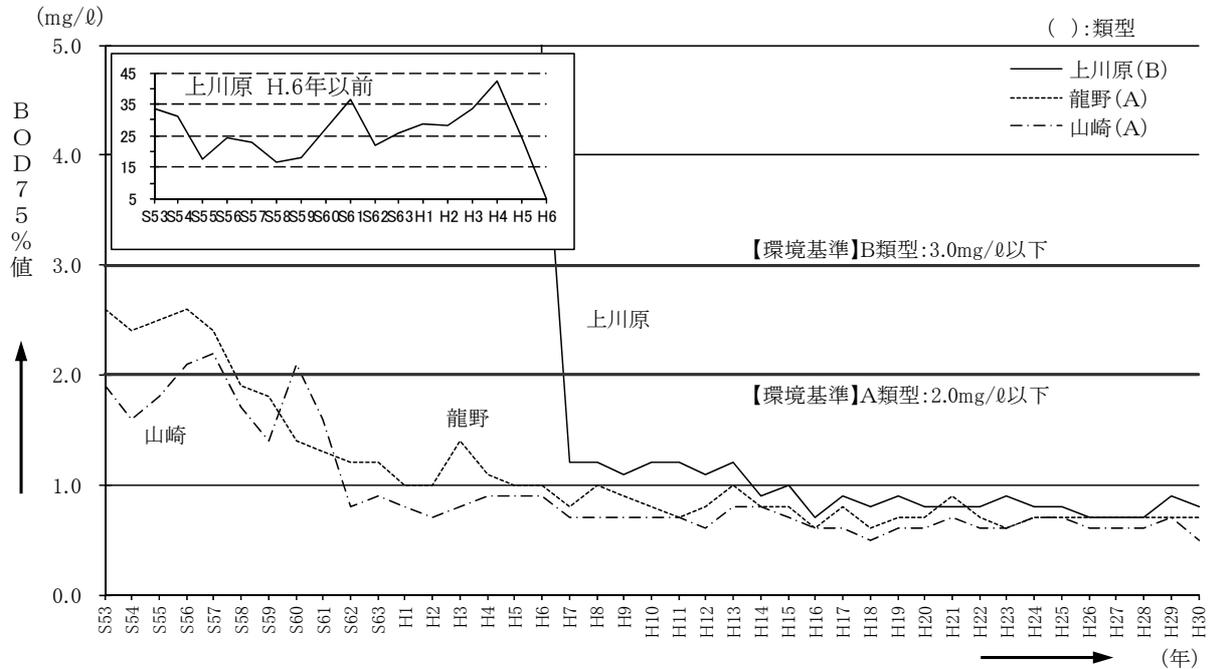


図-1.47 揖保川水系の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

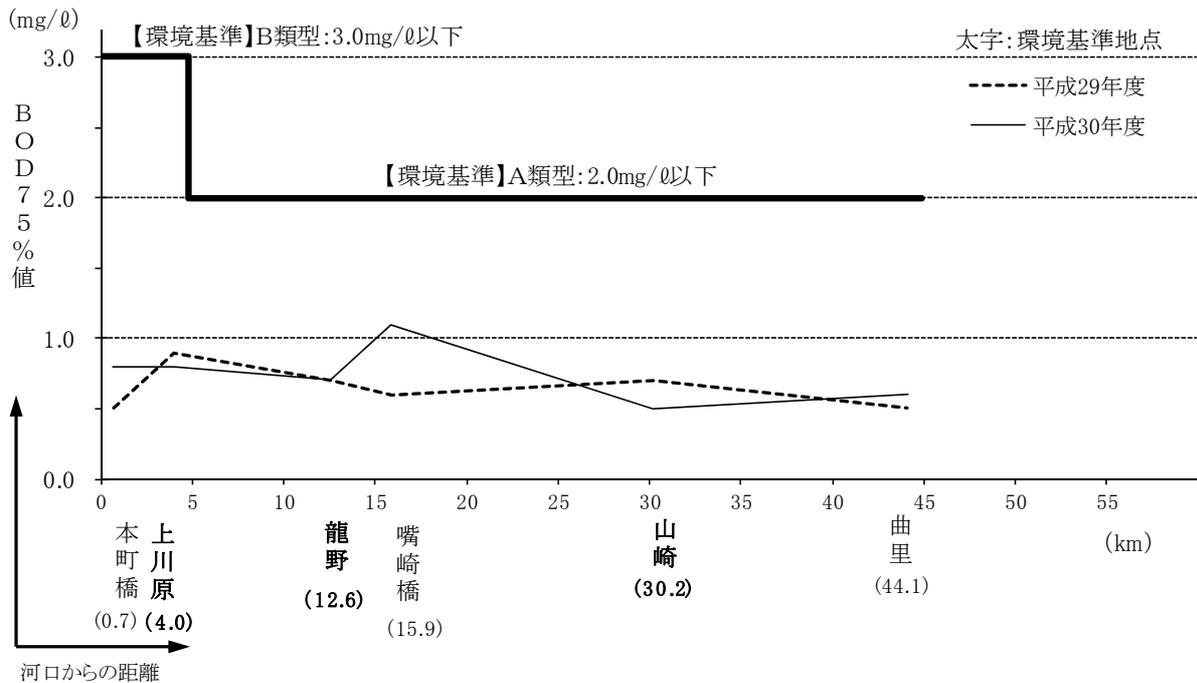


図-1.48 揖保川の水質縦断図（BOD75%値）

⑦ 九頭竜川

なかつの
中角地点でみると、環境基準（A類型:2.0mg/ℓ以下）を満足する水質を維持している。ここ数年、1.0mg/ℓを下回る範囲で概ね横ばい傾向であり、平成30年のBOD75%値は0.7mg/ℓであった。

支川日野川下流の深谷地点でみると、平成30年のBOD75%値は1.0mg/ℓであり、平成7年以降は環境基準（B類型:3.0mg/ℓ以下）を満足する水質を維持している。

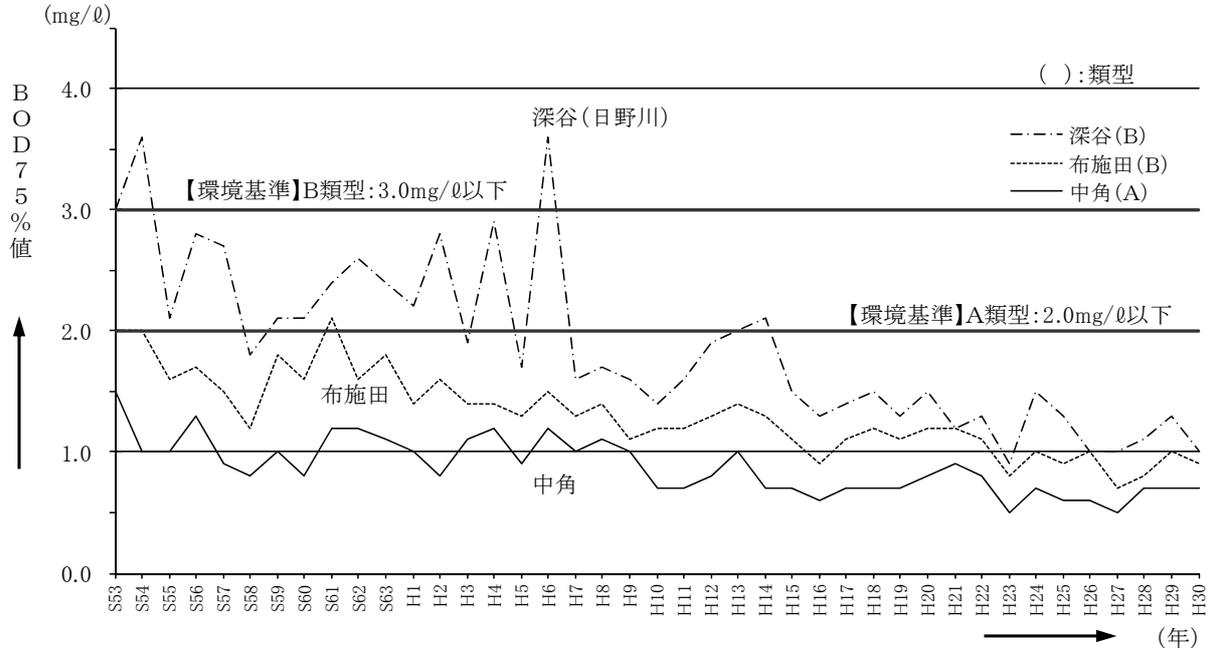


図-1.49 九頭竜川水系の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

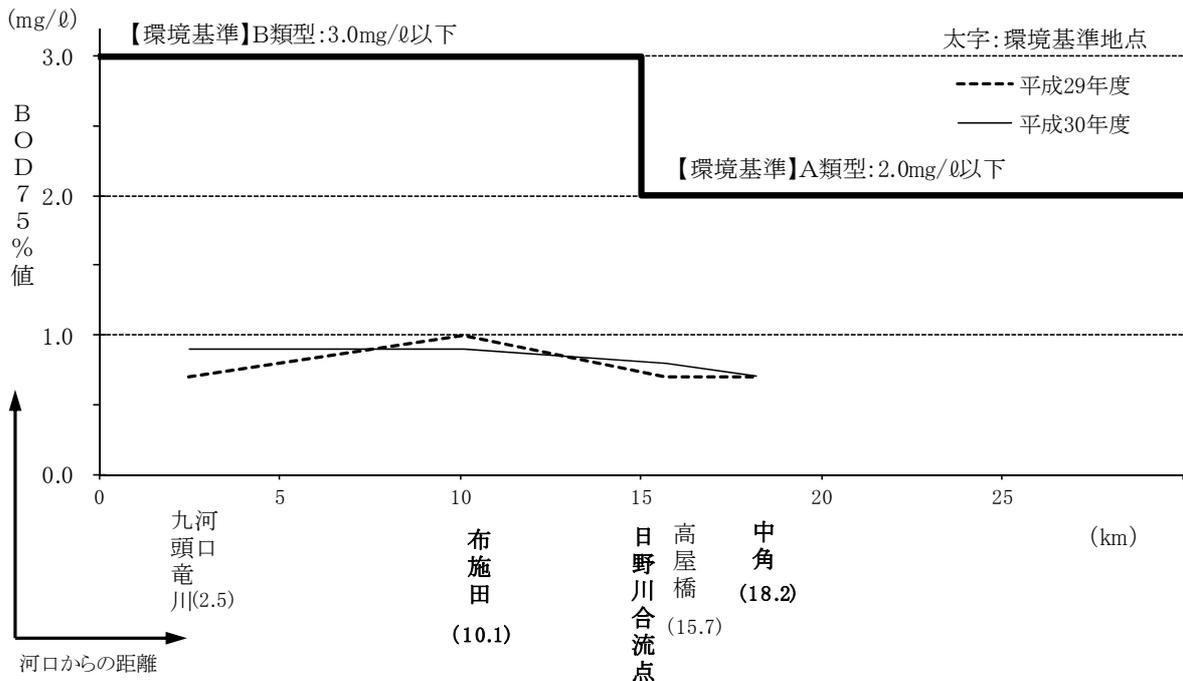


図-1.50 九頭竜川の水質縦断図（BOD75%値）

⑧ 北 川

高塚地点は、昭和53年以降1.0mg/ℓを下回る値で推移しており、環境基準（A類型:2.0mg/ℓ以下）を満足する水質を維持している。平成30年のBOD75%値は0.6mg/ℓであった。

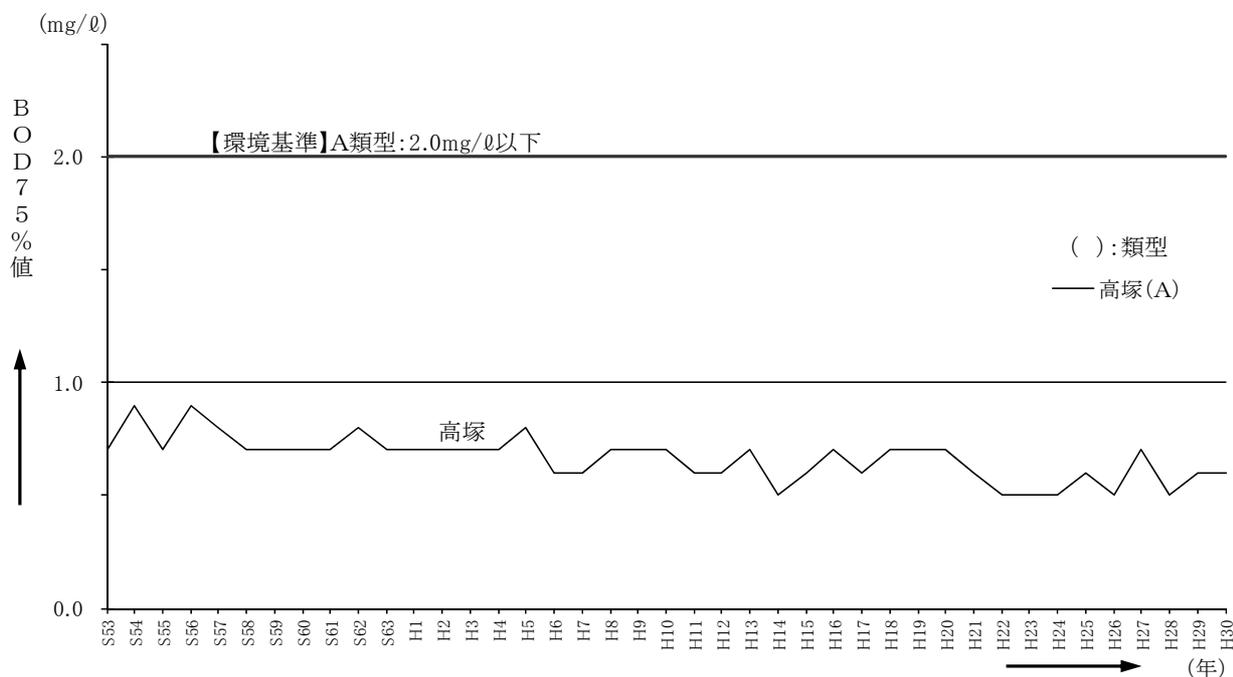


図-1.51 北川水系の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

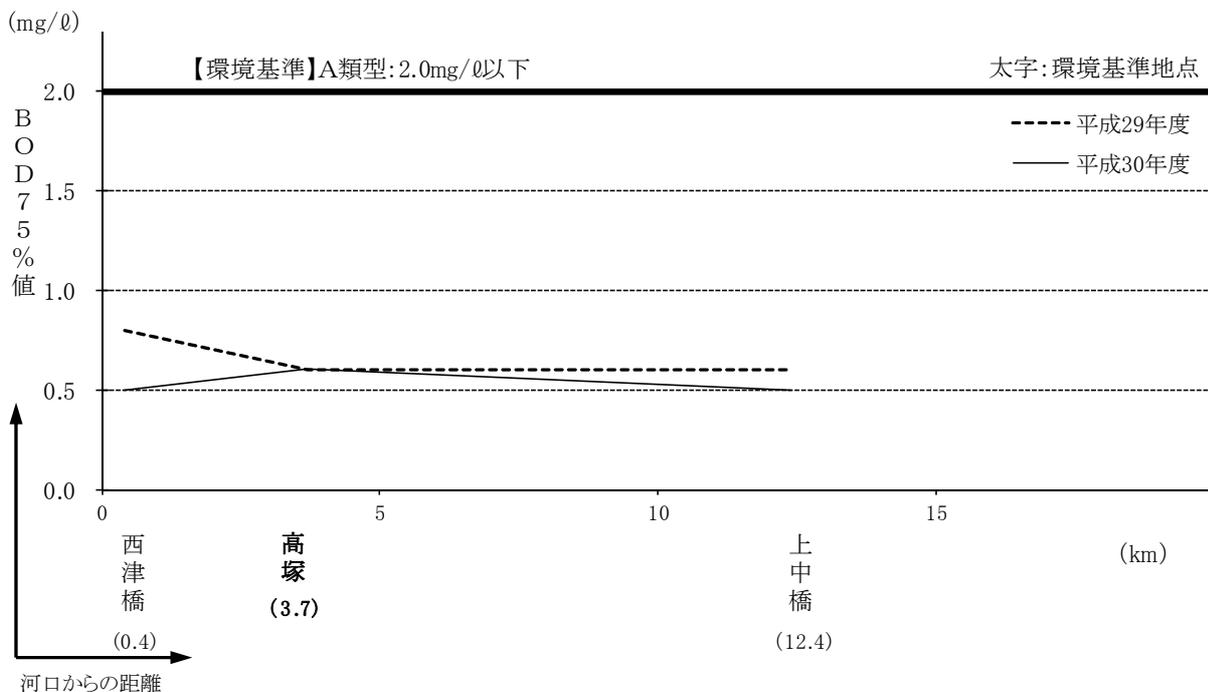


図-1.52 北川の水質縦断図（BOD75%値）

⑨ 由良川

波美橋地点でみると、昭和53年以降、環境基準を満足する水質を維持しており、平成30年のBOD75%値は0.7mg/ℓであった。

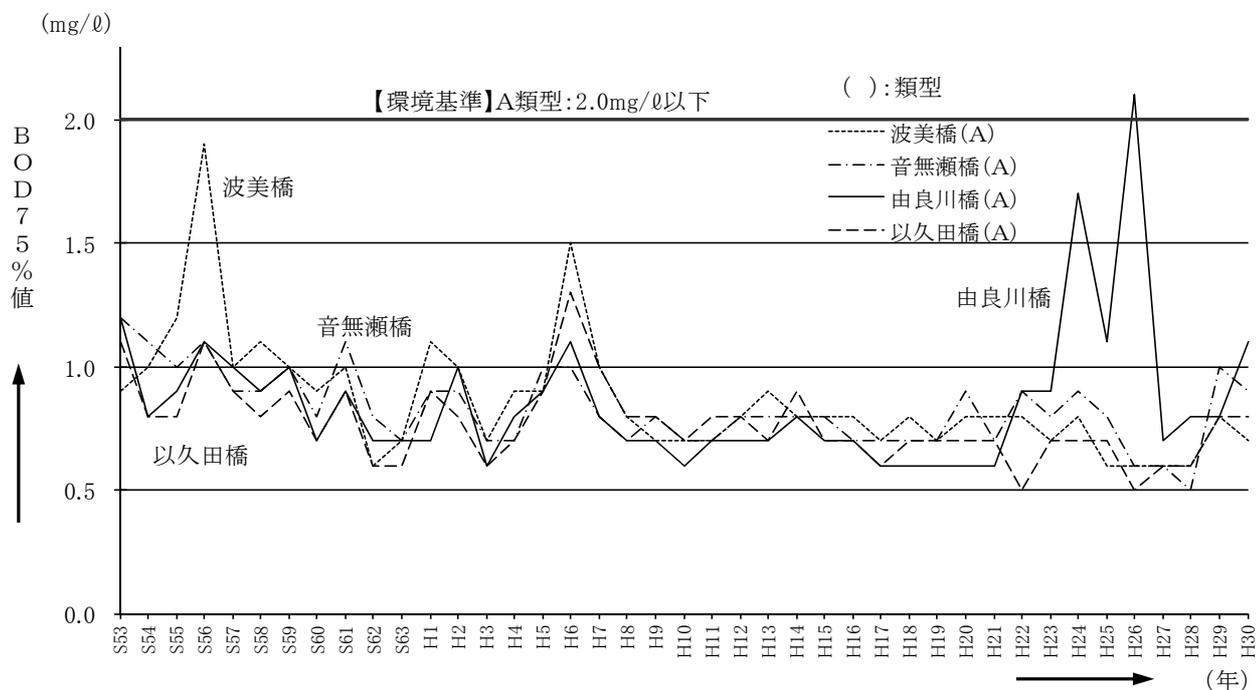


図-1.53 由良川水系（由良川）の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

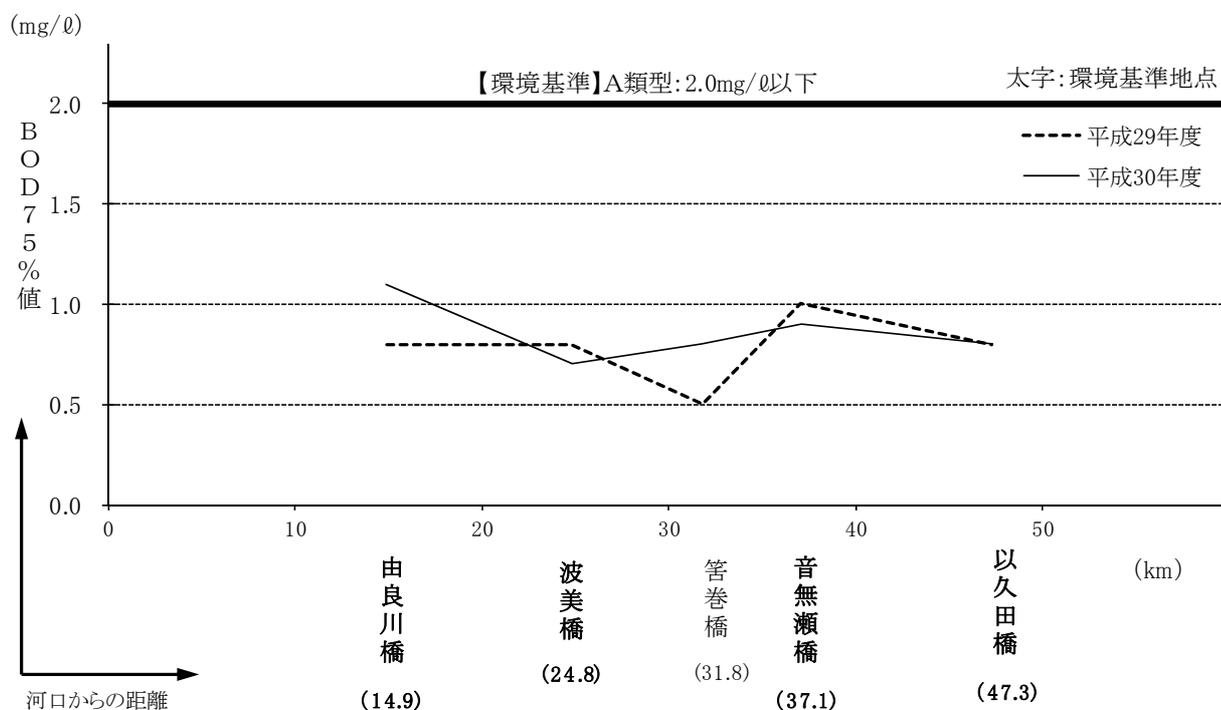


図-1.54 由良川の水質縦断図（BOD75%値）

⑩ 円山川

立野^{たちの}地点でみると、昭和53年以降、環境基準を満足する水質を維持しており、平成3年以降は0.5～1.5mg/ℓの間で推移している。平成30年のBOD75%値は0.7mg/ℓであった。

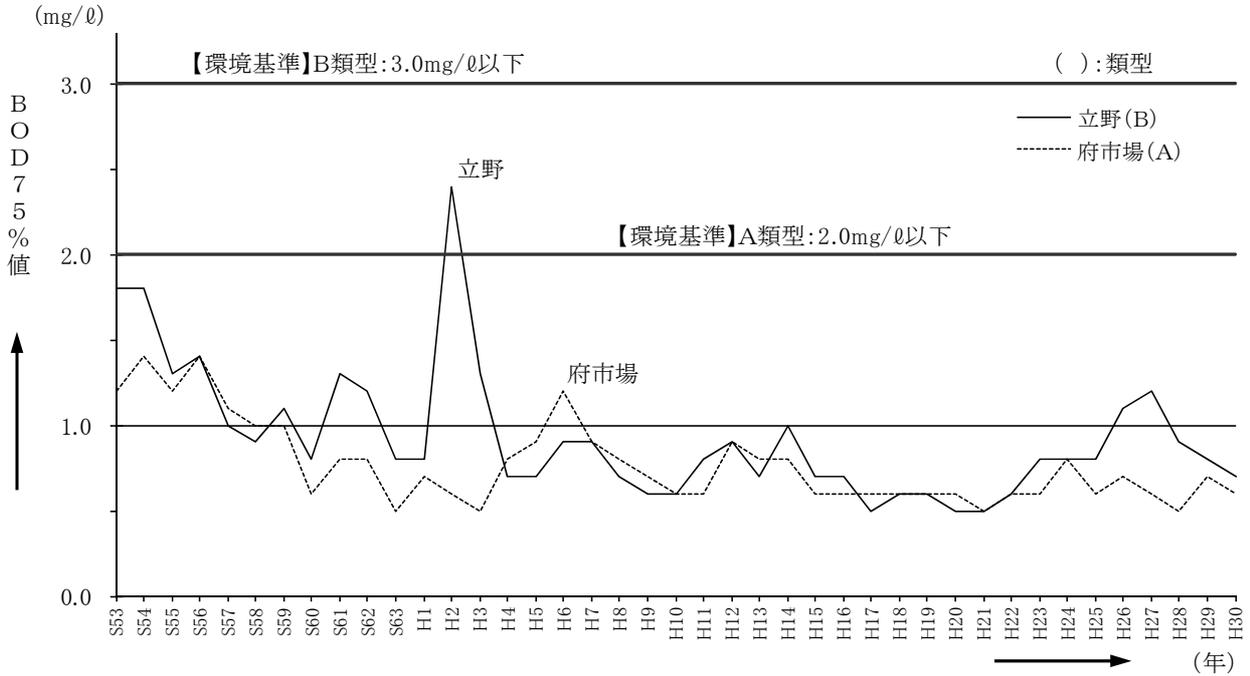


図-1.55 円山川水系の水質経年変化 (BOD75%値)

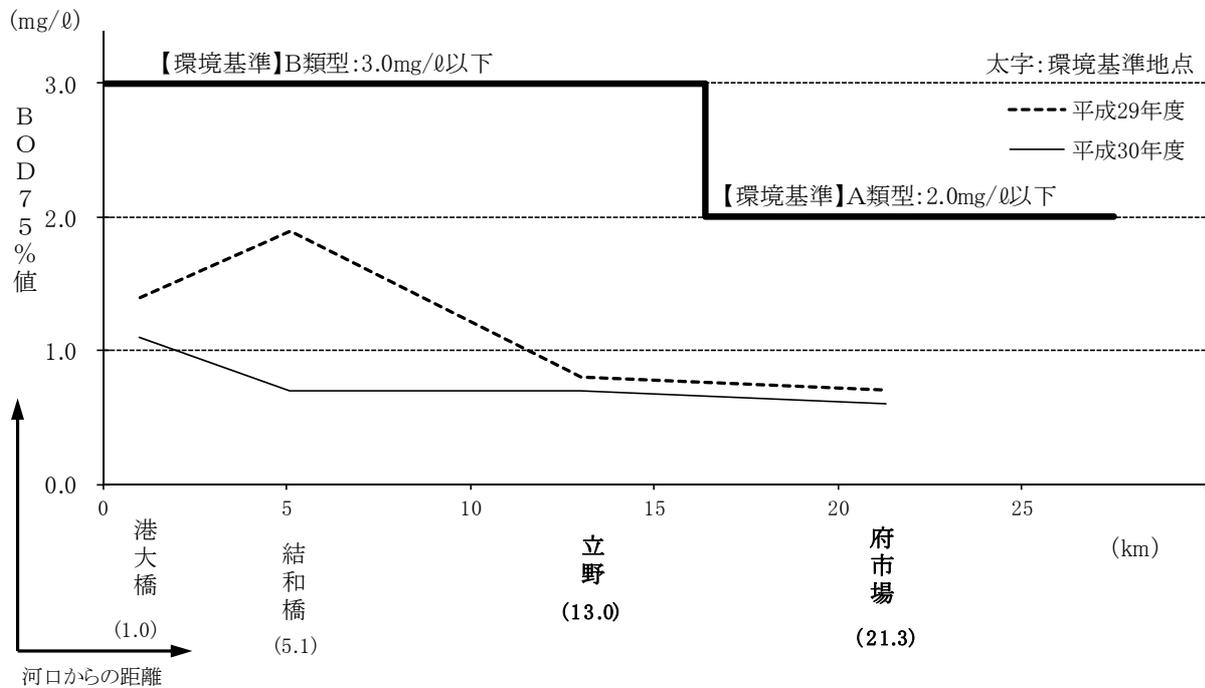


図-1.56 円山川の水質縦断図 (BOD75%値)

1. 7 人と川のふれあいからみた水質状況

表-1.6 水系別におけるランク別地点数（糞便性大腸菌群数）

水系別該当地点数																							
判定	糞便性大腸菌群数 (個/100ml)	新宮川水系		紀の川水系		大和川水系		淀川水系		加古川水系		揖保川水系		九頭竜川水系		北川水系		由良川水系		円山川水系		計	
		H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30
適	2以下	0	1	0	0	0	0	23	14	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	25	16
	3~100	3	2	1	1	0	0	35	41	0	1	0	4	1	3	3	2	4	3	1	0	48	57
可	101~400	0	0	6	8	1	1	7	3	4	4	6	2	5	3	0	1	2	3	1	2	32	27
	401~1000	1	0	3	1	5	8	2	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	12	12
不適	1001以上	1	2	1	1	8	5	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	11
合計		5	5	11	11	14	14	67	63	5	5	6	6	8	8	3	3	6	6	2	2	127	123

表-1.7 (1) 一級河川の主要地点水質状況

注：◎ 印は環境基準地点
 地点番号は図-1.7に示す。
 判定は水浴場水質判定基準（環境省）

地点番号	河川名	地点名	類型指定	糞便性大腸菌群数 (個/100ml)		判定*
				平均値		
				H30		H30
新宮川（水系）						
1	川原樋川	◎川原樋川取水口	AA	2		適
2	熊野川	◎熊野大橋	A	20		適
3	市田川	市田川河口	D	8503		不適
4	熊野川	熊野川河口	A	1255		不適
紀の川（水系）						
5	紀の川	◎大川橋	A	194		可
6	〃	御蔵橋	A	150		可
7	〃	◎恋野橋	A	174		可
8	〃	岸上橋	A	170		可
9	〃	三谷橋	A	212		可
10	〃	◎藤崎井堰	A	349		可
11	貴志川	高島橋	A	1605		不適
12	紀の川	◎船戸	A	572		可
13	〃	新六ヶ井堰	A	239		可
14	〃	紀の川大橋	A	256		可
15	〃	大滝ダム湖ダムサト	AA	20		適

*判定：「適」=100個/100ml以下、「可」=1000個/100ml以下、「不適」=1000個/100mlを超えるもの

表-1.7 (2) 一級河川の主要地点水質状況

地点番号	河川名	地点名	類型 指定	糞便性大腸菌群数 (個/100mℓ)		判定*
				平均値		
				H30		H30
大和川 (水系)						
16	佐保川	井筒橋	C	665		可
17	初瀬川	上吐田	C	152		可
18	大和川	太子橋	C	1175		不適
19	曾我川	◎小柳橋	C	923		可
20	〃	保橋	C	623		可
21	大和川	御幸大橋	C	657		可
22	〃	◎藤井	C	921		可
23	〃	国豊橋	C	938		可
24	石川	◎石川橋	B	575		可
25	大和川	◎河内橋	C	638		可
26	〃	◎浅香新取水口	C	1324		不適
27	〃	◎遠里小野橋	D	2458		不適
28	佐保川	◎額田部高橋	C	1226		不適
29	〃	郡界橋	C	11715		不適
淀川 (水系)						
30	瀬田川	洗堰下	A	18		適
31	〃	◎唐橋流心	A	99		適
32	野洲川	石部	A	—		—
33	〃	◎服部	A	85		適
34	宇治川	大峰橋 (天ヶ瀬ダム)	A	60		適
35	〃	宇治橋	A	—		—
36	〃	◎隠元橋	A	—		—
37	山科川	中野橋	未	—		—
38	宇治川	観月橋	B	—		—
39	東高瀬川	三栖橋	未	—		—
40	宇治川	宇治川大橋	B	—		—
41	〃	◎宇治川御幸橋	B	—		—
42	木津川	◎大野木橋	A	—		—
43	〃	長田橋	A	—		—
44	服部川	◎伊賀上野橋	A	—		—
45	木津川	◎岩倉橋	A	—		—

*判定:「適」=100個/100mℓ以下、「可」=1000個/100mℓ以下、「不適」=1000個/100mℓを超えるもの

表-1.7 (3) 一級河川の主要地点水質状況

地点番号	河川名	地点名	類型 指定	糞便性大腸菌群数 (個/100m ^l)		判定*
				平均値		
				H30		H30
46	木津川	◎島ヶ原大橋	A	—	—	—
47	〃	◎笹瀬橋	A	—	—	—
48	青蓮寺川	青蓮寺ダム湖	未	6	—	適
49	名張川	新夏見橋	A	—	—	—
50	宇陀川	安部田	未	—	—	—
51	名張川	名張	A	—	—	—
52	〃	家野橋	A	—	—	—
53	〃	比奈知ダム湖	A	3	—	適
54	〃	高山ダム湖	未	87	—	適
55	〃	高山ダム下流	未	—	—	—
56	宇陀川	高倉橋	A	—	—	—
57	〃	辻堂橋	A	—	—	—
58	〃	室生路橋	A	—	—	—
59	木津川	◎加茂恭仁大橋	A	—	—	—
60	〃	◎玉水橋	A	—	—	—
61	〃	◎木津川御幸橋	A	—	—	—
62	桂川	貯水池基準点 (日吉ダム)	A	3	—	適
63	〃	◎渡月橋	A	—	—	—
64	〃	◎西大橋	A	—	—	—
65	〃	久世橋	A	—	—	—
66	〃	羽東師橋	A	—	—	—
67	〃	◎宮前橋	A	—	—	—
68	淀川	◎枚方大橋	B	—	—	—
69	〃	◎鳥飼大橋	B	—	—	—
70	〃	◎菅原城北大橋	B	—	—	—
71	〃	◎伝法大橋	C	—	—	—
72	芥川	◎鷺打橋	A	—	—	—

*判定：「適」=100個/100m^l以下、「可」=1000個/100m^l以下、「不適」=1000個/100m^lを超えるもの

表-1.7 (4) 一級河川の主要地点水質状況

地点番号	河川名	地点名	類型 指定	糞便性大腸菌群数 (個/100ml)	判定*
				平均値	
				H30	
73	一庫大路次川	一庫ダム	未	36	適
74	猪名川	◎銀橋	A	337	可
75	〃	呉服橋	A	89	適
76	最明寺川	最明寺川流末	未	1212	不適
77	猪名川	◎軍行橋	A	185	可
78	内川	内川流末	未	528	可
79	駄六川	駄六川流末	未	11554	不適
80	猪名川	猪名川橋	D	164	可
81	〃	◎利倉	D	225050	不適
82	藻川	◎中園橋	B	520	可
加古川 (水系)					
83	加古川	◎板波	B	206	可
84	〃	大住橋	B	108	可
85	〃	国包	B	121	可
86	〃	◎池尻	B	80	適
87	〃	相生橋	B	174	可
88	東条川	古川橋	未	—	—
89	万願寺川	西脇橋	未	—	—
揖保川 (水系)					
90	揖保川	曲里	A	63	適
91	〃	◎山崎	A	64	適
92	〃	鯨崎	A	46	適
93	〃	◎龍野	A	85	適
94	〃	◎上川原	B	160	可
95	〃	本町橋	B	117	可
96	林田川	構	未	—	—

*判定：「適」=100個/100ml以下、「可」=1000個/100ml以下、「不適」=1000個/100mlを超えるもの

表-1.7 (5) 一級河川の主要地点水質状況

地点番号	河川名	地点名	類型 指定	糞便性大腸菌群数 (個/100ml)	判定*
				平均値	
				H30	H30
九頭竜川 (水系)					
97	九頭竜川	◎九頭竜ダム湖	AA	1	適
98	真名川ダム湖	真名川ダム湖	未	7	適
99	九頭竜川	◎中角	A	71	適
100	〃	高屋橋	A	66	適
101	日野川	◎深谷	B	261	可
102	〃	日光橋	B	347	可
103	九頭竜川	◎布施田	B	613	可
104	〃	九頭竜川河口	B	128	可
北川 (水系)					
105	北川	上中橋	A	45	適
106	〃	◎高塚	A	73	適
107	〃	西津橋	A	114	可
由良川 (水系)					
108	土師川	◎土師橋	A	137	可
109	由良川	◎以久田橋	A	86	適
110	〃	◎音無瀬橋	A	87	適
111	〃	管巻橋	A	60	適
112	〃	◎波美橋	A	132	可
113	〃	◎由良川橋	A	393	可
円山川 (水系)					
114	円山川	◎府市場	A	186	可
115	出石川	弘原	未	—	—
116	円山川	◎立野	B	154	可
117	〃	結和橋	B	—	—
118	〃	港大橋	B	—	—

*判定：「適」=100個/100ml以下、「可」=1000個/100ml以下、「不適」=1000個/100mlを超えるもの

表-1.8 (1) 一級河川（湖沼）の主要地点水質状況

注：◎ 印は環境基準地点

○ 印は環境基準地点（N・P）

地点番号は図-1.7および図-1.8に示す。

判定は水浴場水質判定基準（環境省）

地点番号	河川名	地点名	類型 指定	糞便性大腸菌群数 (個/100ml)	判定*
				平均値	
				H30	
新 宮 川 (水系)					
119	熊 野 川	◎ 猿谷ダム湖中央	A	15	適
淀 川 (水系)					
120	琵琶湖(南湖)	粟津沖中央	AA	18	適
121	〃	三保ヶ崎沖	AA	2	適
122	〃	◎ 浜大津沖	AA	8	適
123	〃	浜大津沖中央	AA	1	適
124	〃	柳ヶ崎沖	AA	5	適
125	〃	柳ヶ崎沖中央	AA	1	適
126	〃	山田港沖	AA	15	適
127	〃	○ 唐崎沖	AA	7	適
128	〃	◎ 唐崎沖中央	AA	2	適
129	〃	伊佐々川沖	AA	10	適
130	〃	大宮川沖	AA	13	適
131	〃	大宮川沖中央	AA	13	適
132	〃	志那沖	AA	17	適
133	〃	雄琴沖	AA	1	適
134	〃	雄琴沖中央	AA	3	適
135	〃	◎ 新杉江港沖	AA	3	適
136	〃	堅田沖	AA	4	適
137	〃	◎ 堅田沖中央	AA	2	適
138	〃	木ノ浜沖	AA	4	適
139	琵琶湖(北湖)	丹出川沖	AA	1	適
140	〃	丹出川沖中央	AA	1	適
141	〃	吉川港沖	AA	2	適
142	〃	ほうらい沖	AA	5	適

*判定：「適」=100個/100ml以下、「可」=1000個/100ml以下、「不適」=1000個/100mlを超えるもの

表-1.8 (2) 一級河川（湖沼）の主要地点水質状況

地点 番号	河 川 名	地 点 名	類 型 指 定	糞便性大腸菌群数 (個/100mℓ)		判 定*
				平 均 値		
				H30	H30	H30
143	琵琶湖(北湖)	ほうらい沖中央	AA	—	—	—
144	〃	日野川沖	AA	57	—	適
145	〃	南比良沖	AA	1	—	適
146	〃	○南比良沖中央	AA	1	—	適
147	〃	長命寺沖	AA	4	—	適
148	〃	◎北小松沖	AA	—	—	—
149	〃	北小松沖中央	AA	6	—	適
150	〃	◎愛知川沖	AA	—	—	—
151	〃	大溝沖	AA	37	—	適
152	〃	大溝沖中央	AA	1	—	適
153	〃	石寺沖	AA	5	—	適
154	〃	安曇川沖	AA	40	—	適
155	〃	○安曇川沖中央	AA	—	—	—
156	〃	彦根港沖	AA	13	—	適
157	〃	外ヶ浜沖	AA	4	—	適
158	〃	外ヶ浜沖中央	AA	5	—	適
159	〃	天野川沖	AA	53	—	適
160	〃	◎今津沖	AA	1	—	適
161	〃	○今津沖中央	AA	1	—	適
162	〃	姉川沖	AA	14	—	適
163	〃	◎長浜沖	AA	4	—	適
164	〃	知内川沖	AA	27	—	適
165	〃	知内川沖中央	AA	29	—	適
166	〃	早崎港沖	AA	5	—	適
167	布目川	◎布目ダム	A	39	—	適
168	宇陀川	◎室生ダム湖	A	61	—	適
169	〃	◎県営水道取水口	A	—	—	—

*判定：「適」=100個/100mℓ以下、「可」=1000個/100mℓ以下、「不適」=1000個/100mℓを超えるもの

2. 今後の河川水質管理の指標について

2.1 今後の河川水質管理の指標の概要

「今後の河川水質管理の指標」¹は、①人と河川の豊かなふれあいの確保、②豊かな生態系の確保、③利用しやすい水質の確保、④下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保、の4つの視点からなり、河川水質の確保すべき機能に関連する指標項目を表-2.1のとおり設定している。

表-2.1 今後の河川水質管理の指標項目

河川の水質管理の視点	今後の河川水質管理の指標項目（案）	
	住民との協働による測定項目	河川管理者による測定項目
人と河川の豊かなふれあいの確保	ゴミの量, 透視度, 川底の感触, 水の臭い, DO [*] , COD [*]	糞便性大腸菌群数, SS, BOD, DO, 濁度, T-N, T-P, 河床付着物のクロロフィル a
豊かな生態系の確保	水生生物の生息, 水温, pH [*] , DO [*] , COD [*] , NH ₄ -N [*]	DO, NH₄-N, 水生生物の生息, pH, BOD, SS, T-N, T-P
利用しやすい水質の確保	—	トリハロメタン生成能, 2-MIB, ジオスミン, NH₄-N, pH, SS, 濁度, TOC, 糞便性大腸菌群数
下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保	PO ₄ [*]	T-N, T-P

太字は水質管理上重点的に評価を行う項目を示す。

※バック方式などの簡易な方法による測定を行う項目。

2.2 近畿地方整備局管内の調査地点について

近畿地方整備局管内では、9水系39地点において調査を実施し、このうち、23地点において住民との協働により調査を実施している。各水系別の調査地点数を表-2.2に示す。

表-2.2 水系別調査地点数

	新宮川水系	紀の川水系	大和川水系	淀川水系	加古川水系	円山川水系	由良川水系	北川水系	九頭竜川水系	計
人と河川の豊かなふれあいの確保	1 (1)	2 (2)	2 (2)	10 (10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	5 (5)	22 (22)
豊かな生態系の確保	1 (1)	2 (2)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (2)	5 (5)	21 (20)
利用しやすい水質の確保	0 —	5 —	0 —	12 —	2 —	1 —	0 —	0 —	0 —	20 —

※下段（ ）書きは、調査地点数のうち、住民との協働調査実施地点数。

¹ これまでは通称である「新しい水質指標」が使用されてきたが、指標（案）設定から、10年以上が経過し、「新しい」という表現が現状にそぐわないことから、以降では「今後の河川水質管理の指標」として表記することとしている。

2. 3 平成 30 年調査結果

「人と河川の豊かなふれあいの確保」の調査結果(平成30年)

この調査結果は、

- ① 河川水質を「親水性」や「景観」の観点から調査した結果です。
- ② 河川管理者と地域住民と協働して調査を実施しています。
- ③ 河川の水質を評価したものであり、その地点への近づき易さや河川形態などは評価の対象とはなっていません。
- ④ 各調査地点で地元市民、児童、生徒などの有志によって、実際に川の水に対して感じた結果に基づいたものであり、必ずしも客観性や精度に配慮した結果ではありません。

凡例

- A 顔を川の水につけやすい
- B 川の中に入って遊びやすい
- C 川の中には入れないが、川に近づくことができる
- D 川の水に魅力がなく、川に近づきにくい

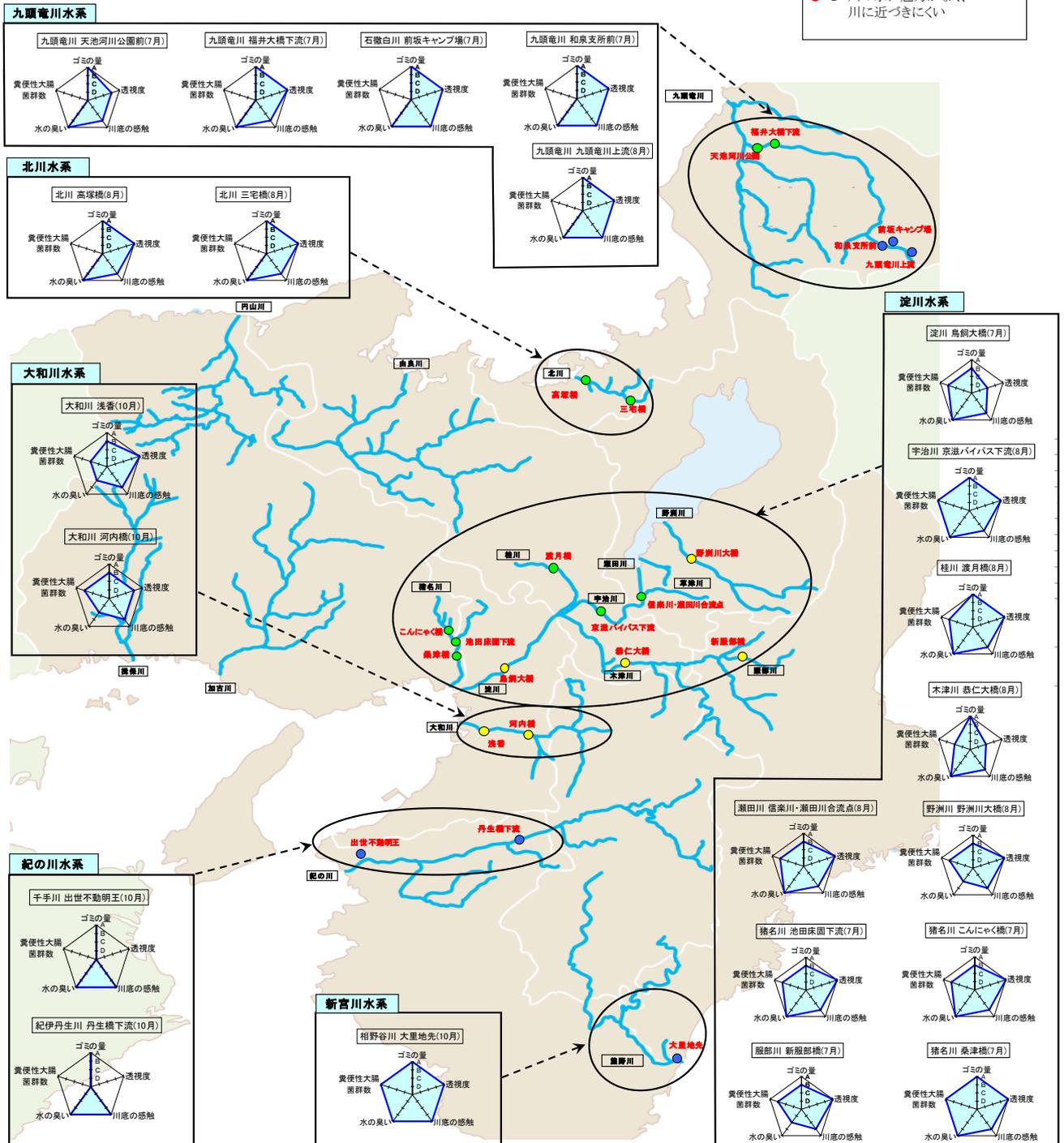


図-2.1 「人と河川の豊かなふれあいの確保」の視点による調査結果

表-2.3 「人と河川の豊かなふれあいの確保」の視点による評価結果一覧

地点番号	水系名	河川名	調査地点名	調査日	水質管理上重点的に評価を行う項目							地点評価	地点の年間評価
					糞便性大腸菌群数		住民との協働による測定						
					測定値 (個/100mL)	評価	ゴミの量	透視度		川底の 感触	水の におい		
								測定値 (cm)	評価				
1	新宮川	相野谷川	大里地先	H30.10.20	6	A	A	>100	A	A	A	A	A
2	紀の川	千手川	出世不動明王	H30.10.6			A			A	A	A	A
3	紀の川	紀伊丹生川	丹生橋下流	H30.10.12			A			A	A	A	A
4	大和川	大和川	浅香	H30.10.22	8700	C	B	>100	A	B	C	C	C
5	大和川	大和川	河内橋	H30.10.17	720	B	B	87	B	B	C	C	C
6	淀川	淀川	鳥飼大橋	H30.7.30	210	B	B	>68	C	B	A	C	C
7	淀川	宇治川	京滋バイパス下流	H30.8.8	67	A	A	>100	A	B	A	B	B
8	淀川	桂川	渡月橋	H30.8.2	280	B	A	>100	A	B	A	B	B
9	淀川	木津川	恭仁大橋	H30.8.6	2800	C	A	>40	C	B	A	C	C
10	淀川	野洲川	野洲川大橋	H30.8.6	580	B	B	>100	A	B	C	C	C
11	淀川	瀬田川	信楽川・瀬田川合流点	H30.8.6	110	B	B	>100	A	B	A	B	B
12	淀川	猪名川	こんやく橋	H30.7.22	230	B	B	>100	A	B	A	B	B
13	淀川	猪名川	池田床固下流	H30.7.22	120	B	B	>100	A	B	A	B	B
14	淀川	猪名川	桑津橋	H30.7.22	52	A	A	>100	A	B	A	B	B
15	淀川	服部川	新服部橋	H30.7.19	640	B	B	>100	A	B	C	C	C
16	北川	北川	高塚橋	H30.8.1			A	>100	A	B	A	B	B
17	北川	北川	三宅橋	H30.8.1			A	>100	A	B	A	B	B
18	九頭竜川	九頭竜川	天池河川公園前	H30.7.26			A	>75	B	B	A	B	B
19	九頭竜川	九頭竜川	福井大橋下流	H30.7.26			A	>100	A	B	A	B	B
20	九頭竜川	石徹白川	前坂キャンプ場	H30.7.24			A	100	A	A	A	A	A
21	九頭竜川	九頭竜川	和泉支所前	H30.7.23			A	100	A	A	A	A	A
22	九頭竜川	九頭竜川	九頭竜川上流	H30.8.3			A	100	A	A	A	A	A

- ・地点の評価については、各評価の最も低いランクを地点のランクとしている。
(例：ゴミの量B、川底の感触B、水のおいAであれば、地点評価はBとなる)
- ・地点の年間評価については、地点評価の最も低いランクを年間評価としている。
(例：地点評価B及びCがある場合、年間の評価はCとなる)

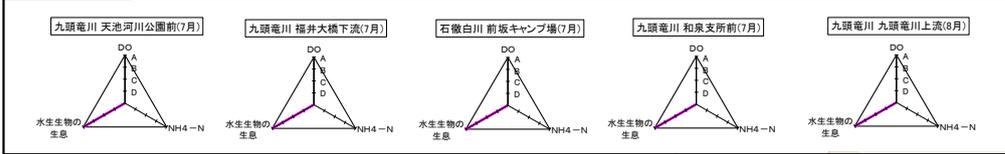
「豊かな生態系の確保」の調査結果(平成30年)

この調査結果は、

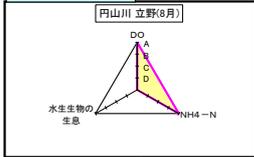
- ① 河川水質を「水生生物」の生息環境から調査した結果です。
- ② 河川管理者と地域住民と協働して調査を実施しています。
- ③ 河川の水質を評価したものであり、その地点の水量や河川形態などは評価の対象とはなっていません。
- ④ 各調査地点で地元市民、児童、生徒などの有志によって、実際に川の水に対して感じた結果に基づいたものであり、必ずしも客観性や精度に配慮した結果ではありません。

- 凡例
- A 生物の生息・生育・養殖環境として非常に良好
 - B 生物の生息・生育・養殖環境として良好
 - C 生物の生息・生育・養殖環境として良好とはいえない
 - D 生物の生息・生育・養殖しにくい

九頭竜川水系



円山川水系



北川水系

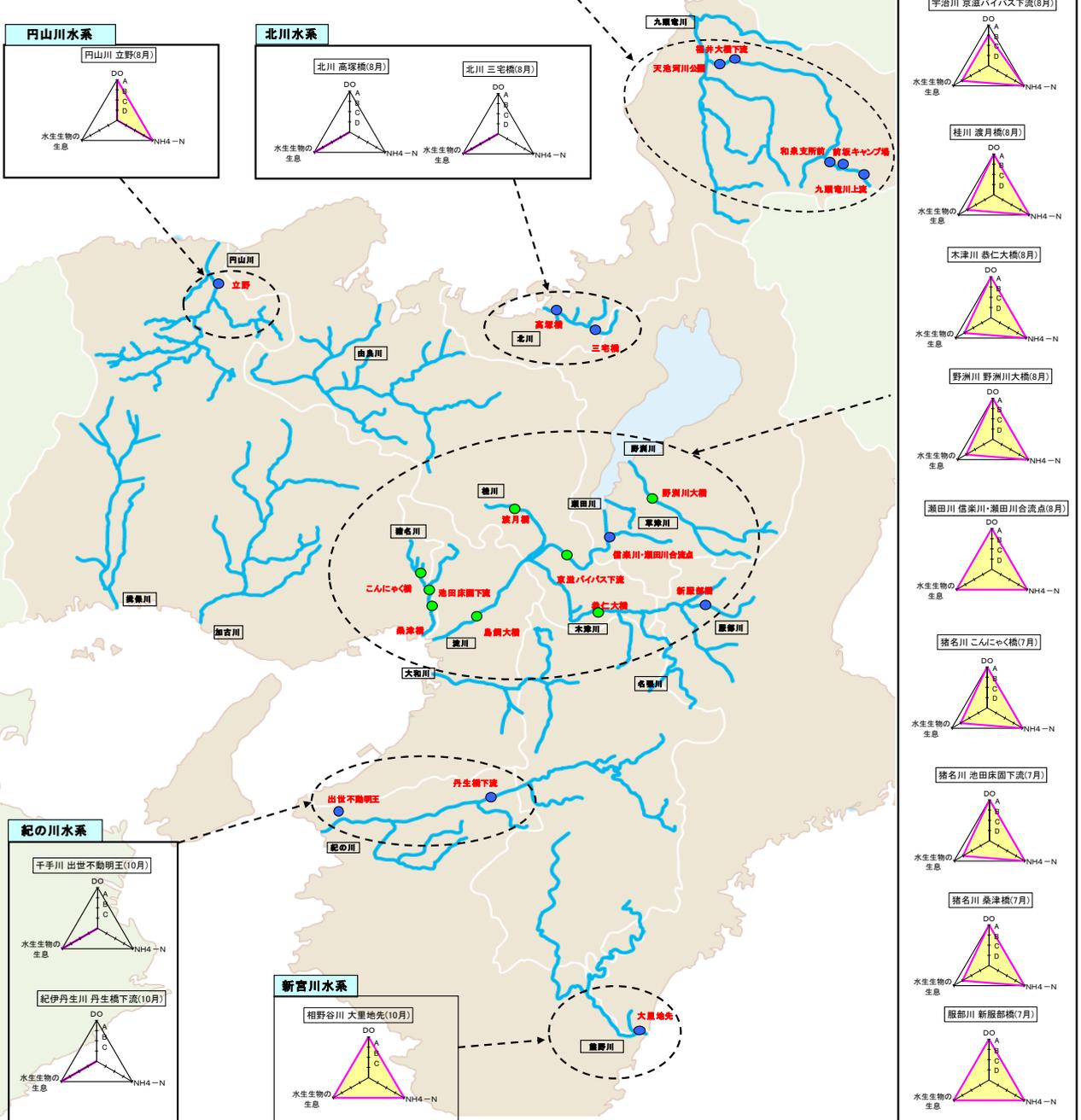
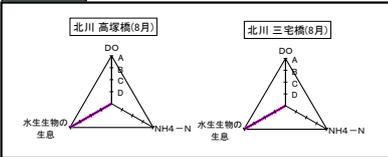


図-2.2 「豊かな生態系の確保」の視点による調査結果

表-2.4 「豊かな生態系の確保」の視点による評価結果一覧

地点番号	水系名	河川名	調査地点名	調査日	水質管理上重点的に評価を行う項目						地点評価	地点の年間評価
					DO		NH4-N		住民との協働による測定			
									水生生物の調査			
					測定値 (mg/L)	評価	測定値 (mg/L)	評価	測定値	評価		
1	新宮川	相野谷川	大里地先	H30.10.20	9.9	A	<0.01	A	I	A	A	A
2	紀の川	千手川	出世不動明王	H30.10.06					I	A	A	A
3	紀の川	紀伊丹生川	丹生橋下流	H30.10.12					I	A	A	A
4	淀川	淀川	鳥飼大橋	H30.07.30	7.4	A	0.03	A	II	B	B	B
5	淀川	宇治川	京滋バイパス下流	H30.08.08	6.9	B	0.09	A	II	B	B	B
6	淀川	桂川	渡月橋	H30.08.02	8.4	A	0.02	A	II	B	B	B
7	淀川	木津川	恭仁大橋	H30.08.06	7.9	A	0.04	A	II	B	B	B
8	淀川	野洲川	野洲川大橋	H30.08.06	9.2	A	0.03	A	II	B	B	B
9	淀川	瀬田川	信楽川・瀬田川合流点	H30.08.06	8.2	A	0.01	A	I	A	A	A
10	淀川	猪名川	こんにやく橋	H30.07.22	9.9	A	0.01	A	II	B	B	B
11	淀川	猪名川	池田床固下流	H30.07.22	10	A	0.01	A	II	B	B	B
12	淀川	猪名川	桑津橋	H30.07.22	8.4	A	0.01	A	II	B	B	B
13	淀川	服部川	新服部橋	H30.07.19	8.7	A	0.04	A	I	A	A	A
14	円山川	円山川	立野	H30.08.07	7	A	0.02	A			A	A
15	北川	北川	高塚橋	H30.08.01					I	A	A	A
16	北川	北川	三宅橋	H30.08.01					I	A	A	A
17	九頭竜川	九頭竜川	天池河川公園前	H30.07.26					I	A	A	A
18	九頭竜川	九頭竜川	福井大橋下流	H30.07.26					I	A	A	A
19	九頭竜川	石徹白川	前坂キャンプ場	H30.07.24					I	A	A	A
20	九頭竜川	九頭竜川	和泉支所前	H30.07.23					I	A	A	A
21	九頭竜川	九頭竜川	九頭竜川上流	H30.08.03					I	A	A	A

- ・地点の評価については、各評価の最も低いランクを地点のランクとしている。
(例：DO：B、NH4-N：B、水生生物：Aであれば、地点評価はBとなる)
- ・地点の年間評価については、地点評価の最も低いランクを年間評価としている。
(例：地点評価A及びBがある場合、年間の評価はBとなる)

「利用しやすい水質の確保」の調査結果（平成30年）

この調査結果は、
 ① 河川水質を「上水利用」などの観点から河川管理者が行った水質調査の結果です。
 ② 河川の水質を評価したものであり、その地点の水量や河川形態などは評価の対象とはなっていません。

凡例

地点の年間評価

- A より利用しやすい
- B 利用しやすい
- C 利用するためには高度な処理が必要

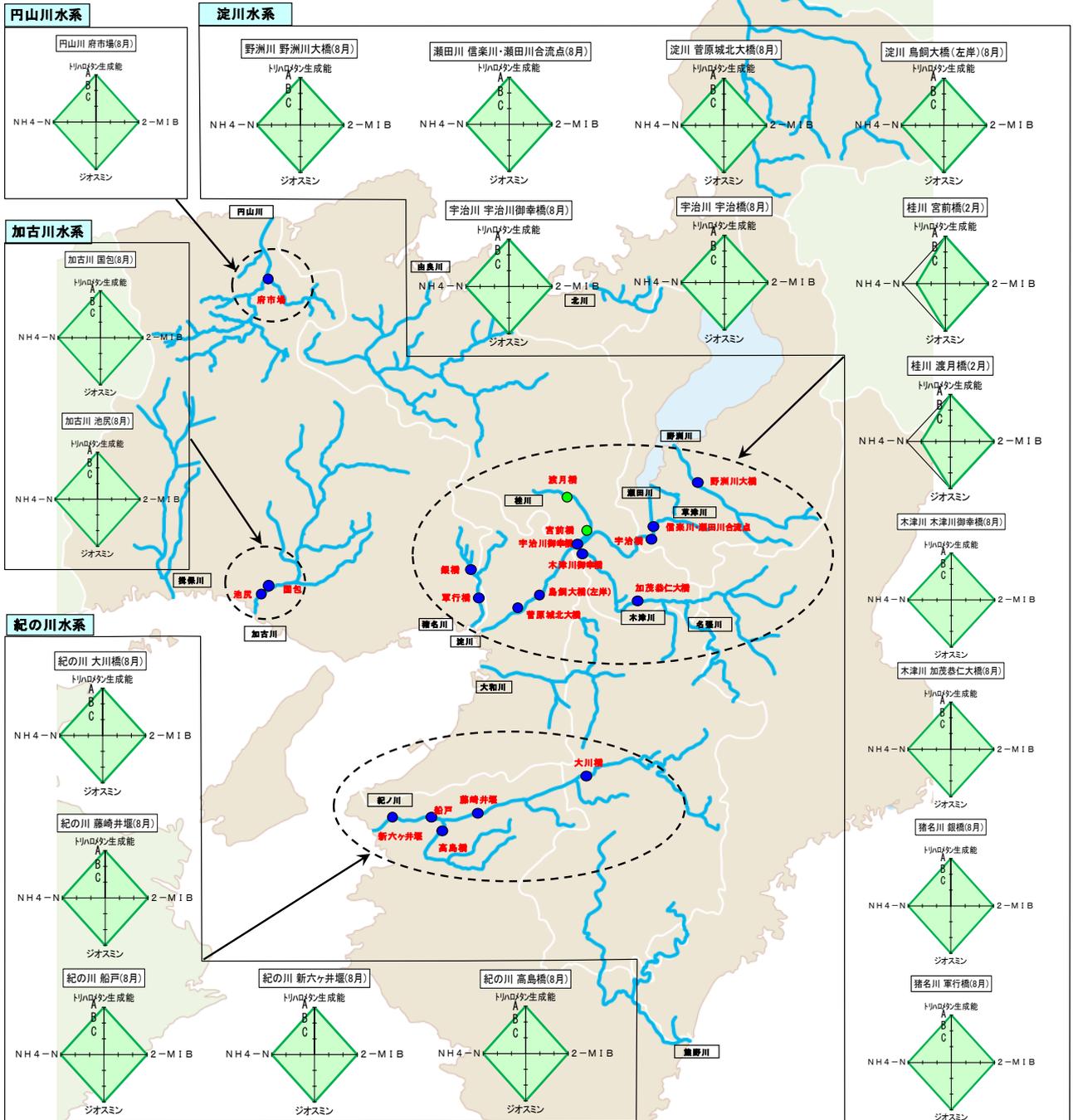


図-2.3 「利用しやすい水質の確保」の視点による調査結果

表-2.5(1) 「利用しやすい水質の確保」の視点による評価結果一覧

地点番号	水系名	河川名	調査地点名	調査日	調査結果データ								地点評価	地点の年間評価
					河川管理者による測定									
					水質管理上重点的に評価を行う項目									
					トリハロメタン生成能		2-MIB		ジオスミン		NH4-N			
測定値(μg/L)	評価	測定値(ng/L)	評価	測定値(ng/L)	評価	測定値(mg/L)	評価							
1	紀の川	紀の川	大川橋	H30.2.7	31	A	<1	A	<1	A	0.03	A	A	
				H30.5.22	20	A	<1	A	<1	A	0.01	A		
				H30.8.1	31	A	<1	A	<1	A	0.01	A		
				H30.11.7	32	A	<1	A	<1	A	0.01	A		
2	紀の川	紀の川	藤崎井堰	H30.2.7	24	A	<1	A	1	A	0.05	A	A	
				H30.5.22	28	A	<1	A	<1	A	0.02	A		
				H30.8.1	38	A	<1	A	<1	A	0.02	A		
				H30.11.7	21	A	<1	A	<1	A	0.02	A		
3	紀の川	紀の川	船戸	H30.2.7	23	A	<1	A	1	A	0.06	A	A	
				H30.5.22	29	A	<1	A	<1	A	0.02	A		
				H30.8.1	35	A	<1	A	<1	A	0.02	A		
				H30.11.7	26	A	<1	A	2	A	0.02	A		
4	紀の川	紀の川	新六ヶ井堰	H30.2.7	27	A	<1	A	2	A	0.1	A	A	
				H30.5.22	30	A	<1	A	2	A	0.04	A		
				H30.8.1	43	A	<1	A	<1	A	0.02	A		
				H30.11.7	24	A	1	A	2	A	0.02	A		
5	紀の川	紀の川	高島橋	H30.2.7	36	A	<1	A	2	A	0.09	A	A	
				H30.5.22	35	A	<1	A	<1	A	0.02	A		
				H30.8.1	45	A	<1	A	<1	A	0.03	A		
				H30.11.7	26	A	<1	A	3	A	0.03	A		
6	淀川	野洲川	野洲川大橋	H30.2.6	32	A	<1	A	2	A	0.06	A	A	
				H30.5.17	38	A	<1	A	<1	A	0.02	A		
				H30.8.6	43	A	<1	A	<1	A	0.03	A		
				H30.11.12	31	A	<1	A	1	A	0.01	A		
7	淀川	瀬田川	信楽川・瀬田川合流点	H30.2.6	16	A	<1	A	<1	A	<0.01	A	A	
				H30.05.17	25	A	<1	A	<1	A	<0.01	A		
				H30.08.06	22	A	<1	A	<1	A	0.01	A		
				H30.11.12	19	A	<1	A	<1	A	<0.01	A		
8	淀川	淀川	菅原城北大橋	H30.02.01	31	A	無	A	無	A	0.06	A	A	
				H30.05.23	36	A	無	A	無	A	0.03	A		
				H30.08.01	67	A	<1	A	<1	A	0.01	A		
				H30.11.14	47	A	無	A	無	A	0.05	A		
9	淀川	淀川	鳥飼大橋(左岸)	H30.02.01	31	A	無	A	無	A	0.05	A	A	
				H30.05.23	33	A	無	A	無	A	0.02	A		
				H30.08.01	60	A	<1	A	<1	A	0.03	A		
				H30.11.14	36	A	無	A	無	A	0.05	A		
10	淀川	宇治川	宇治川御幸橋	H30.02.01	29	A	無	A	無	A	0.03	A	A	
				H30.5.23	35	A	無	A	無	A	0.03	A		
				H30.8.1	46	A	2	A	<1	A	0.03	A		
				H30.11.14	31	A	無	A	無	A	0.05	A		
11	淀川	宇治川	宇治橋	H30.2.1	21	A	無	A	無	A	0.01	A	A	
				H30.05.23	41	A	無	A	無	A	0.03	A		
				H30.08.01	52	A	1	A	<1	A	0.09	A		
				H30.11.14	38	A	無	A	無	A	0.05	A		

※地点の評価については、各評価の最も低いランクを地点のランクとしている。
 (例：トリハロメタン：B、2-MIB：B、ジオスミン：A、NH4-N：Bであれば、地点評価はBとなる)
 ※地点の年間評価については、地点評価の最も低いランクを年間評価としている。
 (例：地点評価A及びBがある場合、年間の評価はBとなる)

表-2.5(2) 「利用しやすい水質の確保」の視点による評価結果一覧

地点番号	水系名	河川名	調査地点名	調査日	調査結果データ								地点評価	地点の年間評価
					河川管理者による測定									
					水質管理上重点的に評価を行う項目									
					トリハロメタン生成能		2-MIB		ジオスミン		NH4-N			
測定値(μg/L)	評価	測定値(ng/L)	評価	測定値(ng/L)	評価	測定値(mg/L)	評価							
12	淀川	桂川	宮前橋	H30.02.01	34	A	無	A	無	A	0.13	B	B	
				H30.05.23	33	A	無	A	無	A	0.03	A		A
				H30.08.01	57	A	2	A	1	A	0.03	A		A
				H30.11.14	37	A	無	A	無	A	0.05	A		A
13	淀川	桂川	渡月橋	H30.02.01	17	A	無	A	無	A	0.17	B	B	
				H30.05.23	30	A	無	A	無	A	0.08	A		A
				H30.08.01	33	A	<1	A	<1	A	0.02	A		A
				H30.11.14	17	A	無	A	無	A	0.02	A		A
14	淀川	木津川	木津川御幸橋	H30.02.01	39	A	無	A	無	A	0.06	A	A	
				H30.05.23	60	A	無	A	無	A	0.02	A		A
				H30.8.1	63	A	<1	A	<1	A	0.01	A		A
				H30.11.14	39	A	無	A	無	A	0.01	A		A
15	淀川	木津川	加茂蒸仁大橋	H30.2.1	33	A	無	A	無	A	0.09	A	A	
				H30.5.23	64	A	無	A	無	A	0.04	A		A
				H30.8.1	64	A	<1	A	<1	A	0.04	A		A
				H30.11.14	42	A	無	A	無	A	0.02	A		A
16	淀川	猪名川	銀橋	H30.2.6	33	A	無	A	無	A	<0.01	A	A	
				H30.5.1			無	A	無	A	0.02	A		
				H30.8.7	51	A	無	A	無	A	0.01	A		A
				H30.11.6			無	A	無	A	0.02	A		
17	淀川	猪名川	軍行橋	H30.2.6	35	A	<1	A	<1	A	0.01	A	A	
				H30.5.1	29	A	<1	A	<1	A	0.01	A		A
				H30.8.7	50	A	<1	A	<1	A	0.01	A		A
				H30.11.6	34	A	1	A	<1	A	0.02	A		A
18	加古川	加古川	国包	H30.2.7	51	A	無	A	無	A	0.03	A	A	
				H30.6.25			無	A	無	A	0.01	A		
				H30.8.1	97	A	無	A	無	A	0.01	A		A
				H30.11.7	42	A	無	A	無	A	0.03	A		A
19	加古川	加古川	池尻	H30.2.7	53	A	無	A	無	A	0.02	A	A	
				H30.6.25			無	A	無	A	0.01	A		
				H30.8.1	76	A	無	A	無	A	0.01	A		A
				H30.11.7	51	A	無	A	無	A	0.02	A		A
20	円山川	円山川	府市場	H30.8.7	30	A	無	A	無	A	0.02	A	A	

※地点の評価については、各評価の最も低いランクを地点のランクとしている。
 (例：トリハロメタン：B、2-MIB：B、ジオスミン：A、NH4-N：Bであれば、地点評価はBとなる)
 ※地点の年間評価については、地点評価の最も低いランクを年間評価としている。
 (例：地点評価A及びBがある場合、年間の評価はBとなる)

3. 平成 30 年度ダイオキシン類及び内分泌かく乱物質実態調査結果

3. 1 ダイオキシン類の調査地点

平成 11 年度以降、ダイオキシン類について継続的に調査を実施してきており、近畿地方整備局管内では 10 水系 47 地点において実施している。水系ごとの調査地点を表-3.1 示す。

※基準監視地点・・・水系の順流最下流地点の環境基準点や流域の特性等を考慮して設定している地点

補助監視地点・・・基準監視地点での調査を補完することを目的とし、過去の調査経緯や濃度が比較的高濃度となる可能性が高い地点

表-3.1 水系別の調査地点

地点の種別 \ 水系名	新宮川水系	紀の川水系	大和川水系	淀川水系	加古川水系	揖保川水系	円山川水系	由良川水系	北川水系	九頭竜川水系	計
基準監視地点	1 (1)	1 (1)	1 (1)	4 (4)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	13 (13)
補助監視地点	0 (2)	1 (3)	1 (7)	4 (12)	0 (2)	1 (1)	0 (1)	1 (2)	1 (1)	3 (3)	12 (34)
水系 計	1 (3)	2 (4)	2 (8)	8 (16)	1 (3)	2 (2)	1 (2)	2 (3)	2 (2)	4 (4)	25 (47)

上段 :平成30年度調査地点数
(下段) :各水系における調査地点数

3. 2 ダイオキシン類の調査結果

各地点における調査については、原則として年 1 回水質と底質を同時に調査している。また、要監視濃度（環境基準値の 1/2）を超過する地点については重点監視状態にある地点（重点監視地点）として重点的に調査を行うこととしている。調査頻度の考え方は表-3.2 のとおりである。また、平成 30 年度当初時点における各水系における重点監視地点の内訳を表-3.3 に、平成 30 年度調査結果を図-3.1、図-3.2、表-3.4、表-3.5 に示す。

表-3.2 地点の種別による調査頻度

地点の種別	調査頻度	備考
基準監視地点	1 回/年	—
補助監視地点	1 回/3 年	—
重点監視地点	4 回/年	過去の調査において要監視濃度を超過し、その後の調査で 8 回連続して要監視濃度を下回っていない地点。

表-3.3 各水系における重点監視地点（平成 30 年度当初時点）

地点の種別 \ 水系名	新宮川水系	紀の川水系	大和川水系	淀川水系	加古川水系	揖保川水系	円山川水系	由良川水系	北川水系	九頭竜川水系	計
重点監視地点数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
調査地点数	1	2	2	8	1	2	1	2	2	4	25

表-3.4 平成30年度ダイオキシン類調査結果一覧表

地点番号	水系名	河川名	調査地点名	地点の種別			調査時期	ダイオキシン類(水質)				ダイオキシン類(底質)											
				基準監視地点 補助監視地点の別	重点監視地点 (※1)			PCDD + PCDF	Co-PCB	TOTAL	評価値 (平均値)	PCDD + PCDF	Co-PCB	TOTAL	評価値 (最高値)								
					水質	底質										pg-TEQ/ℓ	pg-TEQ/ℓ	pg-TEQ/ℓ	pg-TEQ/ℓ	pg-TEQ/g	pg-TEQ/g	pg-TEQ/g	pg-TEQ/g
1	新宮川	熊野川	熊野大橋	基準			秋季	0.064	0.0046	0.069	0.069	0.20	0.014	0.21	0.21								
2	紀の川	紀の川	大川橋	補助			秋季	0.062	0.0046	0.067	0.067	0.20	0.014	0.21	0.21								
3	紀の川	紀の川	船戸	基準			秋季	0.070	0.005	0.074	0.074	0.29	0.025	0.32	0.32								
4	大和川	大和川	藤井	補助	○		春季	0.24	0.021	0.26	0.35	-	-	-	-								
							夏季	0.79	0.022	0.81		-	-	-	-								
							秋季	0.22	0.014	0.23		0.47	0.034	0.50	0.50								
							冬季	0.093	0.005	0.097		-	-	-	-								
5	大和川	大和川	遠里小野橋 中	基準			秋季	0.19	0.016	0.20	0.20	0.28	0.024	0.31	0.31								
6	淀川	木津川	岩倉橋	補助			秋季	0.23	0.0048	0.23	0.23	0.30	0.014	0.32	0.32								
7	淀川	木津川	加茂恭仁大橋	補助			秋季	0.15	0.0051	0.16	0.16	0.21	0.013	0.22	0.22								
8	淀川	木津川	玉水橋	補助			秋季	0.15	0.0051	0.15	0.15	0.22	0.014	0.24	0.24								
9	淀川	木津川	木津川御幸橋	補助			秋季	0.15	0.0055	0.16	0.16	0.23	0.014	0.24	0.24								
10	淀川	淀川	枚方大橋中央	基準			秋季	0.094	0.013	0.11	0.11	0.21	0.014	0.23	0.23								
11	淀川	淀川	菅原城北大橋	基準			秋季	0.077	0.0052	0.082	0.082	0.22	0.015	0.24	0.24								
12	淀川	猪名川	利倉	基準			秋季	0.11	0.041	0.15	0.15	0.36	0.072	0.43	0.43								
13	淀川	藻川	中園橋	基準			秋季	0.086	0.013	0.099	0.099	0.24	0.071	0.31	0.31								
14	加古川	加古川	池尻(加古川橋)	基準			秋季	0.18	0.0093	0.19	0.19	0.90	0.014	0.91	0.91								
15	揖保川	揖保川	上川原(王子橋)	基準			秋季	0.082	0.0050	0.087	0.087	0.21	0.052	0.26	0.26								
16	揖保川	揖保川	本町橋	補助			秋季	-	-	-	-	0.22	0.073	0.29	0.29								
17	円山川	円山川	立野	基準			秋季	0.064	0.0046	0.068	0.068	0.20	0.014	0.21	0.21								
18	由良川	由良川	音無瀬橋	補助			秋季	0.064	0.0047	0.068	0.068	0.27	0.016	0.29	0.29								
19	由良川	由良川	波美橋	基準			秋季	0.065	0.0047	0.070	0.070	0.20	0.013	0.22	0.22								
20	九頭竜川	九頭竜川	中角	基準			秋季	0.07	0.0047	0.074	0.074	0.21	0.014	0.22	0.22								
21	九頭竜川	九頭竜川	九頭竜ダム湖	補助			秋季	0.062	0.0046	0.067	0.067	4.2	0.35	4.5	4.5								
22	九頭竜川	九頭竜川	九頭竜川河口	補助			秋季	-	-	-	-	0.21	0.014	0.23	0.23								
23	九頭竜川	真名川	真名川ダム湖	補助			秋季	0.062	0.0046	0.067	0.067	1.9	0.17	2.0	2.0								
24	北川	北川	高塚	基準			秋季	0.088	0.0046	0.093	0.093	0.21	0.015	0.23	0.23								
25	北川	北川	西津橋	補助			秋季	-	-	-	-	0.21	0.015	0.23	0.23								

注1:四捨五入により、(PCDD+PCDF)とDL-PCBの和が、Totalと一致しないことがある。

注2:黄色のセルは、要監視濃度(環境基準値の1/2(水質:0.50pg-TEQ/L、底質:75pg-TEQ/g))を超えた値を表す。

赤色のセルは、環境基準値(水質:1pg-TEQ/L、底質:150pg-TEQ/g)を超えた値を表す。

注3:水質基準の達成状況は、測定地点ごとに年間平均値により評価する。また、底質基準の達成状況は測定結果ごとに、また測定地点ごとに評価する。

(※1 重点監視地点とは、過年度の調査で要監視濃度を超えた地点のうち、その後の調査で8回連続して要監視濃度を下回っていない地点。)

表-3.5 重点監視地点※の検出濃度の推移（水質）

(単位:pg-TEQ/l)

府県名	水系名	河川名	調査地点	平成16年度				平成17年度				平成18年度				平成19年度			
				春期	夏期	秋期	冬期												
奈良県	大和川	大和川	上吐田	0.38	0.61	0.28	0.35	0.48	0.31	0.30	0.68	0.64	0.47	0.87	0.52	0.52	0.36	0.52	0.33
奈良県	大和川	大和川	太子橋	0.29	0.49	0.33	0.28	0.31	0.32	0.53	0.21	0.54	0.37	0.41	0.31	0.43	0.50	0.44	0.19
奈良県	大和川	大和川	藤井	0.42	1.1	0.44	0.26	1.0	0.71	0.35	0.27	0.55	0.47	0.40	0.35	0.54	0.49	0.39	0.20
大阪府	大和川	大和川	遠里小野橋 中	0.39	0.94	0.41	0.36	0.36	0.41	0.29	0.27	0.38	0.26	0.40	0.17	0.56	0.48	0.36	0.17
大阪府	大和川	大和川	河口部 中	0.53	0.89	0.47	0.54	0.37	0.31	0.18	0.30	0.39	0.33	0.41	0.13	0.82	0.30	0.33	0.13

府県名	水系名	河川名	調査地点	平成20年度				平成21年度				平成22年度				平成23年度			
				春期	夏期	秋期	冬期	春期	夏期	秋期	冬期	春期	夏期	秋期	冬期	春期	夏期	秋期	冬期
奈良県	大和川	大和川	上吐田	0.60	0.88	0.59	1.4	0.31	0.30	0.41	0.44	0.34	0.43	0.12	0.26	—	—	0.29	—
奈良県	大和川	大和川	太子橋	0.49	—	0.67	0.47	1.0	0.38	0.37	0.37	0.20	0.57	0.50	0.12	0.26	0.48	0.30	0.11
奈良県	大和川	大和川	藤井	0.48	0.95	0.57	0.42	0.44	0.42	0.30	0.26	0.25	1.1	0.27	0.13	0.20	0.51	0.26	0.14
大阪府	大和川	大和川	遠里小野橋 中	0.30	0.73	0.47	0.35	0.32	0.28	0.25	0.16	0.19	0.63	0.095	0.085	0.16	0.59	0.16	0.23
大阪府	大和川	大和川	河口部 中	0.28	0.71	0.48	0.31	0.40	0.37	0.21	0.13	0.16	0.73	0.12	0.098	0.41	0.85	0.59	0.14

府県名	水系名	河川名	調査地点	平成24年度				平成25年度				平成26年度				平成27年度			
				春期	夏期	秋期	冬期												
奈良県	大和川	大和川	上吐田	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.95	—	0.39	0.41	0.35	0.18
奈良県	大和川	大和川	太子橋	0.28	0.32	0.23	0.57	0.30	0.63	0.31	0.13	0.14	0.51	0.36	0.28	0.43	0.48	0.34	0.14
奈良県	大和川	大和川	藤井	0.21	0.46	0.31	0.50	0.31	0.71	0.30	0.21	0.13	1.0	0.37	0.24	0.34	0.52	0.26	0.11
大阪府	大和川	大和川	遠里小野橋 中	0.18	0.19	0.14	0.42	0.19	0.42	0.14	0.15	—	—	0.58	—	0.26	0.60	0.22	0.095
大阪府	大和川	大和川	河口部 中	0.18	0.11	0.13	0.43	0.26	0.58	0.12	0.10	0.093	0.98	0.56	0.18	0.23	0.89	0.26	0.11

府県名	水系名	河川名	調査地点	平成28年度				平成29年度				平成30年度							
				春期	夏期	秋期	冬期	春期	夏期	秋期	冬期	春期	夏期	秋期	冬期				
奈良県	大和川	大和川	上吐田	0.29	0.38	0.31	0.44	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
奈良県	大和川	大和川	太子橋	0.36	0.35	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
奈良県	大和川	大和川	藤井	0.26	0.56	0.29	0.19	0.23	0.62	0.25	0.38	0.26	0.81	0.23	0.10	—	—	—	—
大阪府	大和川	大和川	遠里小野橋 中	0.21	0.30	0.18	0.21	0.16	0.44	0.35	—	—	—	0.20	—	—	—	—	—
大阪府	大和川	大和川	河口部 中	0.28	0.34	0.18	0.23	0.25	0.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※ 平成30年度当初における重点監視地点

注1: 黄色のセルは、要監視濃度（環境基準値の1/2（水質：0.50pg-TEQ/L））を超えた値を表す。
赤色のセルは、環境基準値（水質：1pg-TEQ/L）を超えた値を表す。

3.3 内分泌かく乱物質の調査地点

平成10年度以降（一部は平成12年度以降）、内分泌かく乱物質について調査を実施しており、近畿地方整備局管内では、10水系18地点について調査を実施している。各水系の調査地点を表-3.6に示す。

表-3.6 水系別の調査地点

水系名	新宮川水系	紀の川水系	大和川水系	淀川水系	加古川水系	揖保川水系	円山川水系	由良川水系	北川水系	九頭竜川水系	計
地点数	0 (1)	0 (1)	0 (1)	3 (9)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	3 (18)

上段：平成30年度調査地点数
 (下段)：各水系における調査地点数

3.4 内分泌かく乱物質の調査結果

項目ごとの調査頻度については、表-3.7に示すとおりである。また、過去の調査において国土交通省河川局が定めている重点調査濃度を超過した項目については、重点的に調査を行うこととしている。

平成30年度調査結果を表-3.8、図-3.3に示す。全ての地点で全ての項目について、重要調査濃度は超過しなかった。

表-3.7 項目別調査頻度と重点調査濃度

	項目	調査頻度	重点調査濃度	選定理由
水質	ビスフェノールA	1回/6年	24.7 μ g/L	環境省のリスク評価および文献等において、内分泌かく乱作用が確認され、かつ過去の調査において検出率が高い。
	エストロン		0.0016 μ g/L	文献等において、内分泌かく乱作用が確認され、かつ過去の調査において検出率が高い。
	17 β -エストラジオール		0.0015 μ g/L	文献等において、内分泌かく乱作用が確認され、かつ過去の調査において検出率が高い。
	o,p'-DDT		0.0145 μ g/L	環境省のリスク評価において、明らかな内分泌かく乱作用は確認されなかったが、魚類に対しては内分泌攪乱作用を有することが推測される。

表-3.8 平成30年度内分泌かく乱物質調査結果一覧

地点番号	水系名	河川名	調査地点名	水質					
				流量 (m ³ /s)	SS (mg/L)	ビスフェノールA (μ g/L)	エストロン LC/MS/MS法 (μ g/L)	17 β -エストラジ オール LC/MS/MS法 (μ g/L)	o,p'-DDT (μ g/L)
1	淀川	淀川	枚方大橋左岸	—	4.0	0.008	0.0005	ND	0.0000009
2	淀川	淀川	枚方大橋中央	—	2.8	0.006	0.0005	ND	0.0000011
3	淀川	淀川	枚方大橋右岸	—	1.8	0.007	0.0006	0.0002	0.0000009
重点調査濃度				—	—	24.7	0.0016	0.0015	0.0145
検出下限値(未満ND)				—	0.1	0.001	0.00004	0.00004	0.0000004

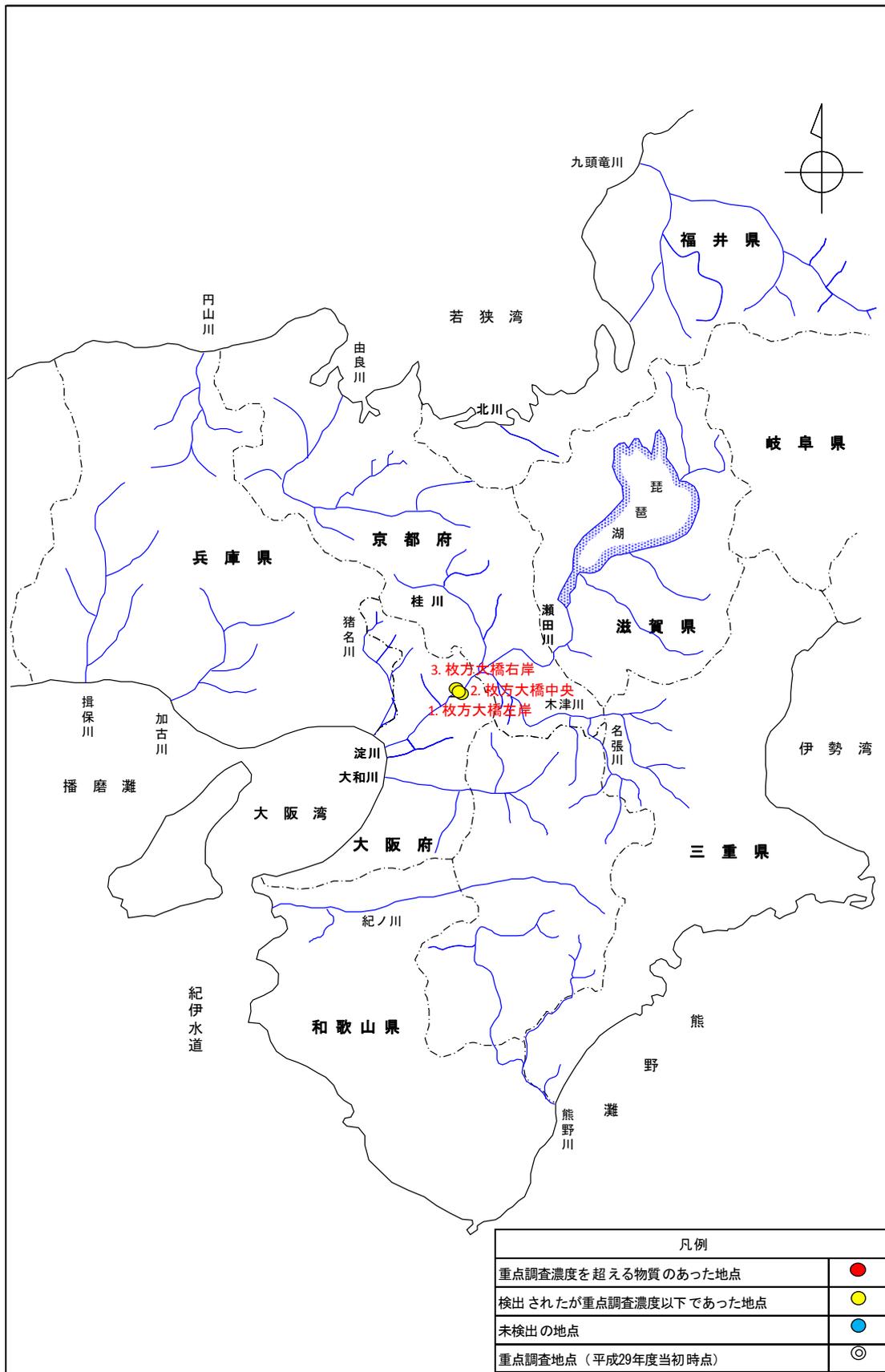


図-3.3 平成30年度内分泌かく乱物質調査結果

4. 近畿地方整備局管内における水生生物調査の状況

4.1 平成30年調査結果

平成30年は54箇所を調査を実施し、26地点（48%）が「きれいな水」と判定された。平成29年と比較すると、「きれいな水」の地点数（割合）は20地点（48%）から6地点増加（同割合）であった。

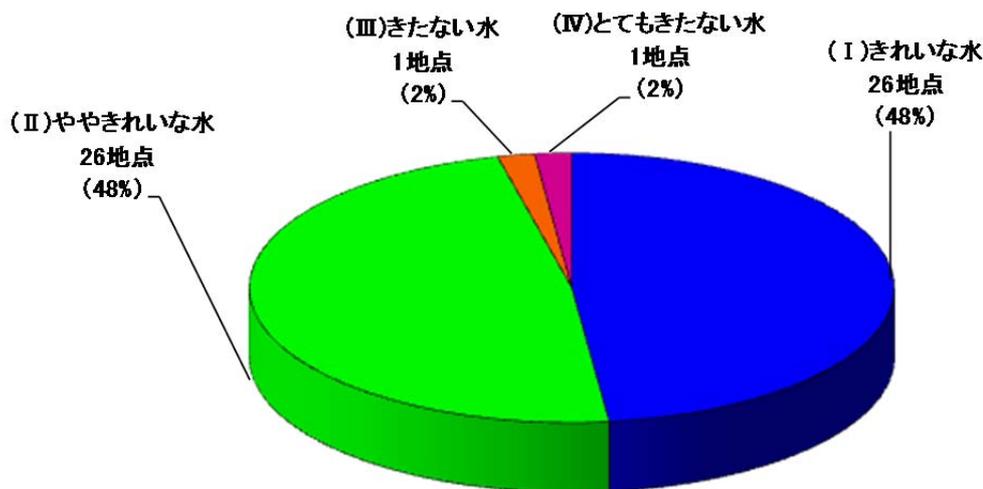


図-4.1 水生生物による水質階級の地点数（割合）

※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

表-4.1 水質階級ごとの指標生物

水質階級	環境	指標生物
(I) きれいな水	上流域の溪流環境	カワゲラ類、ナガレトビケラ類、ヤマトビケラ類、ヒラタカゲロウ類、ヘビトンボ、ブユ類、アマミカ類、ナミウズムシ、サワガニ、ヨコエビ類
(II) ややきれいな水	栄養塩の流入がある中流域の環境	コガタシマトビケラ類、オオシマトビケラ、ヒラタドROMシ類、ゲンジボタル、コオニヤンマ、カワニナ類、※スジエビ、◎ヤマトシジミ、◎イシマキガイ
(III) きたない水	河口域の汽水域、または周辺に豊かな自然が残る田園環境、川の水位変動により本流とつながったり、取り残されて溜まり水（池）になる環境	ミズムシ、ミズカマキリ、※タイコウチ、シマイシビル、タニシ類、◎イソコツブムシ類、◎ニホンドロソコエビ
(IV) とてもきたない水	とても汚れた水	ユスリカ類、チョウバエ類、エラミミズ、サカマキガイ、アメリカザリガニ

注) ◎は汽水域の生物である。

※平成24年度から、水質階級別指標生物が一部変更しています（スジエビ、タイコウチは旧指標生物です）

表-4.2 水生生物調査地点別水質判定一覧表

水系名	河川名	地点番号	地点名	H30水質階級	参考		
					H29水質階級	参考(定期水質調査)	
					H29水質階級	水質調査地点	BOD75%値(H30)
九頭竜川	九頭竜川	1-1	九頭竜川上流	I	I		
九頭竜川	九頭竜川	1-2	和泉支所前	I	II		
九頭竜川	石徹白川	1-3	前坂キャンプ場	I	I		
九頭竜川	九頭竜川	1-4	福井大橋下流	I	I	中角	0.7
九頭竜川	九頭竜川	1-5	天池河川公園前	I	II		
北川	北川	2-1	三宅橋	I	I		
北川	北川	2-2	高塚橋	I	I		
淀川	木津川	3-1	稲広橋	I	I		
淀川	服部川	3-2	新服部橋	I	I		
淀川	野洲川	3-3	名神野洲川橋	II	II	石部	0.8
淀川	野洲川	3-4	落差工下流	II			
淀川	瀬田川	3-5	瀬田川・信楽川合流点	I	I	瀬田川・信楽川合流点	-
淀川	木津川	3-6	恭仁大橋	II	I	加茂恭仁大橋	0.8
淀川	木津川	3-7	玉水橋	II		玉水橋	0.7
淀川	木津川	3-8	木津川御幸橋	II		木津川御幸橋	0.6
淀川	宇治川	3-9	京滋バイパス下流	II	II	宇治橋	1
淀川	宇治川	3-10	隠元橋	II		隠元橋	1
淀川	宇治川	3-11	宇治川御幸橋	II		宇治川御幸橋	1.1
淀川	桂川	3-12	渡月橋	II	II	渡月橋	0.7
淀川	桂川	3-13	西大橋	II		西大橋	0.7
淀川	桂川	3-14	羽束師橋	II		羽束師橋	1
淀川	桂川	3-15	宮前橋	II		宮前橋	0.9
淀川	淀川	3-16	楠葉砂州	II			
淀川	淀川	3-17	鳥飼大橋	II		鳥飼大橋	1.2
淀川	淀川	3-18	城北	III		菅原城北大橋	1.3
淀川	淀川	3-19	柴島水管橋	II		菅原城北大橋	1.3
淀川	淀川	3-20	十三千潟	II	II	長柄橋	-
淀川	淀川	3-21	伝法大橋	II		伝法大橋	2.1
淀川	猪名川	3-22	奥猪名健康の郷	I	I		
淀川	猪名川	3-23	猪名川町立ふるさと館親水公園	I			
淀川	猪名川	3-24	支流初谷川最上流	I			
淀川	猪名川	3-25	支流初谷川	I	I		
淀川	猪名川	3-26	こんにゃく橋	I	II		
淀川	猪名川	3-27	支流余野川	I			
淀川	猪名川	3-28	キセラせせらぎ水路	II			
淀川	猪名川	3-29	ドラゴンランド	I	II		
淀川	猪名川	3-30	池田床固下流	II	I		
淀川	猪名川	3-31	支流千里川親水公園	IV			
淀川	猪名川	3-32	桑津橋	II	II		
淀川	猪名川	3-33	藻川中園橋下	II			
由良川	上林川	4-1	有安橋	I	I		
由良川	上林川	4-2	大手橋	I	I		
大和川	大和川	5-1	河内橋	II	II	河内橋	1.8
大和川	大和川	5-2	浅香	II	II	浅香新取水口	1.6
円山川	円山川	6-1	上ノ郷橋下流	I	I	府市場	0.6
加古川	加古川	7-1	栗田橋左岸下流	I	II		
揖保川	揖保川	8-1	新香橋上流	II			
揖保川	揖保川	8-2	千鳥ヶ浜公園	II	II		
揖保川	揖保川	8-3	せせらぎ公園	I	II		
揖保川	林田川	8-4	誉鳩橋上流左岸側	I			
揖保川	林田川	8-5	JR山陽本線林田川橋梁下流	II	II		
紀の川	紀伊丹生川	9-1	丹生橋下流	I	I		
紀の川	千手川	9-2	出世不動明王	I	I		
新宮川	相野谷川	10-1	相野谷橋下流	I	I		

4. 2 水質階級構成比の年次推移

平成 15 年から平成 30 年における近畿全体と近畿の各河川の水質階級構成比については次のとおりである。近畿全体では、平成 29 年と（Ⅰ）きれいな水の割合、（Ⅱ）ややきれいな水の割合は同じであった。

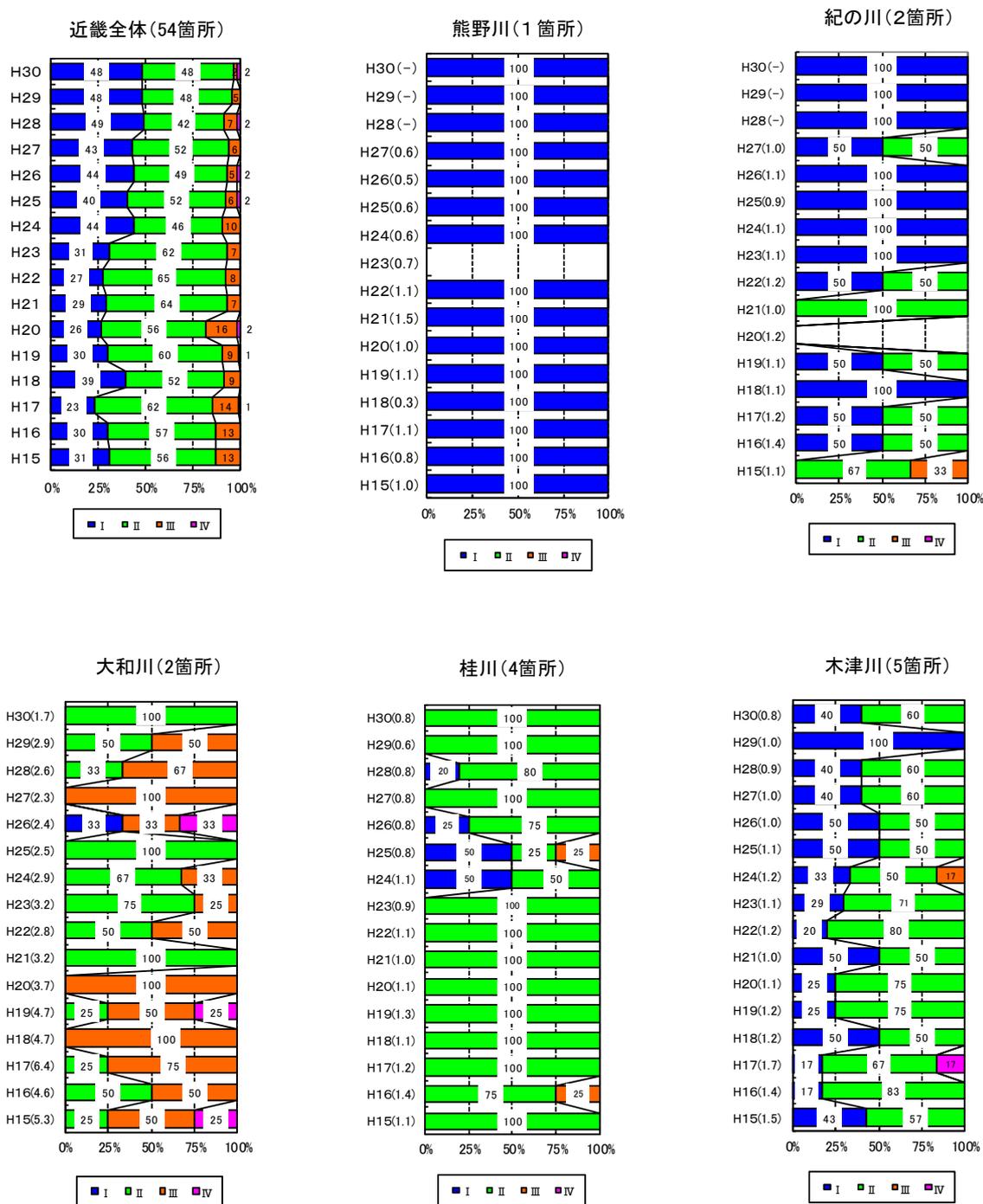


図-4.3 水質階級構成比の年次推移

(近畿全体、熊野川、紀の川、大和川、桂川、木津川)

※ 箇所数は、H30年の調査箇所数。年の()は、BOD年平均値 (mg/l)

※ 四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

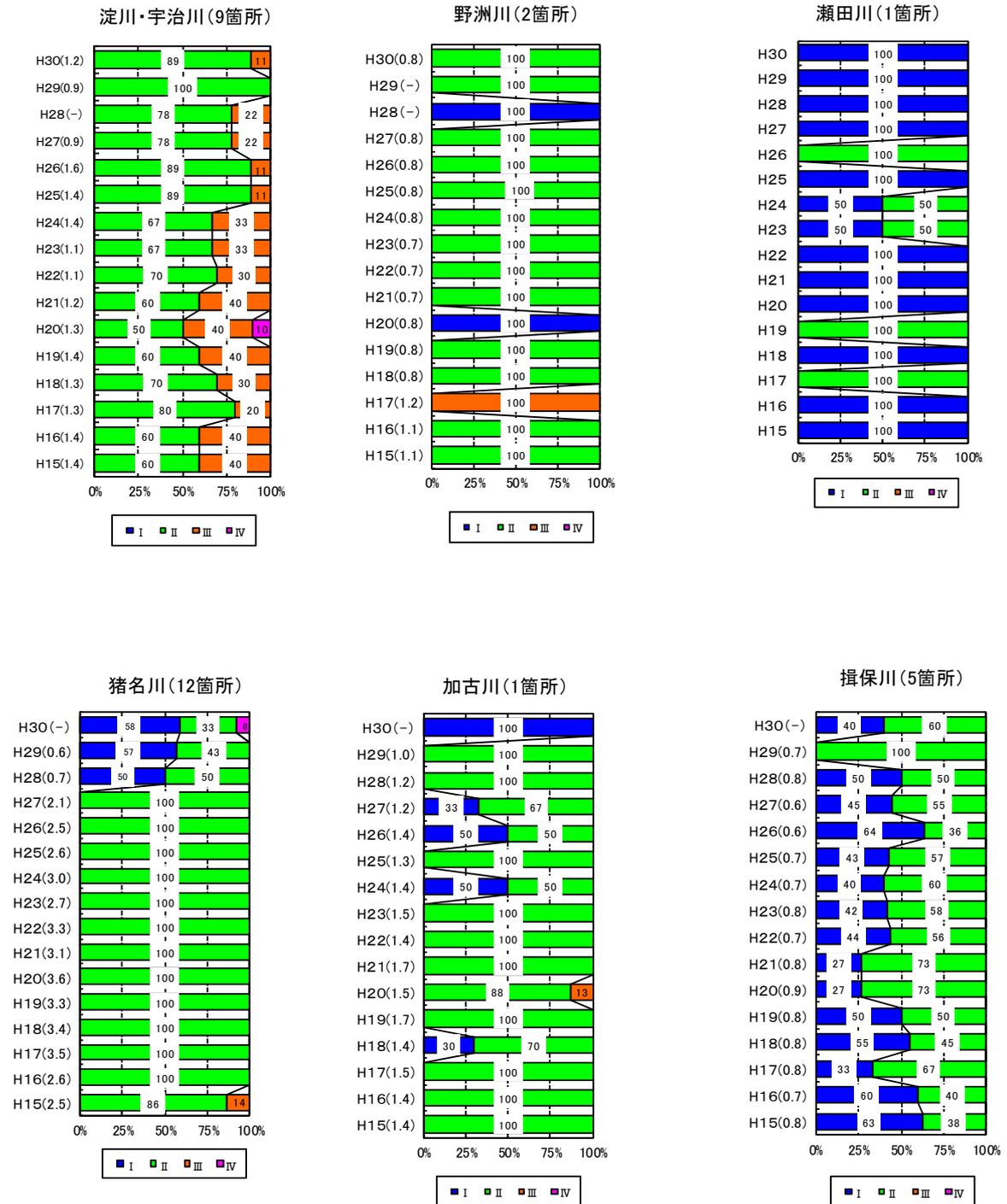


図-4.4 水質階級構成比の年次推移

(淀川・宇治川、野洲川、瀬田川、猪名川、加古川、揖保川)

※箇所数は、H30年の調査箇所数。年の()は、BOD年平均値 (mg/l)

※ 四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

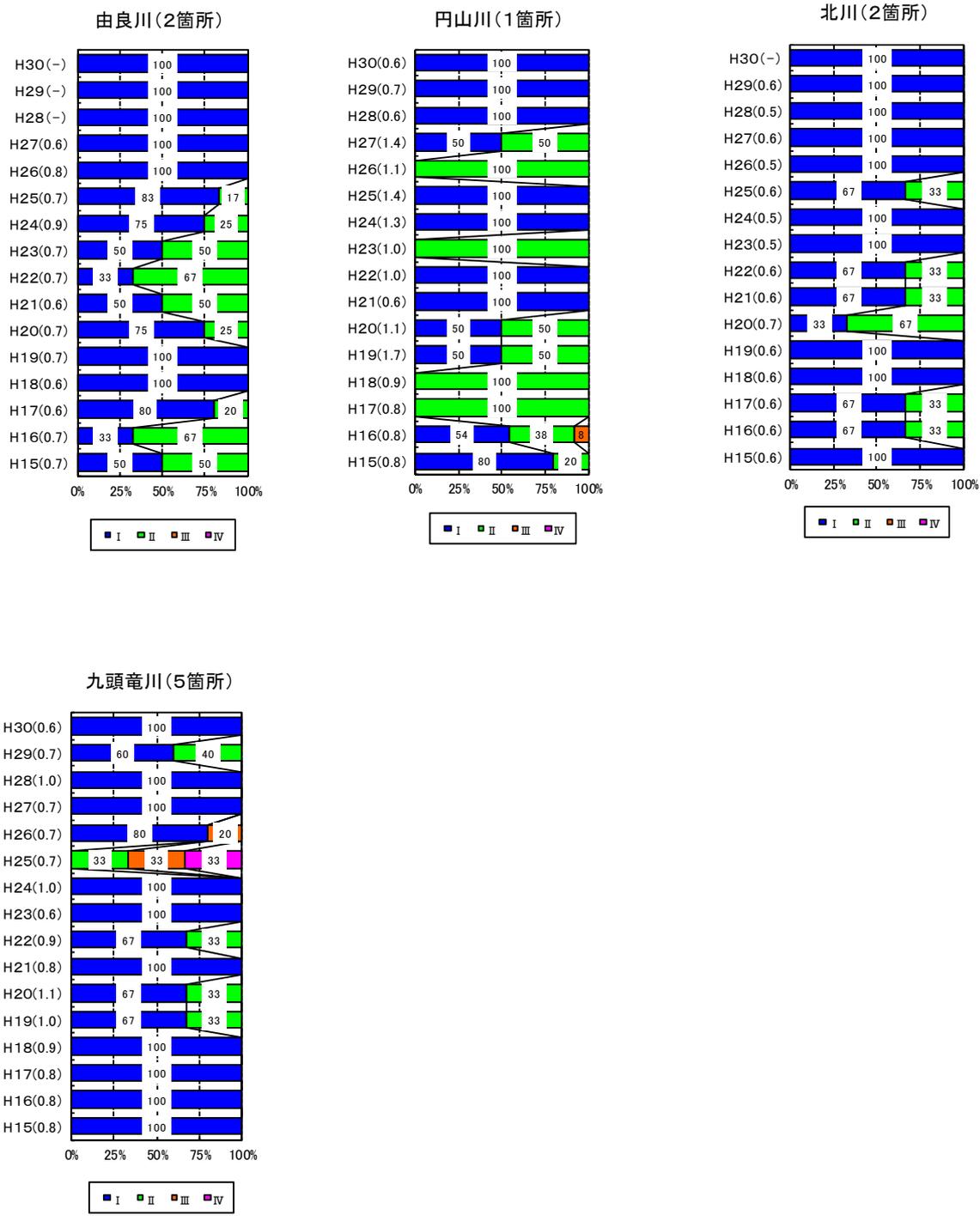


図-4.5 水質階級構成比の年次推移

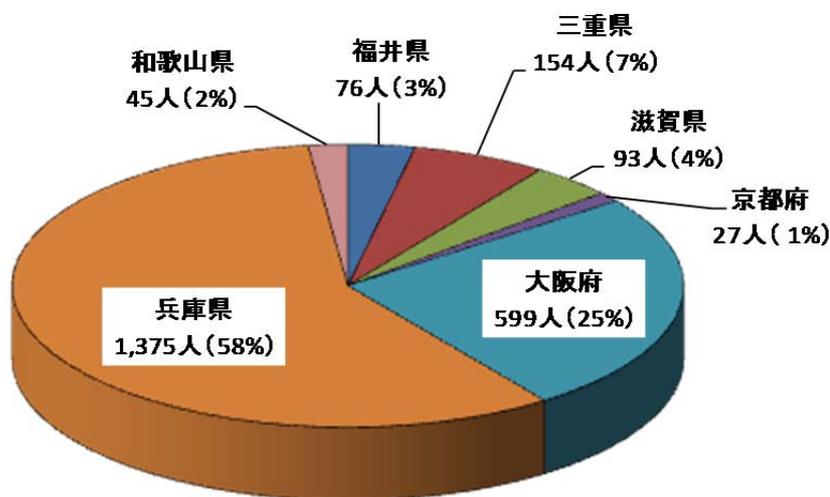
(由良川、円山川、北川、九頭竜川)

※箇所数は、H30年の調査箇所数。年の()は、BOD年平均値 (mg/ℓ)

※ 四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

4. 3 水生生物調査の参加者数

平成 30 年の水生生物調査の参加者は 2,369 人（前年度 2,300 人）であった。府県別参加者数、団体別参加者数及び参加人数の推移については次のとおりである。



※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が 100%にならないことがある。

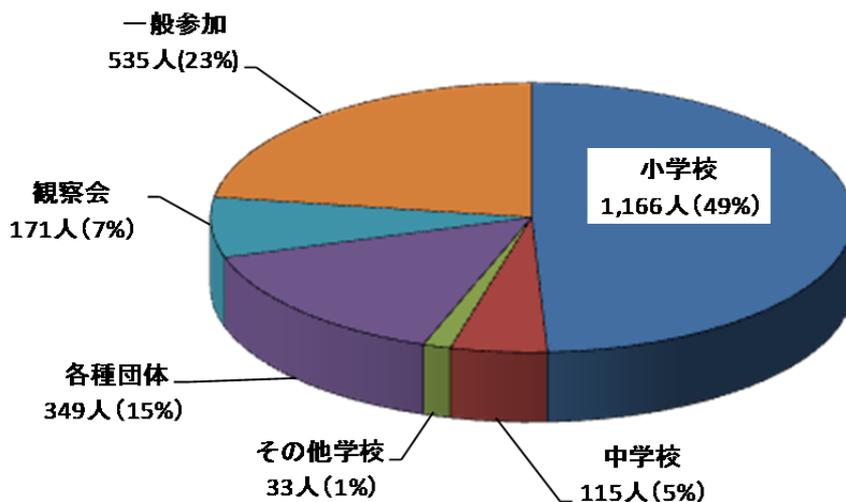


図-4.7 団体別の水生生物調査参加者数

※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が 100%にならないことがある。

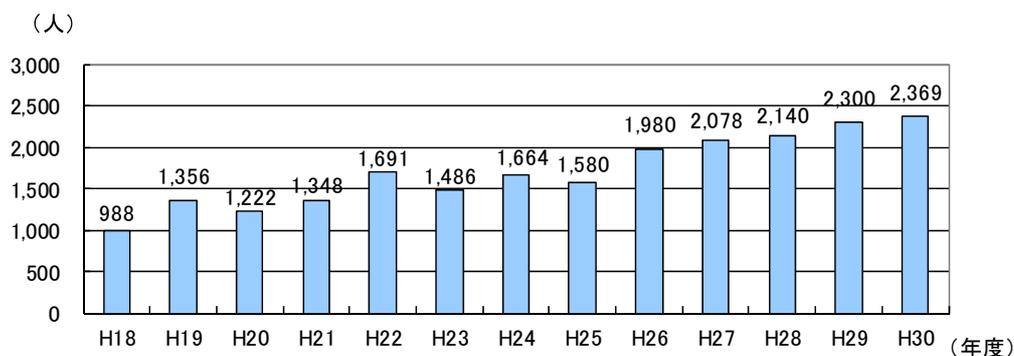


図-4.8 参加人数の推移

5. 水質事故の発生状況

平成30年における近畿地方整備局管内（指定区間等を含む）の年間水質事故発生件数は48件であった。このうち、40件（83%）が油類の流出事故であった。

表-5.1 種類別発生件数

水系	油類の流出		化学物質の流出		排水・汚泥等		不明		自然現象		総計	
	件数	(割合)	件数	(割合)	件数	(割合)	件数	(割合)	件数	(割合)	件数	(割合)
新宮川水系												
紀の川水系	2	(5%)							1	(50%)	3	(6%)
大和川水系												
淀川水系	18	(45%)	3	(75%)				2	(100%)		23	(48%)
揖保川水系	1	(3%)									1	(2%)
加古川水系	4	(10%)	1	(25%)					1	(50%)	6	(13%)
円山川水系	9	(23%)									9	(19%)
由良川水系	3	(8%)									3	(6%)
九頭竜川水系	3	(8%)									3	(6%)
北川水系												
総計(割合)	40	(83%)	4	(8%)	0	(0%)	2	(4%)	2	(4%)	48	(100%)

※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

事故原因別では、原因不明が27件（56%）、工場等での操作ミスが6件（13%）、交通事故が6件（13%）となる。

表-5.2 事故原因別発生件数

水系	操作ミス		機械の故障		交通事故		不法投棄		原因不明		自然現象		その他		総計	
	件数	(割合)	件数	(割合)	件数	(割合)	件数	(割合)	件数	(割合)	件数	(割合)	件数	(割合)	件数	(割合)
新宮川水系																
紀の川水系									2	(7%)	1	(50%)			3	(6%)
大和川水系							1	(100%)							1	(2%)
淀川水系	3	(50%)	1	(20%)	2	(33%)			15	(56%)			1	(100%)	22	(46%)
揖保川水系									1	(4%)					1	(2%)
加古川水系	1	(17%)	2	(40%)					2	(7%)	1	(50%)			6	(13%)
円山川水系					3	(50%)			6	(22%)					9	(19%)
由良川水系	1	(17%)			1	(17%)			1	(4%)					3	(6%)
九頭竜川水系	1	(17%)	2	(40%)											3	(6%)
北川水系																
総計(割合)	6	(13%)	5	(10%)	6	(13%)	1	(2%)	27	(56%)	2	(4%)	1	(2%)	48	(100%)

※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

これらの水質事故については、各水系に設置されている水質汚濁防止連絡協議会（国土交通省、府県、市町村等の土木部局・環境部局・水道部局等により構成）等により速やかに関係機関等に通報・連絡するとともに、発生源の調査、及び原因物質特定、河川への拡散防止等の対策を講じている。